

Y a m e

八女市内遺跡群 1 5

福岡県八女市柳瀬所在遺跡の調査報告書

八女市文化財調査報告書 第123集

2 0 1 8

八女市教育委員会

Y a m e

八女市内遺跡群 1 5

福岡県八女市柳瀬所在遺跡の調査報告書

八女市文化財調査報告書 第123集

2 0 1 8

八女市教育委員会

序

昭和５７年度から開始されました八女南部地区県営圃場整備事業の進展に伴い、昭和６０年度から当教育委員会では事業地内の埋蔵文化財発掘調査を進めてまいりました。

その結果、縄文時代を中心として貴重な遺跡が発見され、この地域の文化を考える上で重要な成果をあげることができました。

本書は、平成４年度発掘調査を実施したアモメ遺跡１地点・３地点の埋蔵文化財発掘調査報告書です。

発掘調査にあたりまして、終始ご協力いただきました福岡県、福岡県八女県土整備事務所、地元行政区、福岡県教育委員会をはじめ関係各位に深く感謝申し上げます。

平成３０年３月３１日

八女市教育委員会

教育長 西 島 民 生

例言

- 1 本書は、八女市柳瀬字アモメの所在遺跡における発掘調査報告書である。
- 2 発掘調査は、八女市教育委員会が実施した。
- 3 発掘調査で検出した遺構の名称・番号については、平成4年度の調査時に準じて付しているが、重複等の混乱も見られる事からわずかに新番号を付したものもある。
- 4 本書に使用した現地測量図については、平成4年度に実施された発掘調査当時の担当責任者を中心として参加者で分担して行っている。出土遺物の実測図作成については、旧岩戸山歴史資料館において実施されている。
- 5 本書に使用した現地写真は、発掘調査当時の担当責任者が撮影している。出土遺物の撮影については、旧岩戸山歴史資料館において中川と多賀が撮影した。
- 6 本書使用の方位については、すべて磁北を基準としている。
- 7 本書の執筆及び編集については、中川が行った。執筆するにあたり、平成5年に刊行されている埋蔵文化財調査概報（八女市文化財調査報告書第29集）を参考とした。
- 8 本書に関する調査記録及び出土遺物は、旧岩戸山歴史資料館において保管・収蔵している。

本文目次

1	はじめに	1
2	位置と環境	2
3	各遺跡の調査概要	5
(1)	アモメ遺跡 1 地点	
①	発掘調査の概要	
②	遺構と遺物	
③	まとめ	
(2)	アモメ遺跡 3 地点	
①	発掘調査の概要	
②	遺構と遺物	
③	まとめ	
(3)	総括	63

挿図目次

- 第 1 図 アモメ遺跡と周辺の遺跡分布図〔1／25,000〕
- 第 2 図 アモメ遺跡位置図〔1／2,500〕
- 第 3 図 アモメ遺跡 1 地点遺構配置図〔1／600〕
- 第 4 図 アモメ遺跡 1 地点 掘立柱建物 (SB04) 実測図〔1／60〕
- 第 5 図 アモメ遺跡 1 地点 竪穴住居 (SB01) 実測図〔1／40〕
- 第 6 図 アモメ遺跡 1 地点 竪穴住居 (SB02) 実測図〔1／40〕
- 第 7 図 アモメ遺跡 1 地点 竪穴住居 (SB03) 実測図〔1／40〕
- 第 8 図 アモメ遺跡 1 地点 甕棺 (K01) 実測図〔1／40〕
- 第 9 図 アモメ遺跡 1 地点 甕棺 (K02) 実測図〔1／40〕
- 第 10 図 アモメ遺跡 1 地点 土壇 (SK01) 実測図〔1／40〕
- 第 11 図 アモメ遺跡 1 地点 土壇 (SK02) 実測図〔1／40〕
- 第 12 図 アモメ遺跡 1 地点 土壇 (SK04) 実測図〔1／40〕
- 第 13 図 アモメ遺跡 1 地点 土壇 (SK06) 実測図〔1／40〕
- 第 14 図 アモメ遺跡 1 地点 土壇 (SK07) 実測図〔1／40〕
- 第 15 図 アモメ遺跡 1 地点 土壇 (SK08) 実測図〔1／40〕
- 第 16 図 アモメ遺跡 1 地点 溝 (SD01) トレンチ土層図〔1／60〕
- 第 17 図 アモメ遺跡 1 地点 溝 (SD02) 実測図〔1／140〕、断面〔1／40〕
- 第 18 図 アモメ遺跡 1 地点 竪穴住居 (SB01) 出土土器実測図〔1／4〕
- 第 19 図 アモメ遺跡 1 地点 竪穴住居 (SB02) 出土土器実測図〔1／4〕
- 第 20 図 アモメ遺跡 1 地点 竪穴住居 (SB03) ①出土土器実測図〔1／4〕
- 第 21 図 アモメ遺跡 1 地点 竪穴住居 (SB03) ②出土土器実測図〔1／4〕
- 第 22 図 アモメ遺跡 1 地点 竪穴住居 (SB03) ③出土土器実測図〔1／4〕
- 第 23 図 アモメ遺跡 1 地点 竪穴住居 (SB04)、甕棺 (K01)、土壇 (SK01) 出土土器実測図〔1／4〕
- 第 24 図 アモメ遺跡 1 地点 土壇 (SK02・04・06) 出土土器実測図〔1／4〕
- 第 25 図 アモメ遺跡 1 地点 土壇 (SK07) 出土土器実測図〔1／4〕
- 第 26 図 アモメ遺跡 1 地点 溝 (SD01) 出土土器実測図〔1／4〕
- 第 27 図 アモメ遺跡 1 地点 溝 (SD02)、ピット、トレンチ出土土器実測図〔1／4〕
- 第 28 図 アモメ遺跡 1 地点 表採 (A・B) 出土土器実測図〔1／4〕
- 第 29 図 アモメ遺跡 1 地点 表採 (B・C・D) 出土土器実測図〔1／4〕
- 第 30 図 アモメ遺跡 1 地点 表採出土土製品〔1／2〕、竪穴住居 (SB01・03・04)、溝 (SD02・03) 出土石器実測図〔1／4〕
- 第 31 図 アモメ遺跡 1 地点 竪穴住居 (SB03)、土壇 (SK01)、溝 (SD01)、表採 (A・B・C) 出土石製品実測図〔1／3〕

- 第32図 アモメ遺跡3地点遺構配置図〔1/600〕
- 第33図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居(SB17) 実測図〔1/60〕
- 第34図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居(SB18) 実測図〔1/60〕
- 第35図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居(SB19) 実測図〔1/60〕
- 第36図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居(SB20) 実測図〔1/60〕
- 第37図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居(SB21) 実測図〔1/60〕
- 第38図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居(SB22) 実測図〔1/60〕
- 第39図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居(SB23) 実測図〔1/60〕
- 第40図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居(SB24) 実測図〔1/60〕
- 第41図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居(SB25) 実測図〔1/60〕
- 第42図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居(SB26) 実測図〔1/60〕
- 第43図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居(SB27) 実測図〔1/60〕
- 第44図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居(SB28) 実測図〔1/60〕
- 第45図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居(SB29) 実測図〔1/60〕
- 第46図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居(SB30) 実測図〔1/60〕
- 第47図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居(SB31) 実測図〔1/60〕
- 第48図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居(SB32) 実測図〔1/60〕
- 第49図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居(SB33) 実測図〔1/60〕
- 第50図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居(SB34) 実測図〔1/60〕
- 第51図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居(SB35) 実測図〔1/60〕
- 第52図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居(SB36) 実測図〔1/60〕
- 第53図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居(SB37) 実測図〔1/60〕
- 第54図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居(SB38) 実測図〔1/60〕
- 第55図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居(SB39) 実測図〔1/60〕
- 第56図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居(SB40) 実測図〔1/60〕
- 第57図 アモメ遺跡3地点 甕棺(K04) 実測図〔1/40〕
- 第58図 アモメ遺跡3地点 土壇(SK75) 実測図〔1/40〕
- 第59図 アモメ遺跡3地点 土壇(SK76) 実測図〔1/40〕
- 第60図 アモメ遺跡3地点 土壇(SK77) 実測図〔1/40〕
- 第61図 アモメ遺跡3地点 土壇(SK78) 実測図〔1/40〕
- 第62図 アモメ遺跡3地点 土壇(SK79) 実測図〔1/40〕
- 第63図 アモメ遺跡3地点 土壇(SK80) 実測図〔1/40〕
- 第64図 アモメ遺跡3地点 溝(SD05) 実測図〔1/140〕、土層〔1/40〕
- 第65図 アモメ遺跡3地点 溝(SD06) 実測図〔1/140〕、断面〔1/40〕
- 第66図 アモメ遺跡3地点 トレンチ(T11~14) 土層図〔1/60〕
- 第67図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居(SB17・18①) 出土土器実測図〔1/4〕
- 第68図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居(SB18②・19~21) 出土土器実測図〔1/4〕

- 第69図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居 (SB22・23) 出土土器実測図 [1/4]
- 第70図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居 (SB24・25) 出土土器実測図 [1/4]
- 第71図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居 (SB26①) 出土土器実測図 [1/4]
- 第72図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居 (SB26②・27～29①) 出土土器実測図 [1/4]
- 第73図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居 (SB29②～31①) 出土土器実測図 [1/4]
- 第74図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居 (SB31②) 出土土器実測図 [1/4]
- 第75図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居 (SB31③～32) 出土土器実測図 [1/4]
- 第76図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居 (SB33～34①) 出土土器実測図 [1/4]
- 第77図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居 (SB34②～36) 出土土器実測図 [1/4]
- 第78図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居 (SB37～38) 出土土器実測図 [1/4]
- 第79図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居 (SB39～40①) 出土土器実測図 [1/4]
- 第80図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居 (SB40②)、甕棺 (K04)、土壙 (SK78) 出土土器実測図 [1/4]
- 第81図 アモメ遺跡3地点 溝 (SD05～06)、ピット、トレンチ (T11～12)、表採 出土土器実測図 [1/4]
- 第82図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居 (SB32)、土壙 (SK78～79) 出土土製品実測図 [1/4]
- 第83図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居 (SB22・24・31・34・40)、土壙 (SK78)、表採出土石器実測図 [1/2]
- 第84図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居 (SB21・23・25～26・31) 出土石製品実測図 [1/3]
- 第85図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居 (SB31・34～37)、溝 (SD05)、トレンチ (T11～12)、表採出土石製品実測図 [1/3]

表 目 次

表 1	アモメ遺跡 1 地点	S B ・ K ・ S K ・ S D ・ トレンチ ・ ピット	出土土器観察表
表 2	アモメ遺跡 1 地点	S B ・ S D ・ トレンチ	出土遺物観察表
表 3	アモメ遺跡 3 地点	S B ・ K ・ S K ・ S D ・ トレンチ ・ ピット	出土土器観察表
表 4	アモメ遺跡 3 地点	S B ・ S K	出土土製品観察表
表 5	アモメ遺跡 3 地点	S B ・ トレンチ ・ 表採	出土石器、石製品観察表

図 版 目 次

図版 1

- (1) アモメ遺跡 全景 (北側上空から)

図版 2

- (1) アモメ遺跡 3 地点 全景 (北側上空から)

図版 3

- (1) アモメ遺跡 1 地点 S B 0 1 (南東から)
(2) アモメ遺跡 1 地点 S B 0 2 (南西から)
(3) アモメ遺跡 1 地点 S B 0 2、S B 0 3 (南西から)

図版 4

- (1) アモメ遺跡 1 地点 S B 0 4 (北東から)
(2) アモメ遺跡 1 地点 K 0 1 (南から)
(3) アモメ遺跡 1 地点 K 0 2 (東から)
(4) アモメ遺跡 1 地点 S K 0 1 (北西から)
(5) アモメ遺跡 1 地点 S K 0 2 (北東から)

図版 5

- (1) アモメ遺跡 1 地点 S K 0 3
(2) アモメ遺跡 1 地点 S K 0 4 (南から)
(3) アモメ遺跡 1 地点 S K 0 6 (西から)
(4) アモメ遺跡 1 地点 S K 0 7 (北西から)
(5) アモメ遺跡 1 地点 S D 0 2 (南西から)

図版 6

- (1) アモメ遺跡 3 地点 S B 1 7 (西から)
(2) アモメ遺跡 3 地点 S B 1 8 (南から)
(3) アモメ遺跡 3 地点 S B 1 9 (北西から)

図版 7

- (1) アモメ遺跡 3 地点 S B 2 0 (東から)
(2) アモメ遺跡 3 地点 S B 2 1 (西から)
(3) アモメ遺跡 3 地点 S B 2 2、S B 2 3 (南東から)

図版 8

- (1) アモメ遺跡 3 地点 S B 2 4 (北西から)
- (2) アモメ遺跡 3 地点 S B 2 4 (石囲炉)
- (3) アモメ遺跡 3 地点 S B 2 5、S K 7 7 (北西から)

図版 9

- (1) アモメ遺跡 3 地点 S B 2 6 (北西から)
- (2) アモメ遺跡 3 地点 S B 2 7、S B 2 9 (北から)
- (3) アモメ遺跡 3 地点 S B 2 8 (東から)

図版 1 0

- (1) アモメ遺跡 3 地点 S B 3 0、S D 0 7 (西から)
- (2) アモメ遺跡 3 地点 S B 3 1 (北西から)
- (3) アモメ遺跡 3 地点 S B 3 2 (南西から)

図版 1 1

- (1) アモメ遺跡 3 地点 S B 3 2、S B 3 3 (南東から)
- (2) アモメ遺跡 3 地点 S B 3 4 (北から)
- (3) アモメ遺跡 3 地点 S B 3 5 (東から)

図版 1 2

- (1) アモメ遺跡 3 地点 S B 3 6 (東から)
- (2) アモメ遺跡 3 地点 S B 3 7 (西から)
- (3) アモメ遺跡 3 地点 S B 3 8、S B 3 9 (東から)

図版 1 3

- (1) アモメ遺跡 3 地点 S B 3 8 (西から)
- (2) アモメ遺跡 3 地点 S K 7 8 (南東から)
- (3) アモメ遺跡 3 地点 S K 8 0 (東から)
- (4) アモメ遺跡 3 地点 S D 0 5 (南西から)
- (5) アモメ遺跡 3 地点 S D 0 6 (西から)

図版 1 4 ~ 2 3 遺物写真

1 はじめに

平成4年度の八女南部地区県営圃場整備事業は、八女南部第2地区改良区分として、八女市大字柳瀬（現・八女市柳瀬）地区、酒井田地区を中心に約10haの事業が計画された。

計画に先立って、平成3年11月に該当地の試掘調査を実施し、事業地内の埋蔵文化財の把握を行った。その後、事業計画が具体化したため、八女市・福岡県教育委員会・八女南部土地改良区・福岡県筑後川水系農地開発事務所と協議を行い、事業地内において掘削や削平を受ける部分約14,000㎡を対象に発掘調査が実施された。

本報告書の調査・報告書に関わる関係者は次のとおりである。

【平成4年度】

〔調査主体〕 八女市教育委員会

教育長	坂 田 不二夫
教育部長	松 延 繁 太（平成5年2月まで）
社会教育課長	山 口 龍 一
社会教育課長補佐 兼文化財係長	中 村 武 紀
同 係員	赤 崎 敏 男
同 係員	大 塚 恵 治
同 嘱託	中 川 寿賀子（調査担当）

〔事業主体〕

八女南部第2土地改良区	
理事長	近 藤 義 竹
理事長職務代理者（平成5年3月より）	
	松 崎 勝 美
事務局長	片 岡 孝 行
事務局員	秋 山 由 美

【平成29年度】

八女市教育委員会

教育長	西 島 民 生
教育次長	永 溝 弘 幸
文化振興課長	持 丸 末 喜
文化財保護係長	中 川 寿賀子（調査・報告書担当）
同 主任	永 田 寧
同 係員	檀 佳 克
同 係員	渡 部 真 弓
同 係員	甲 斐 郁
同 嘱託	多 賀 晴 司

2 位置と環境

八女市南部地区県営圃場整備事業の実施地区は、旧八女市市街地の南部にあり、南側を流れる矢部川によって形成された肥沃な沖積平野が一面にわたって広がっている。平野は、東側から西側に向かって緩やかに高さを減じているが、ほぼ平坦地であり大半が水田や畑地として利用されている。

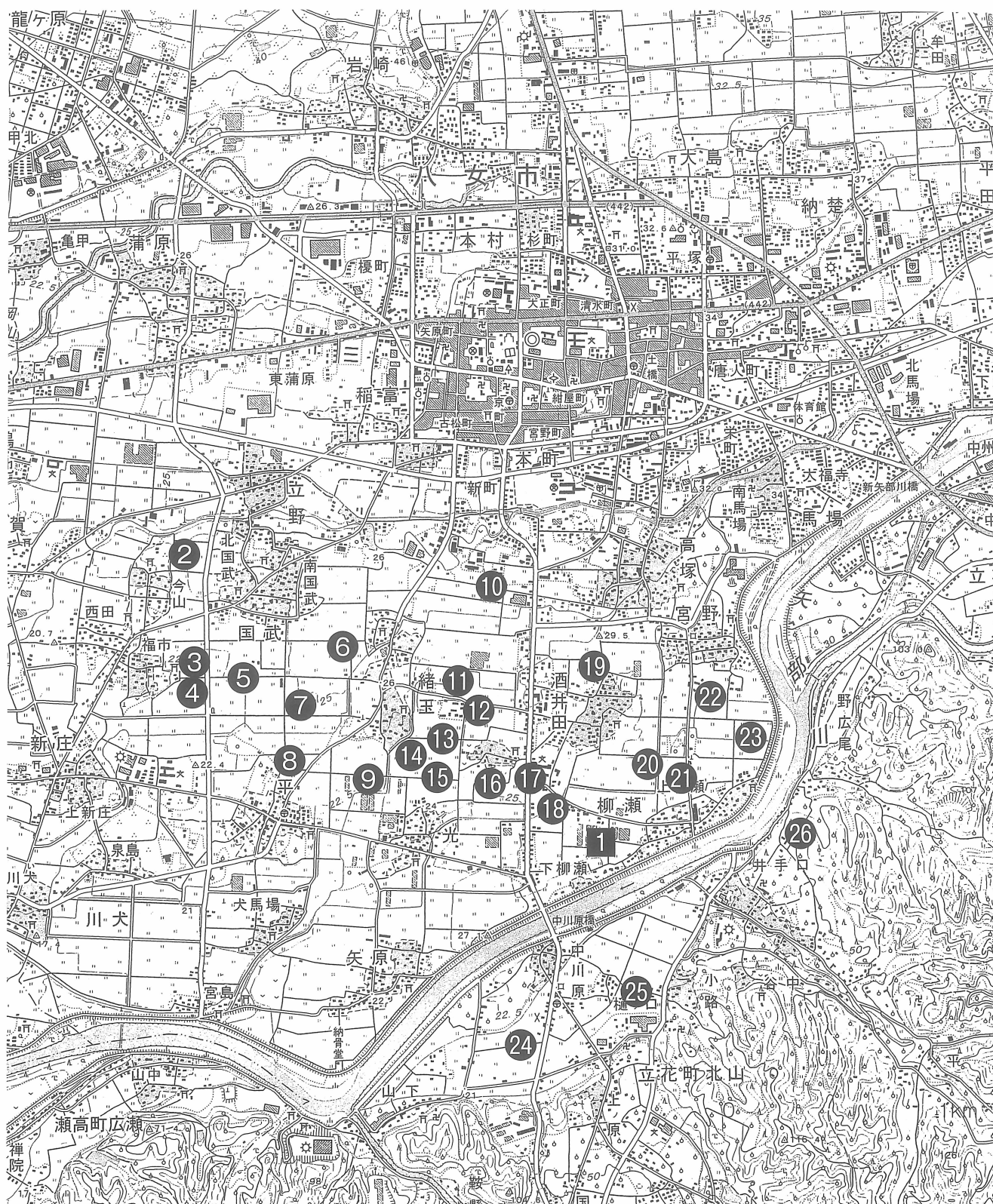
平野部に北側には、東西に長く連なる八女丘陵と、平野から派生した台地からなっている。八女丘陵上には、国指定史跡岩戸山古墳をはじめ12基の前方後円墳と約300基の古墳が点在しており、八女古墳群と呼ばれている。台地上や縁辺部には、弥生前期から後期にかけての集落や、墓地が営まれており、室岡遺跡群（亀ノ甲遺跡・山ノ上遺跡・北小路遺跡）等は、代表的な遺跡である。

平成4年度八女南部第2地区県営圃場事業は、矢部川によって形成された沖積平野の右岸地区を中心として、八女市柳瀬地区に所在するアモメ遺跡と、酒井田地区に所在する国伏遺跡の調査が行われた。

本報告書は、アモメ遺跡1地点、3地点についてのものである。本遺跡が所在する柳瀬地区は、八女市の南部に位置しており、さらに南側に位置する立花町とは、矢部川を挟んで隣接する。アモメ遺跡は、かつて幾度となくくり返されたであろう矢部川の氾濫によって形成された自然堤防上に立地しており、標高25m前後である。また、八女市立花町でも矢部川左岸の自然堤防上にある遺跡の発掘が行われており、弥生時代後期を中心とした150軒以上の住居跡が発見されている。

【参考文献】

八女市教育委員会1993『八女市文化財調査報告書 第29集』



- | | | | |
|---------------|------------|----------------|----------------|
| 1. アモメ遺跡 | 2. 篠原遺跡 | 3. 大坪・前田遺跡 | 4. 中里遺跡 |
| 5. 大坪遺跡 2次 | 6. 袴田遺跡 | 7. 打越遺跡 | 8. 新替遺跡 |
| 9. 宿町遺跡 | 10. 野田遺跡 | 11. 京田 3次・深田遺跡 | 12. 京田遺跡 1次・2次 |
| 13. 二反田遺跡 | 14. 水洗遺跡 | 15. 宮ノ前遺跡 | 16. 石町遺跡 |
| 17. 三河小学校校庭遺跡 | 18. 国伏遺跡 | 19. 鳥井遺跡 | 20. 松ノ本遺跡 |
| 21. 茶ノ木ノ本遺跡 | 22. 揃町遺跡 | 23. 天上町遺跡 | 24. 北山今小路遺跡 |
| 25. 北山浄清田遺跡 | 26. 白木西原遺跡 | | |

第1図 アモメ遺跡と周辺の遺跡分布図〔1／25,000〕



3 各遺跡の調査概要

(1) アモメ遺跡1地点

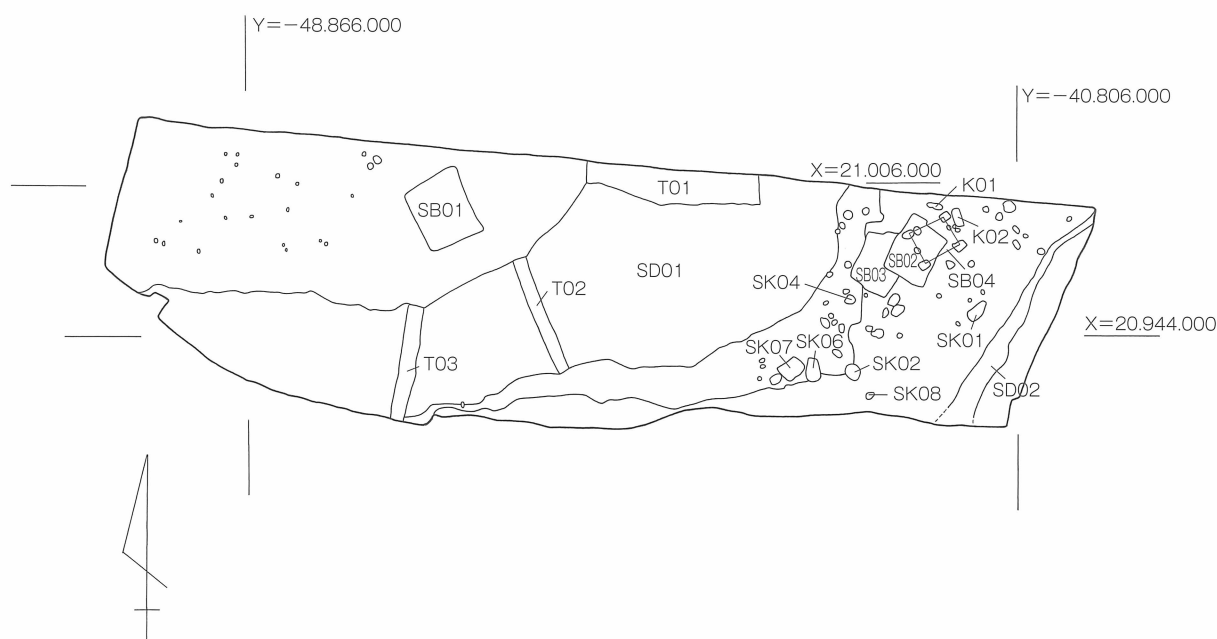
①調査の概要

アモメ遺跡1地点は、福岡県八女市柳瀬字アモメに所在しており、遺跡より南に100mのところに矢部川が流れている。標高は、24.20m～24.80mで自然堤防上に立地している。北西200mの地点に国伏遺跡があり、さらに北西には、二反田遺跡など弥生時代から古墳時代を中心とする三河地区の遺跡群が広がっている。

調査期間は、平成4年7月1日～平成4年8月31日で、調査区域は東西に長く、調査面積1,600㎡であった。

発掘調査の結果、弥生時代中期の竪穴住居3軒、中期以降の掘立柱建物1棟、東南方向の弥生時代の溝が1条と、調査区のほぼ中央を、北から西へ湾曲して流れる自然流路が見つかっている。

また、土壌は東側に集中して6基確認されたが、そのうち2基からは、弥生時代の土器が多量に出土した。その他、小児用甕棺墓やピットが検出されている。



第3図 アモメ遺跡1地点遺構配置図〔1／600〕

②遺構と遺物

掘立柱建物（SB）

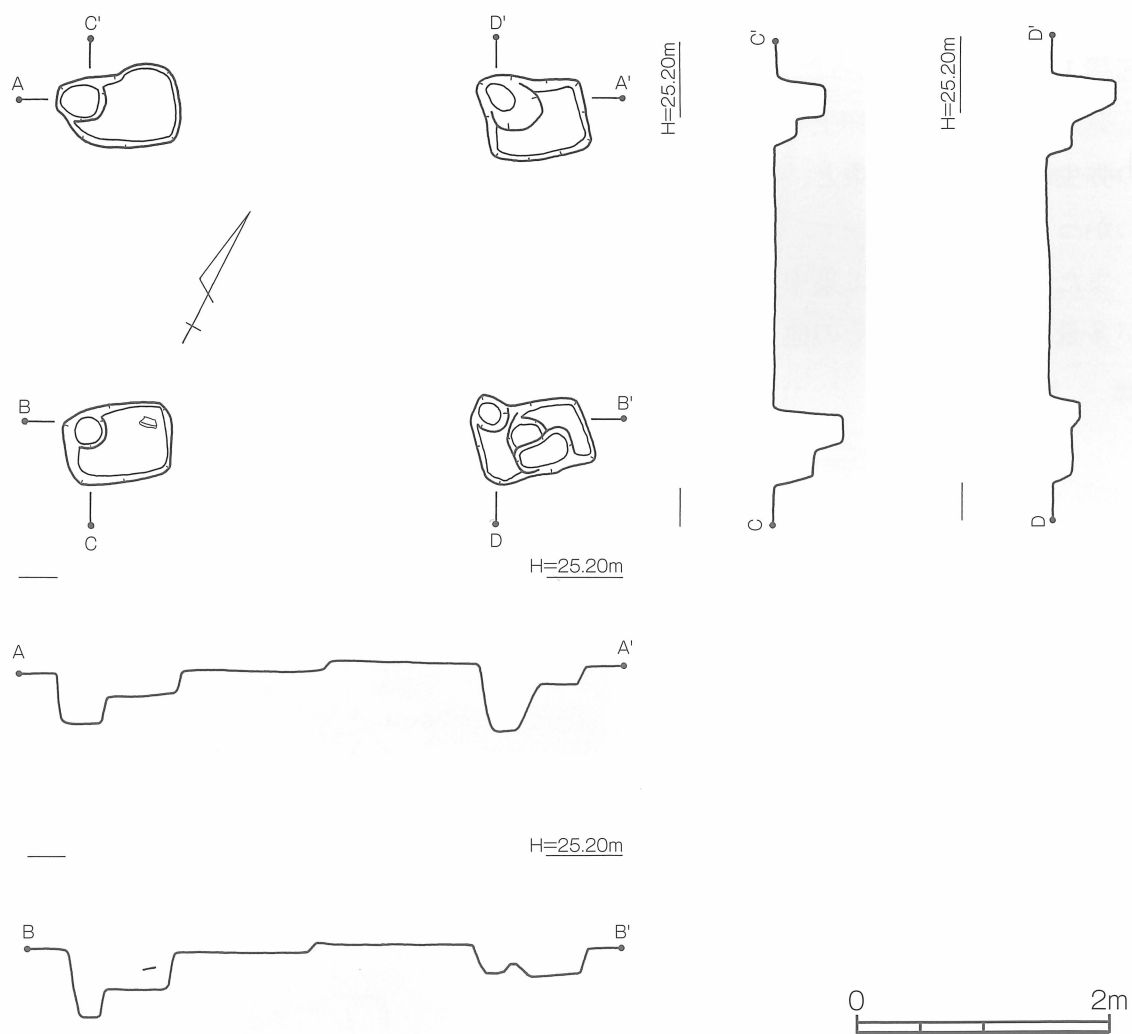
SB04（第4・23・30図、図版1・4）

調査区の北東で検出されており、掘立柱建物は1地点では1棟のみ見つかっている。西側に位置する竪穴住居SB02を切っており、東側のK02に近接する。

規模は、長軸 3.3 m、短軸 2.7 m の北東方向の建物で、支柱穴が 4 本確認された。各柱穴の平面プランは隅丸長方形で、北西隅の底面部に 20 cm ～ 30 cm の柱痕跡を持つ。

P 0 1 の規模は、長軸 88 cm、短軸 57 cm で残存高は 36 cm である。P 0 2 の規模は長軸 85 cm、短軸 61 cm で残存高は 53 cm である。P 0 3 の規模は、長軸 78 cm、短軸 64 cm で残存高は 51 cm である。P 0 4 の規模は長軸 88 cm、短軸 59 cm で残存高は 38 cm である。

遺物は、P 0 1 と P 0 4 から弥生式土器の甕の口縁部が出土している。



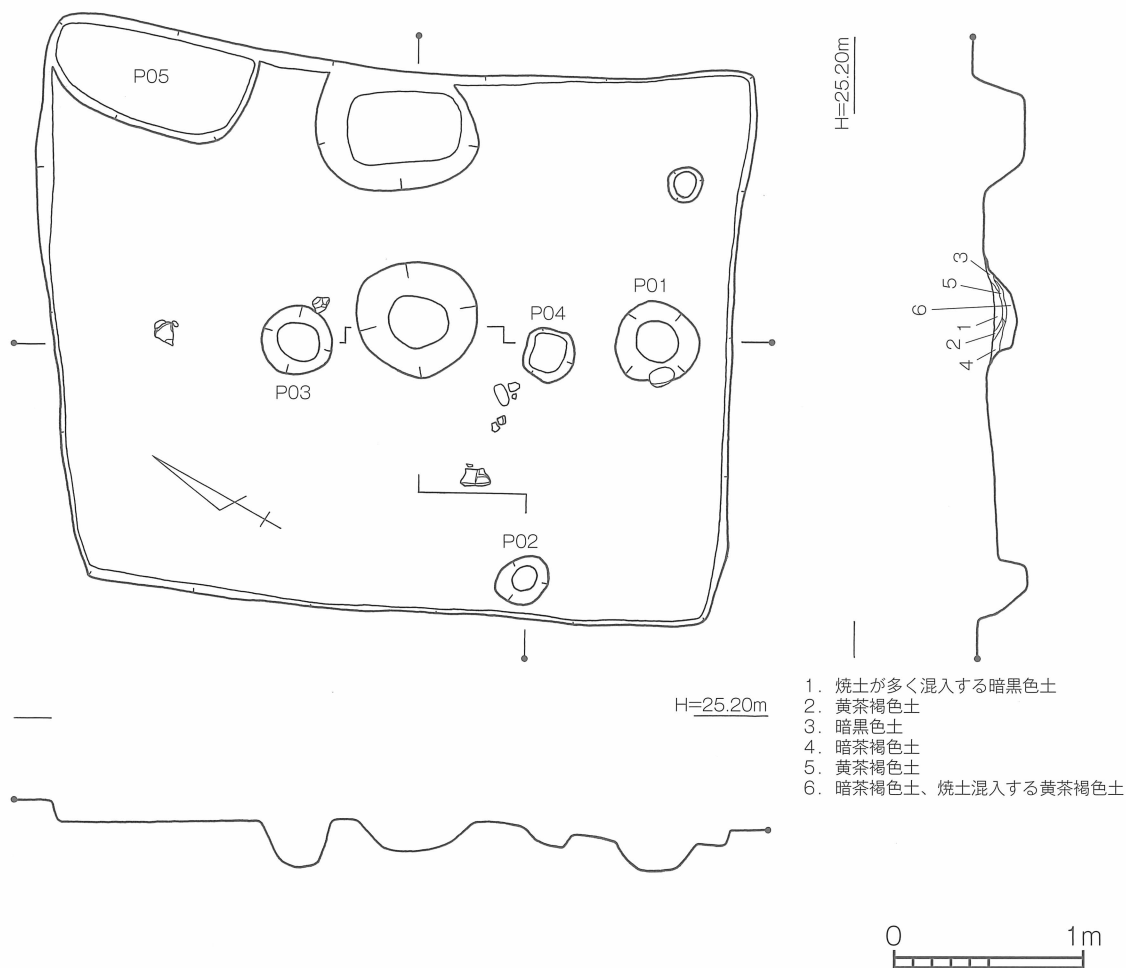
第 4 図 アモメ遺跡 1 地点 掘立柱建物 (S B 0 4) 実測図 [1 / 6 0]

竪穴住居 (SB)

SB01 (第5・18・30図、図版1・3)

調査区の北側中央部で検出され、東側に自然流路SD01が近接する。平面プランは長方形で、長軸5.30m～5.50mで、短軸は4.30mである。残存高は14cmで、方位は、 $N-25^{\circ}-W$ である。中央に地床炉を有し、支柱穴は2本確認された。

遺物は、土器では弥生式土器の壺・甕・鉢、石器では黒曜石製の石鏃が出土している。



第5図 アモメ遺跡1地点 竪穴住居 (SB01) 実測図 [1/40]

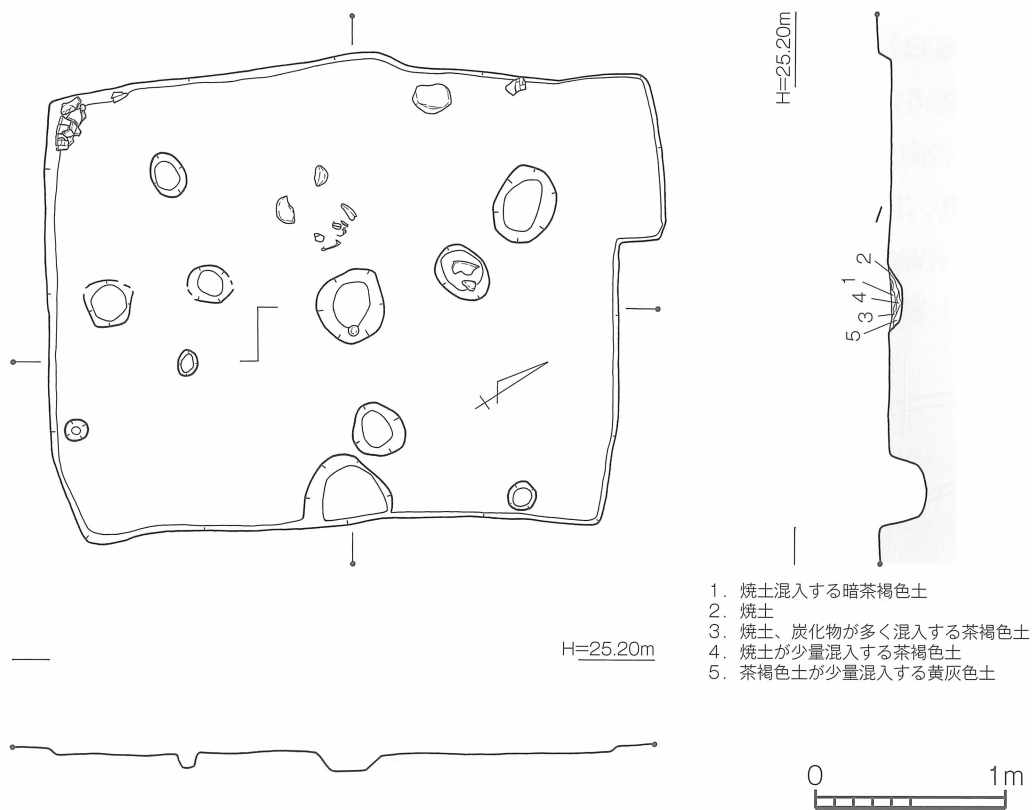
SB02 (第6・19図、図版1・3)

調査区北東に位置し、SB03を切り、掘立柱建物のSB04から切られる。北東に甕棺墓があり、東側にはSK01とSD02がある。

平面プランは、長軸隅に1箇所の張出部を持つ長方形で、長軸4.10m～4.80m、短軸3.50mである。残存高は5cmで残りがよくない。方位は、 $N-30^{\circ}-E$ である。

中央に地床炉を有する。柱穴は確認できていない。

遺物は、弥生式土器の壺・甕・高坏・器台・鉢が出土している。



第6図 アモメ遺跡1地点 竪穴住居（SB02）実測図〔1／40〕

SB03（第7・20～22・30～31図、図版1・3）

調査区の北東で検出され、遺構の北東部分をSB02に切られる。周辺には、SB02と同様、東側にはSK01とSD02がある。南側にはSK04がある。

平面プランは、SB02同様長軸隅に張出部を持つ長方形で、長軸が4.25m、短軸は3.50mである。残存高は8cmで、方位はN-28°-Eである。炉や柱穴については不明である。

遺物は、土器では弥生式土器の壺・甕・高坏・器台・鉢が出土



第7図 アモメ遺跡1地点 竪穴住居（SB03）実測図〔1／40〕

しており、石器では、サヌカイト製の石鏃が出土している。

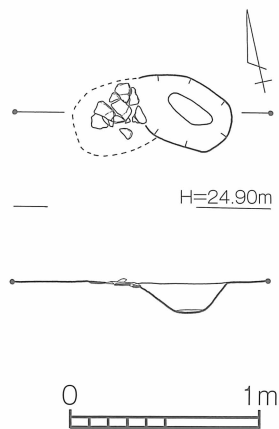
甕棺墓 (K)

K01 (第8・23図、図版1・4)

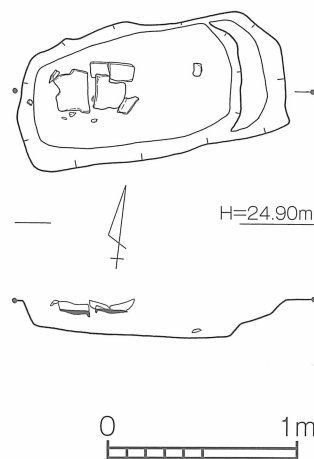
調査区の北東部に位置し、東側にK02があり南側に竪穴住居SB02、掘立柱建物SB04がある。平面プランは楕円形で、長軸84cm、短軸35cmである。残存高は16cmで、方位はN-70°-Wである。小児用甕棺と思われる。

K02 (第9図、図版1・4)

調査区の北東部に位置し、西側にK01がある。また、南側には竪穴住居SB02、掘立柱建物SB04がある。平面プランは隅丸長方形で、長軸1.44m、短軸73cmである。残存高は18cmで、方位はN-15°-Wである。小児用甕棺と思われる。



第8図 アモメ遺跡1地点 甕棺
(K01) 実測図〔1/40〕



第9図 アモメ遺跡1地点 甕棺
(K02) 実測図〔1/40〕

土壇 (SK)

SK01 (第10・23・31図、図版1・4)

調査区の東側に位置し、東側にはSD02がある。平面プランは、楕円形で北側の幅が狭くなっている。規模は長軸1.84m、短軸1.03mで、方位はN-40°-Eである。

遺物は、土器では弥生式土器の甕が出土しており、石器では砥石が出土している。また、流れ込みと思われる縄文式土器の鉢が出土している。

SK02 (第11・24図、図版1・4)

調査区の南東に位置し、西側にはSK06、07がある。平面プランは、楕円形である。規模は長軸1.29m、短軸1mで、方位はN-18°-Wである。

遺物は、弥生式土器の壺・甕が出土している。

SK04 (第12・24図、図版1・5)

調査区の東側に位置し、北東にSB02、03がある。平面プランは隅丸方形で、規模は長軸80cm、短軸70cmである。残存高は19cmで、方位はN-35°-Eである。

遺物は、弥生式土器の甕が出土している。

SK06 (第13・24図、図版1・5)

調査区の南東に位置し、SK07を切っている。また、東側にはSK02がある。

平面プランは不整楕円形で、規模は長軸1.58m、短軸1.23mである。残存高は、20cmである。

遺物は、弥生式土器の甕・鉢が出土している。

SK07 (第14・25図、図版1・5)

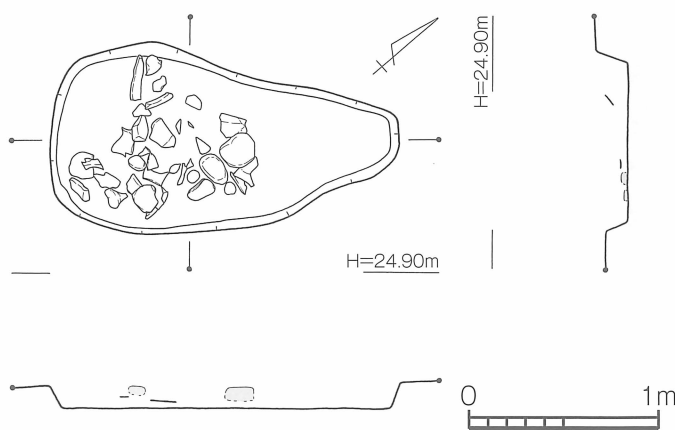
調査区の南東に位置し、東側にはSK06がある。平面プランは、隅丸長方形で、規模は長軸2.14m、短軸1.41mである。残存高は24cmで、方位はN-53°-Eである。

遺物は、弥生式土器の壺・甕・器台が出土している。

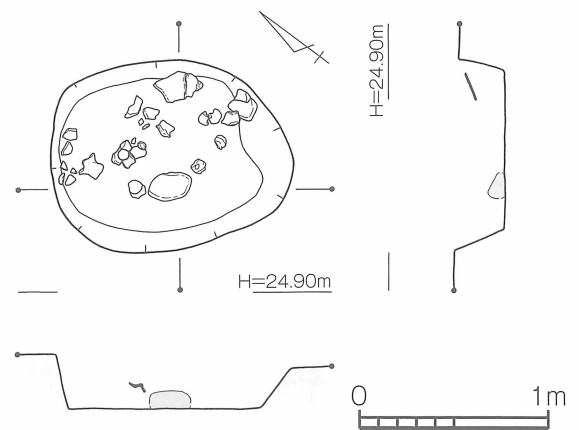
SK08 (第15図、図版1)

調査区の南東に位置し、北西にはSK02がある。平面プランは楕円形で、東側が狭い。規模は長軸68cm、短軸48cmである。方位はN-67°-Eで残存高は9cmである。

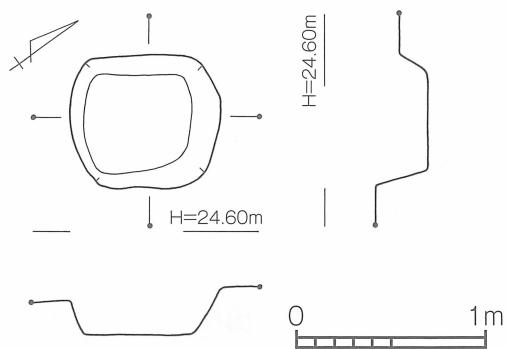
遺物は、土器の小片が出土しているが種別は不明である。



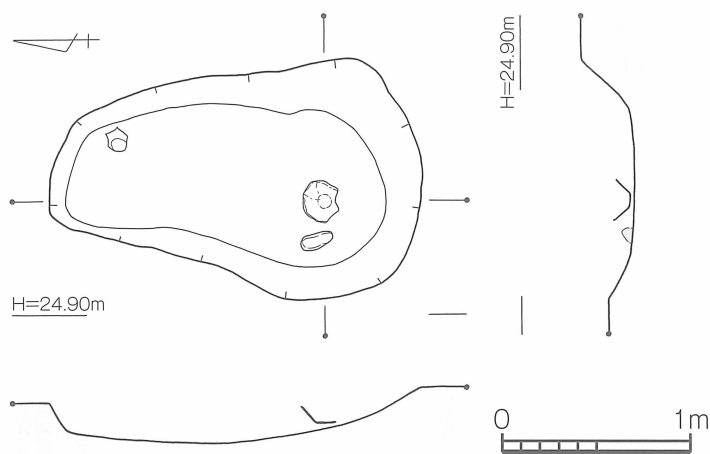
第10図 アモメ遺跡1地点 土壇 (SK01)
実測図 [1/40]



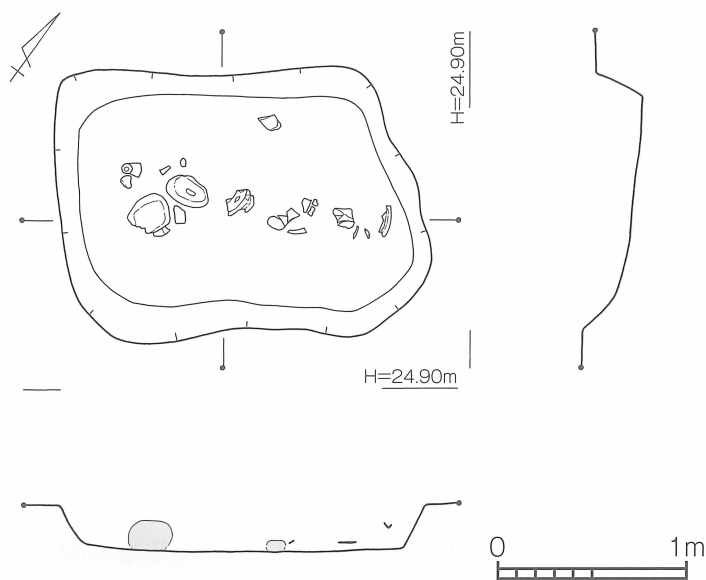
第11図 アモメ遺跡1地点 土壇
(SK02) 実測図 [1/40]



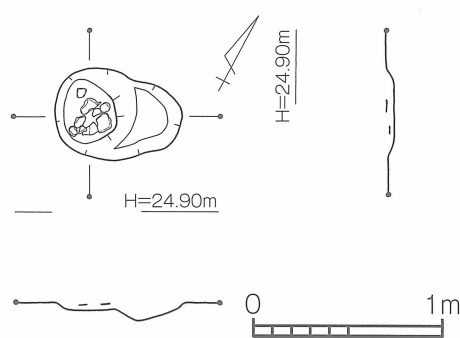
第12図 アモメ遺跡1地点 土壌
(SK04) 実測図
[1/40]



第13図 アモメ遺跡1地点 土壌 (SK06)
実測図 [1/40]



第14図 アモメ遺跡1地点 土壌 (SK07) 実測図
[1/40]



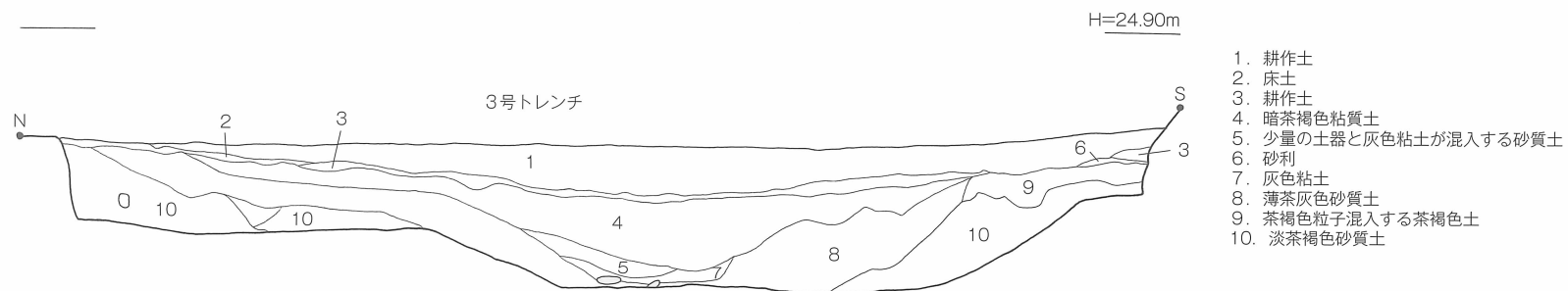
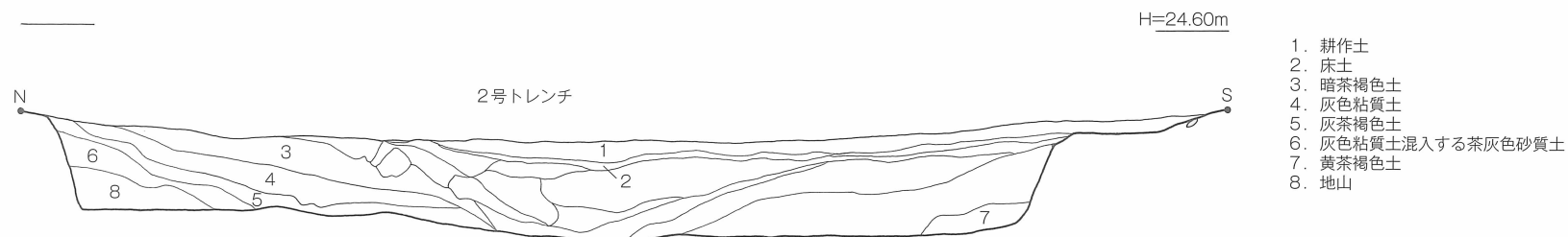
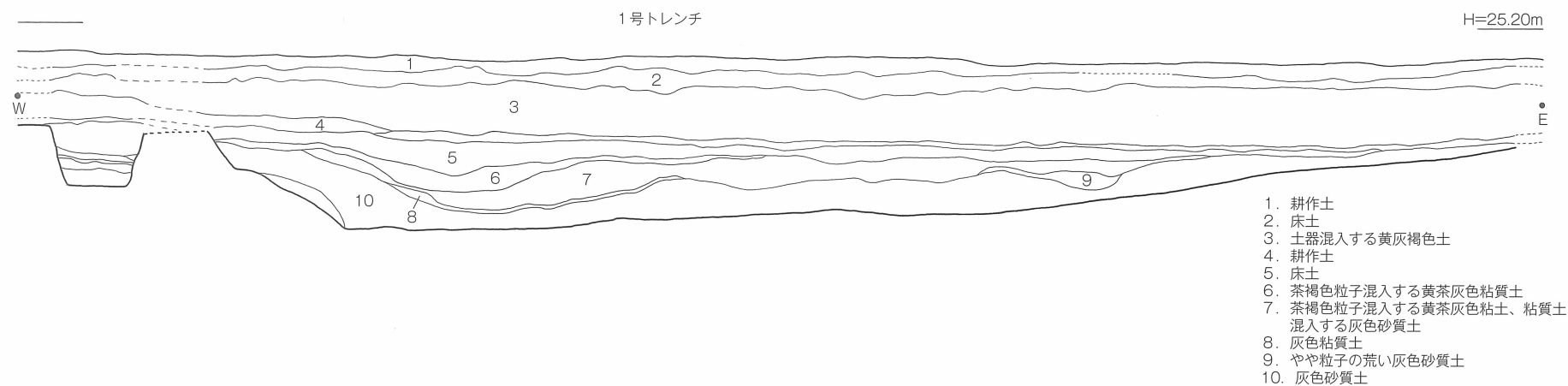
第15図 アモメ遺跡1地点 土壌
(SK08) 実測図
[1/40]

溝 (SD)

SD01 (第16・26・31図、図版1)

調査区のほぼ中央に位置し、北東から南西方向に流れている。幅が14.70mで、残存高は95cmである。自然流路と思われる。

遺物は、下層から弥生式土器の壺・甕が出土しており、上層からは、須恵器や土師器が出土している。また、石製品では磨製石剣・分銅形石製品・石錘・砥石などが出土している。



SD02 (第17・27・30図、図版1・5)

調査区東側に位置し、北東から南西方向に流れる。北側と南側は調査区外であるため、確認できる長さは20.10mである。幅は0.40m～2.10mで、北側が狭くなっている。残存高は34cmで、方位はN-30°-Eである。

遺物は、土器では弥生式土器の甕が出土しており、石器では黒曜石製の石鏃が出土している。

③まとめ

アモメ遺跡1地点からは、縄文時代の遺物や弥生中期から歴史時代の遺構が見つかった。

縄文時代の遺構としては、調査区東側を中心に、縄文時代後期と思われる把手のついた深鉢の口縁部が採集され、中央に流れる自然流路(SD01)の東側沿岸部からは石錘などの石製品が出土している。

弥生時代の遺構としては、掘立柱建物、竪穴住居、甕棺墓、土壇、溝が見つかった。

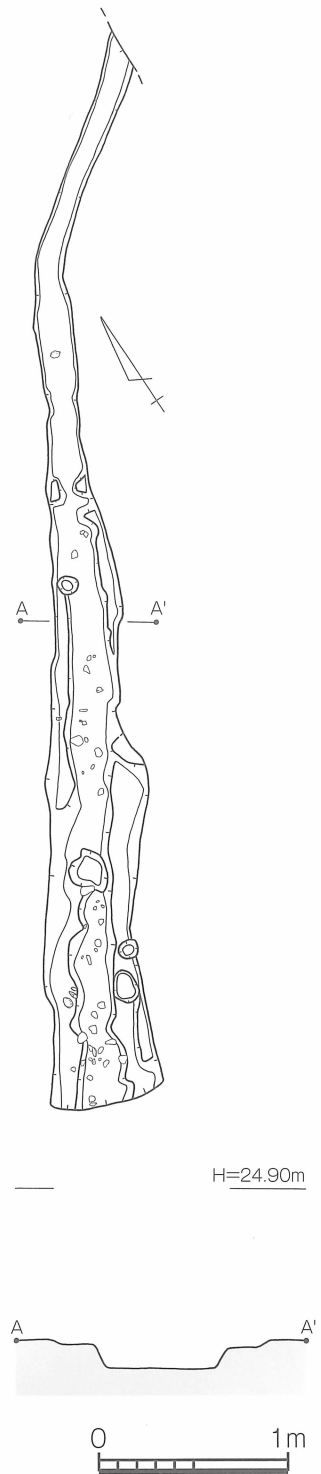
掘立柱建物であるSB04は、調査区北西から1棟見つかり、SB02を壊して作られている。4本の柱穴はいずれも長方形で柱痕跡が確認された。規模は、1間×1間で、後期の倉庫と考えられる。

竪穴住居は、3軒見つかり、調査区西側に位置するSB01とSD01を境に、調査区東側からSB02、SB03が切り合った状況で検出された。いずれも弥生中期と思われるが、SB03はSB02より幾分新しいと考えられる。

甕棺墓は、北東から2基見つかり、小児用甕棺墓と思われる。SB02が最も近く、関連するものと考えられる。類例としては、八女市酒井田地区に所在する二反田遺跡からも竪穴住居に近接する小児用甕棺墓が検出されている。

土壇は、6基見つかった。SK01～SK08としているが、SK03とSK05は欠番である。形も様々で、用途は不明であるが特にSK02からは多くの土器が出土しており、ごみ捨て場的なものであったかもしれない。

溝は、2条見つかった。SD01は、前述したように自然流路と思われる。南側から弥生時代中期の甕が多量に出土しており、また石製品では石剣や分銅形石器、石錘等が出土している。特に南側の岸からは、丹塗りの高杯が完形品に近い状態で見つかり、その他にも丹塗りの甕などが出土しており、この場所で祭祀が行われた可能性が高いと思われる。



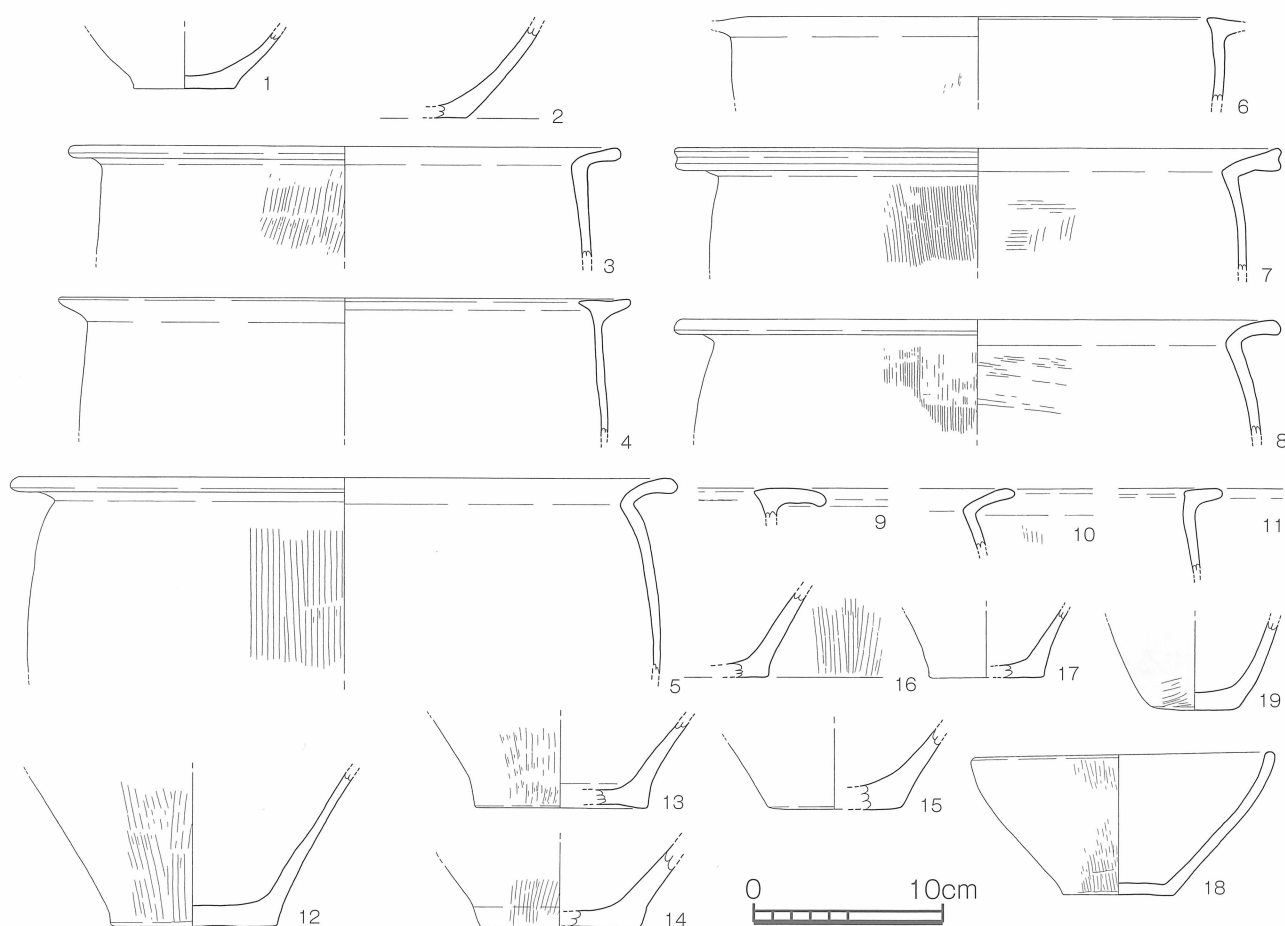
第17図
アモメ遺跡1地点 溝
(SD02) 実測図〔1
／140〕、断面〔1
／40〕

また、遺構の確認のため3本のトレンチを入れたところ、弥生式土器の甕や須恵器の甕、土師器の甕等が出土しており、複合的な遺構であったことが分かった。

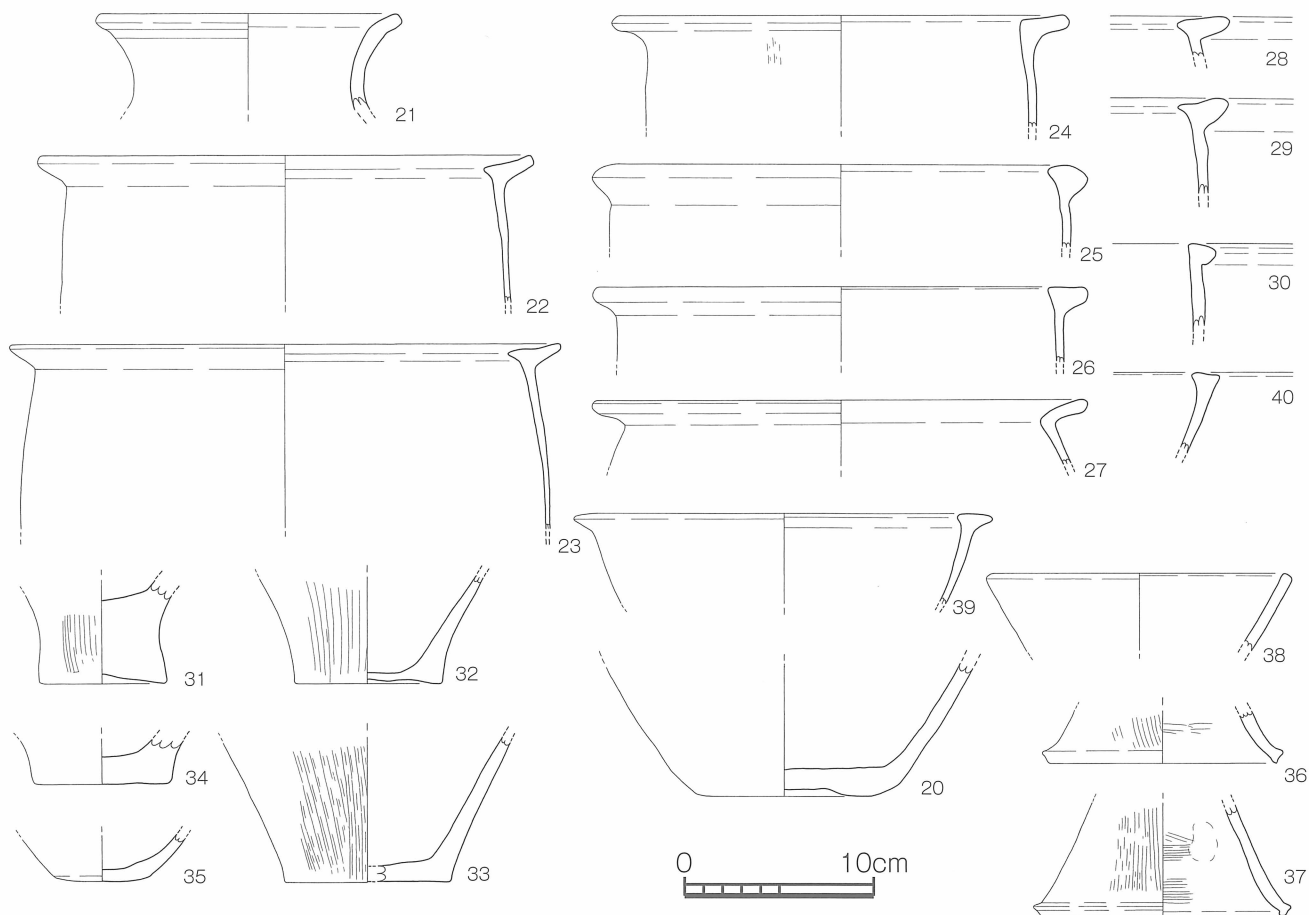
SD02は、調査区東端にあって、北東から南西に流れており、弥生中期と思われる甕と、黒曜石製の石鏃が見つかり、土器は出土点数が少なく、摩耗が激しいため、時期の細分化には至らなかった。

以上、遺構についての説明を述べてきた。遺構の内容から、本遺跡が弥生中期を中心とする集落であることが分かった。また、集落の西側と南側では竪穴住居は検出されていないため、本遺跡は集落の端に位置するかもしれない。

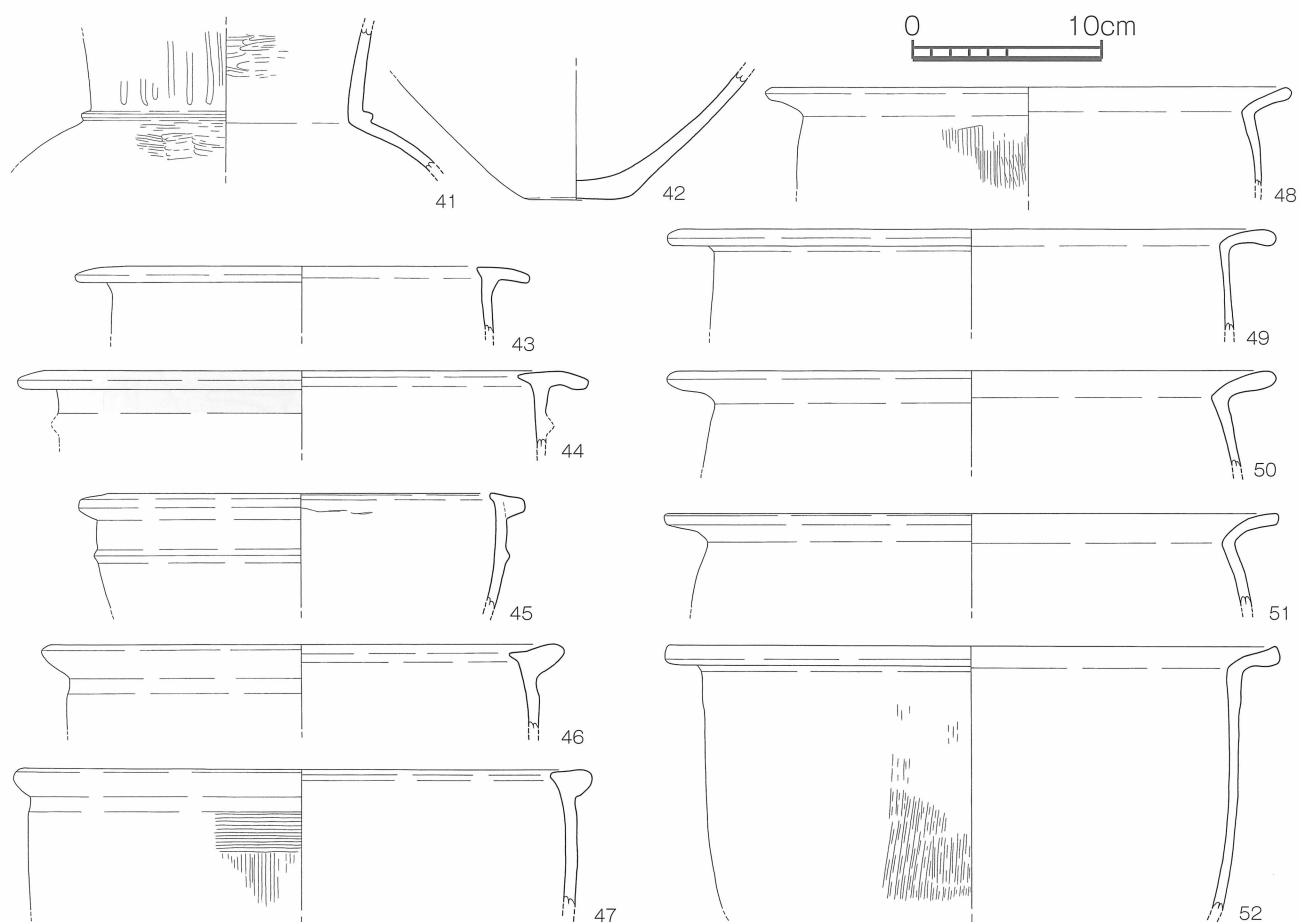
その他、自然流路であるSD01南側の比較的浅瀬では、丹塗りの甕や高杯、磨製石剣などが見つかり、左岸に位置する竪穴住居の時期とも一致するため、何らかの祭祀が行われた可能性も考えられる。



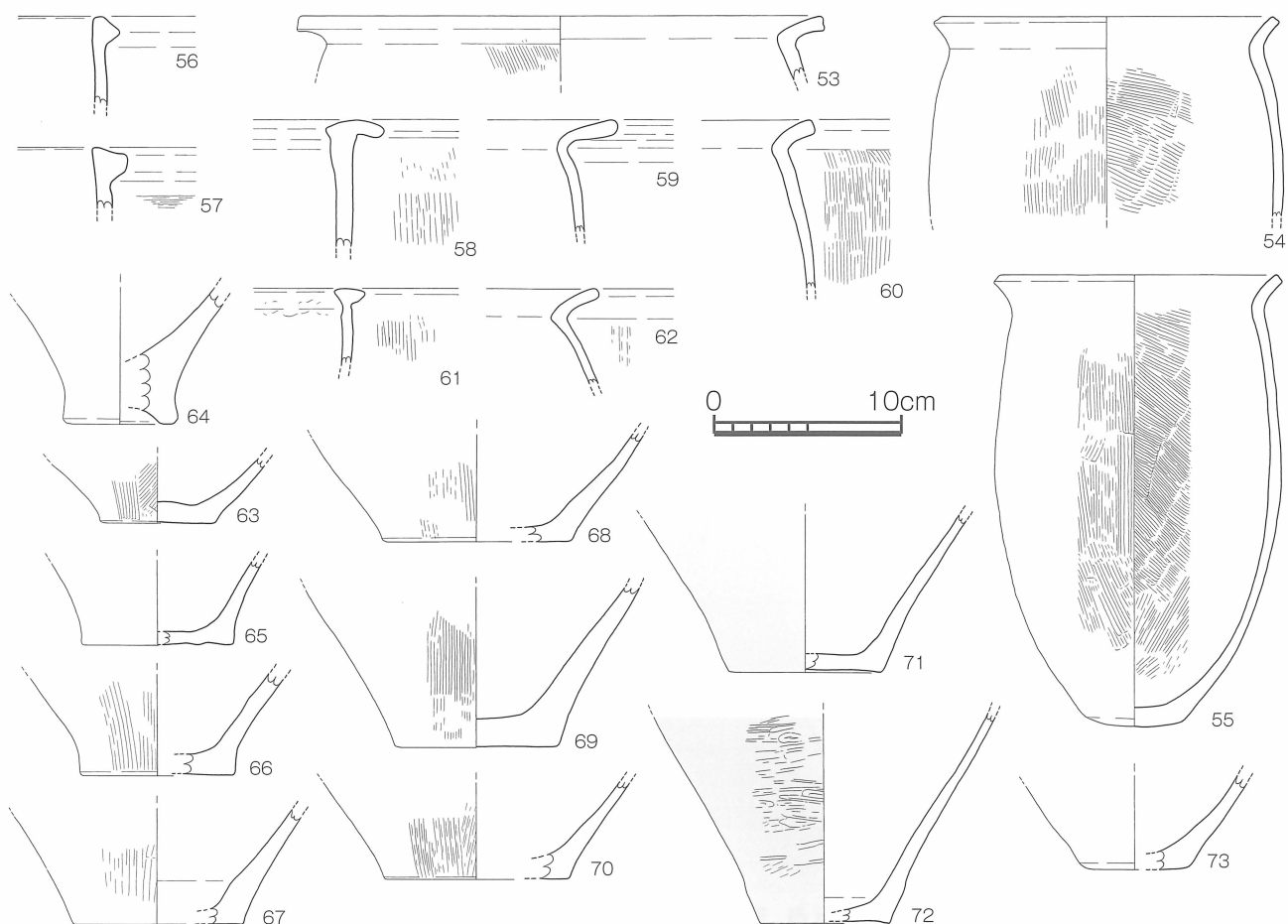
第18図 アモメ遺跡1地点 竪穴住居(SB01)出土土器実測図〔1/4〕



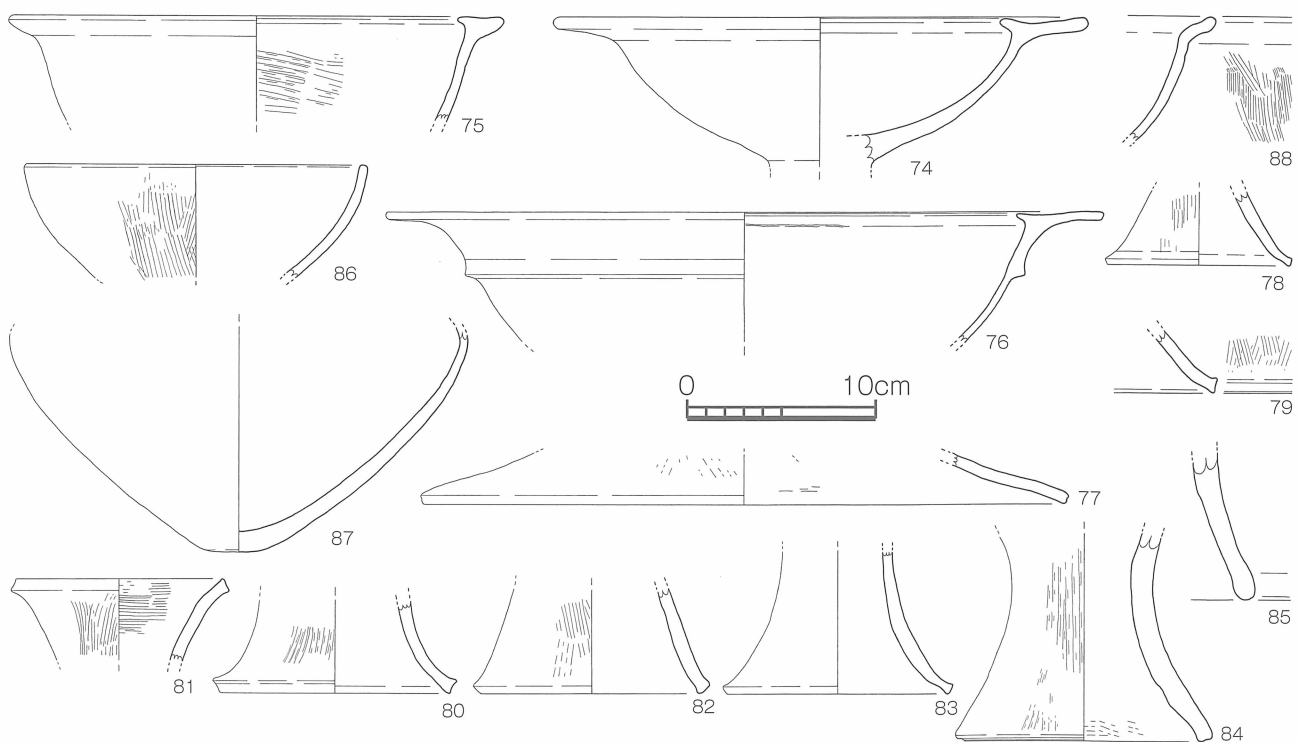
第19図 アモメ遺跡1地点 竪穴住居（SB02）出土土器実測図〔1／4〕



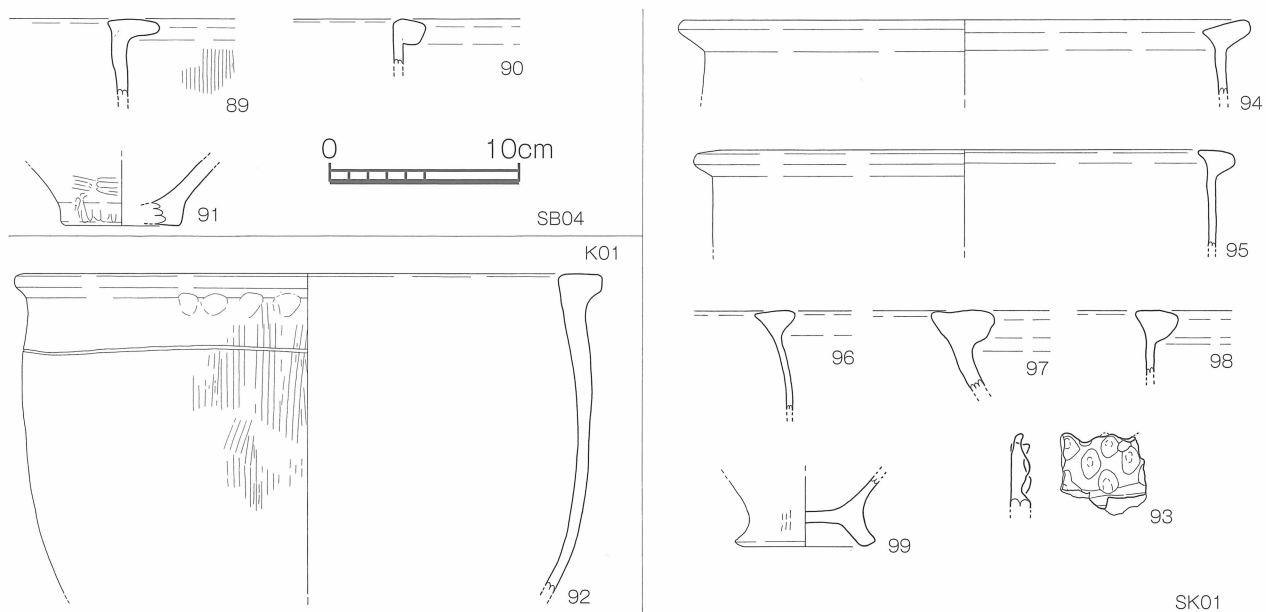
第20図 アモメ遺跡1地点 竪穴住居（SB03）①出土土器実測図〔1／4〕



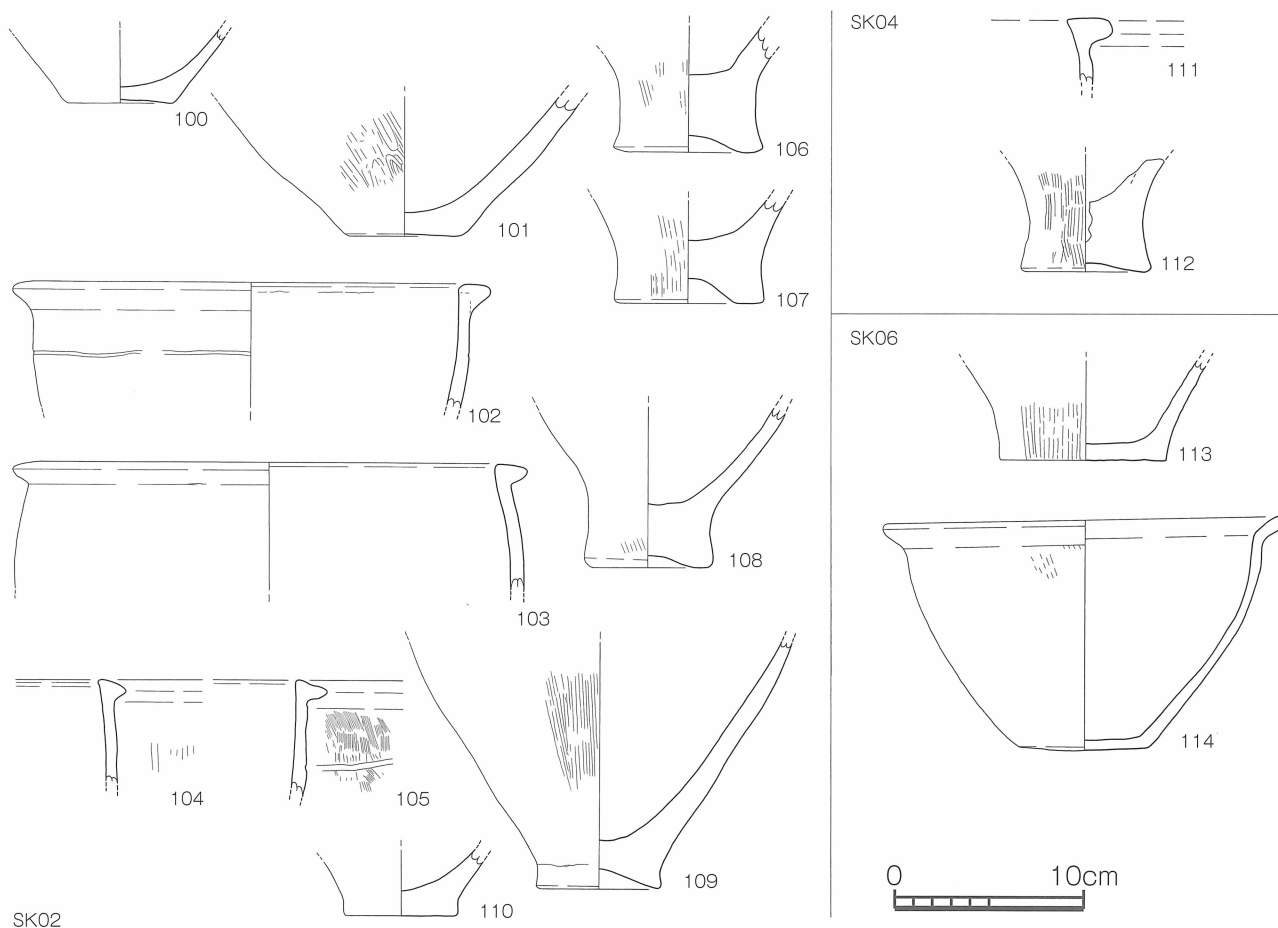
第21図 アモメ遺跡1地点 竪穴住居（SB03）②出土土器実測図〔1／4〕



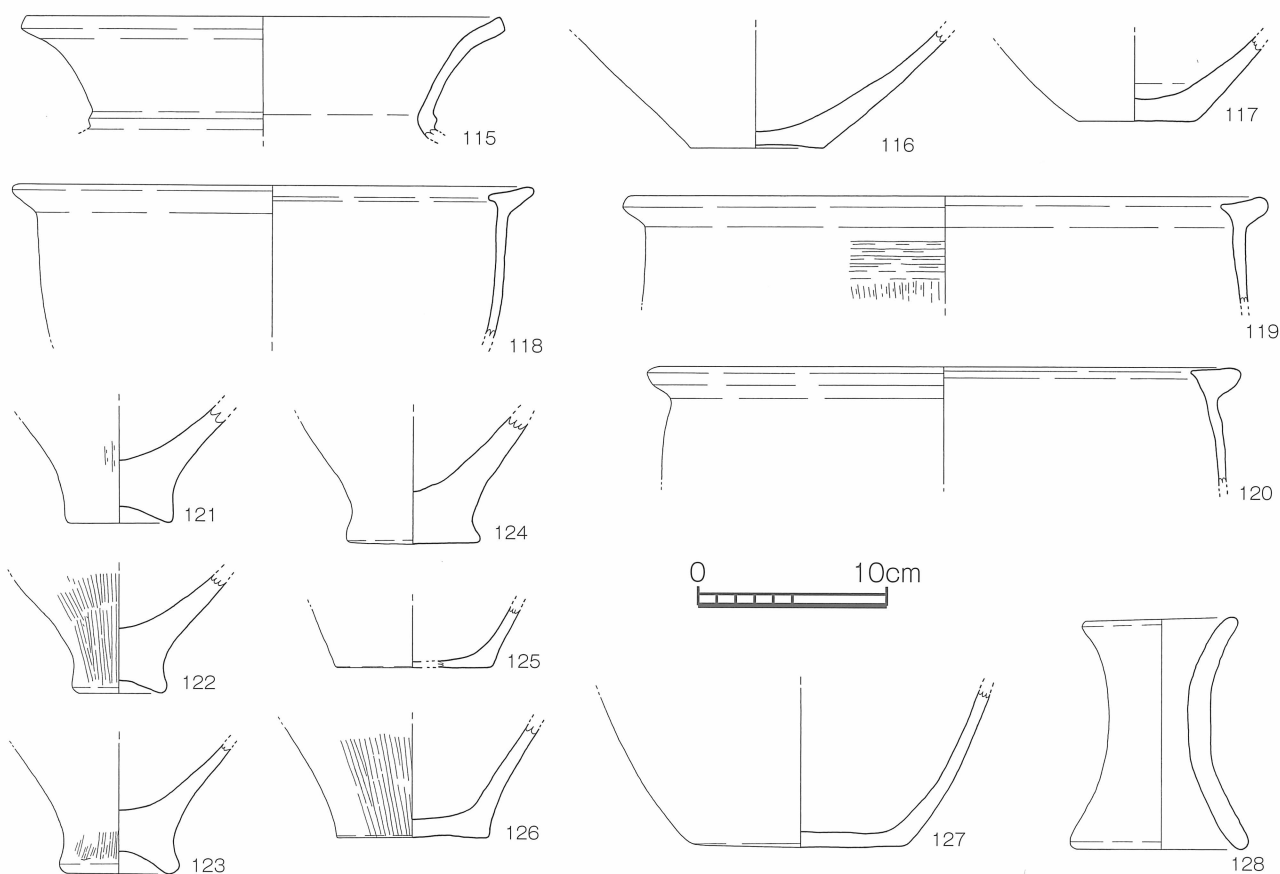
第22図 アモメ遺跡1地点 竪穴住居（SB03）③出土土器実測図〔1／4〕



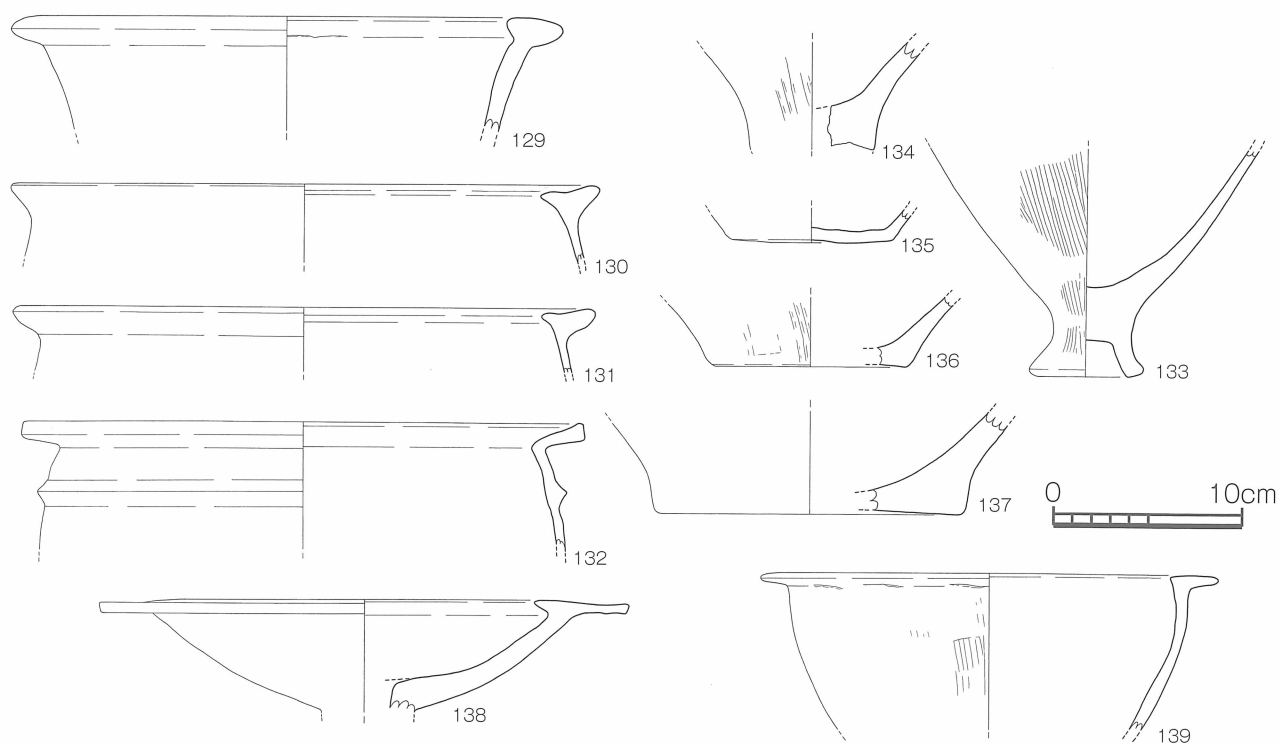
第23図 アモメ遺跡1地点 竪穴住居（SB04）、甕棺（K01）、土壙（SK01）出土土器実測図〔1／4〕



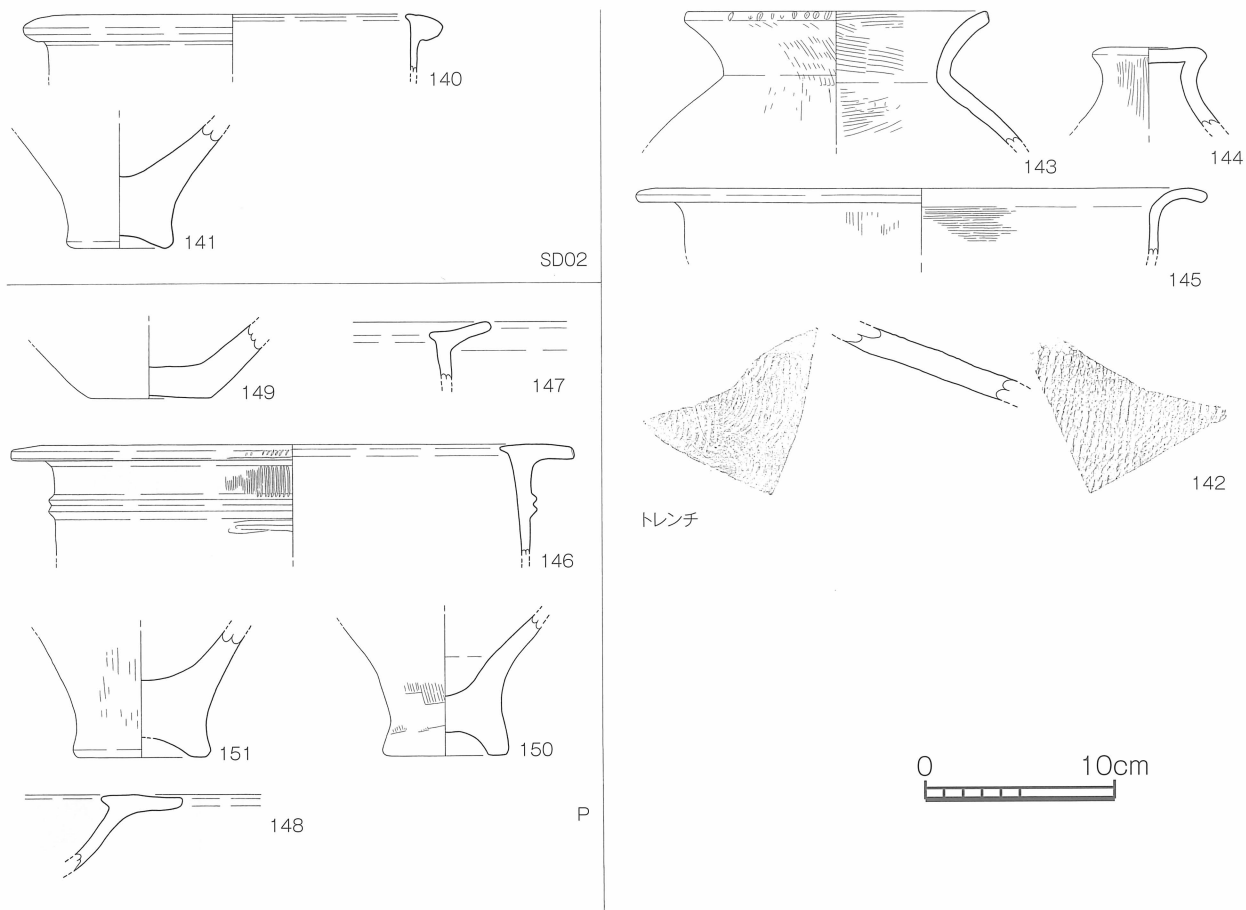
第24図 アモメ遺跡1地点 土壙（SK02・04・06）出土土器実測図〔1／4〕



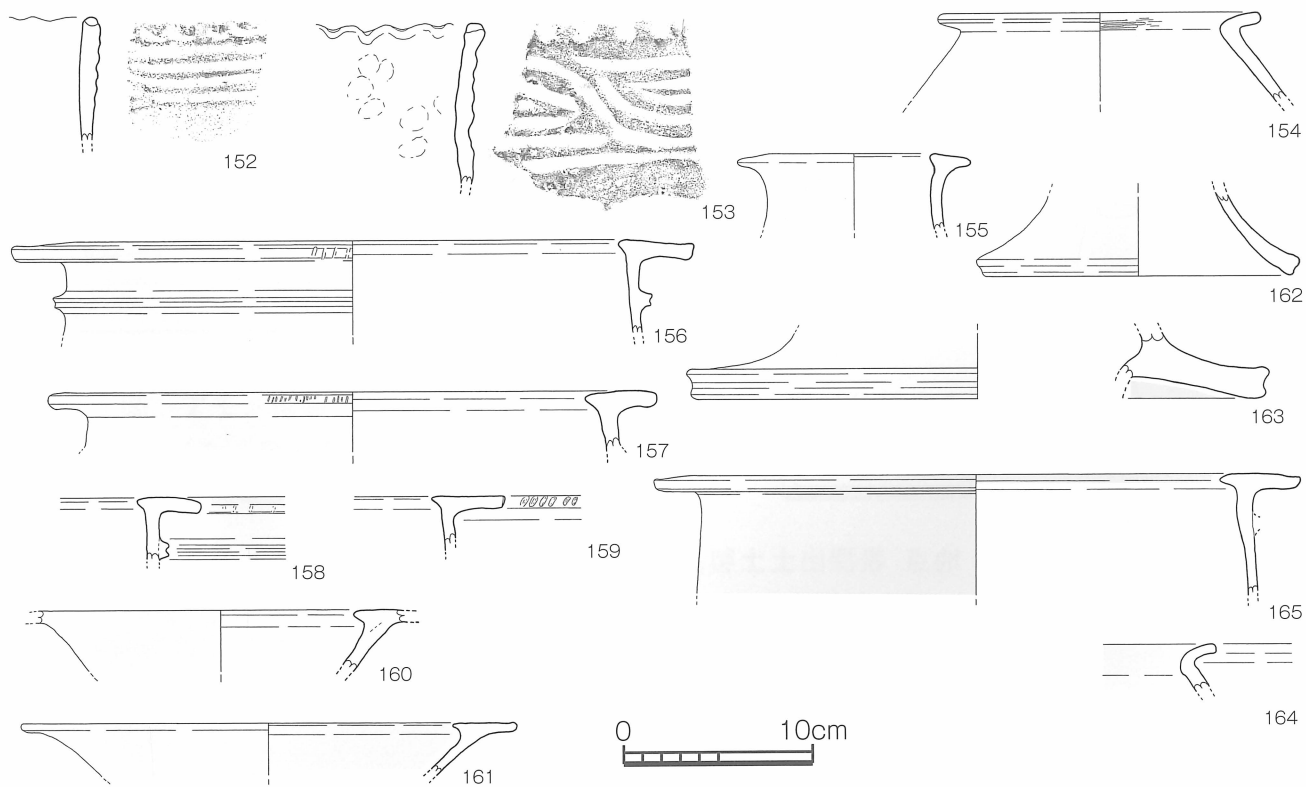
第25図 アモメ遺跡1地点 土壇（SK07）出土土器実測図〔1／4〕



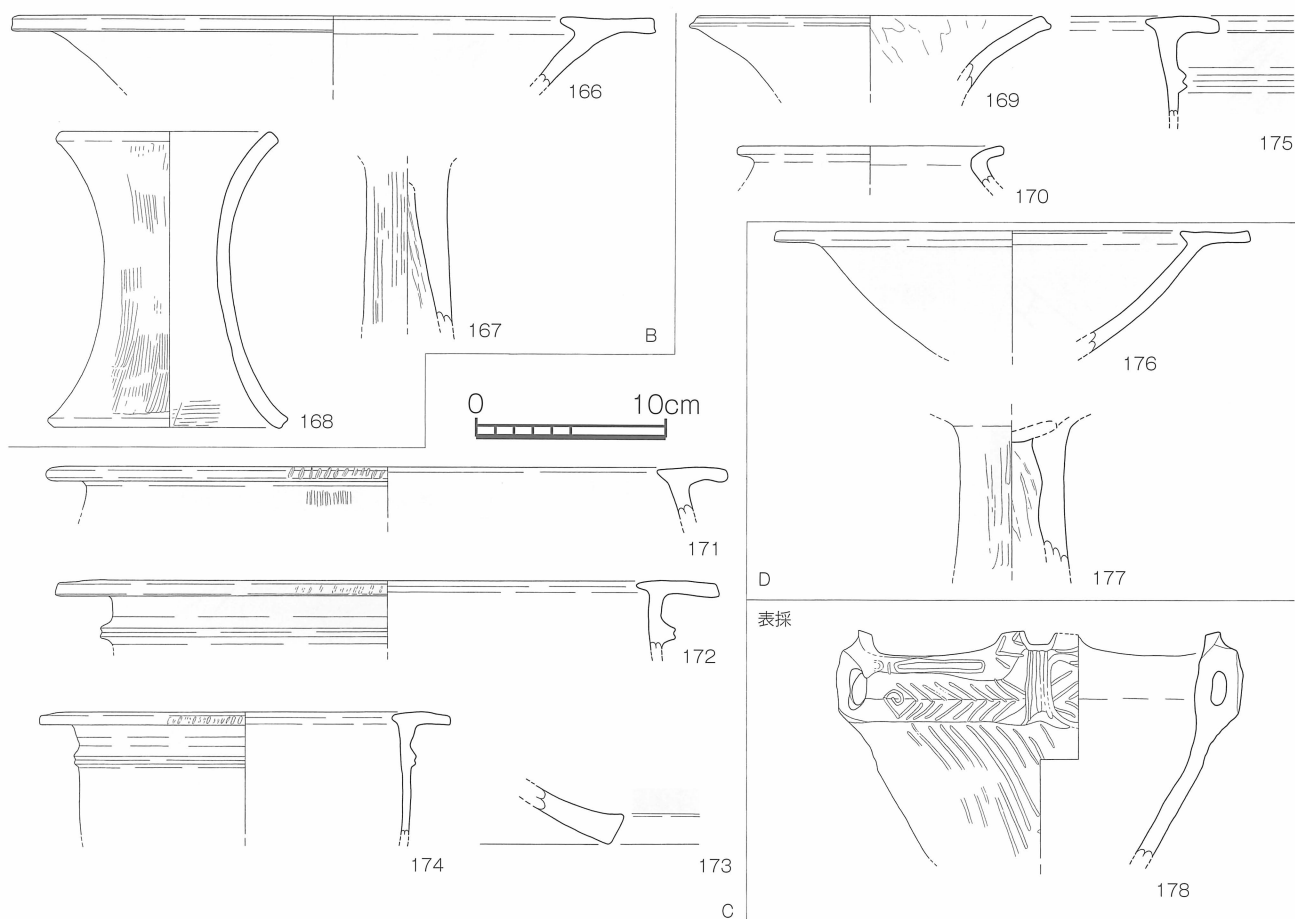
第26図 アモメ遺跡1地点 溝（SD01）出土土器実測図〔1／4〕



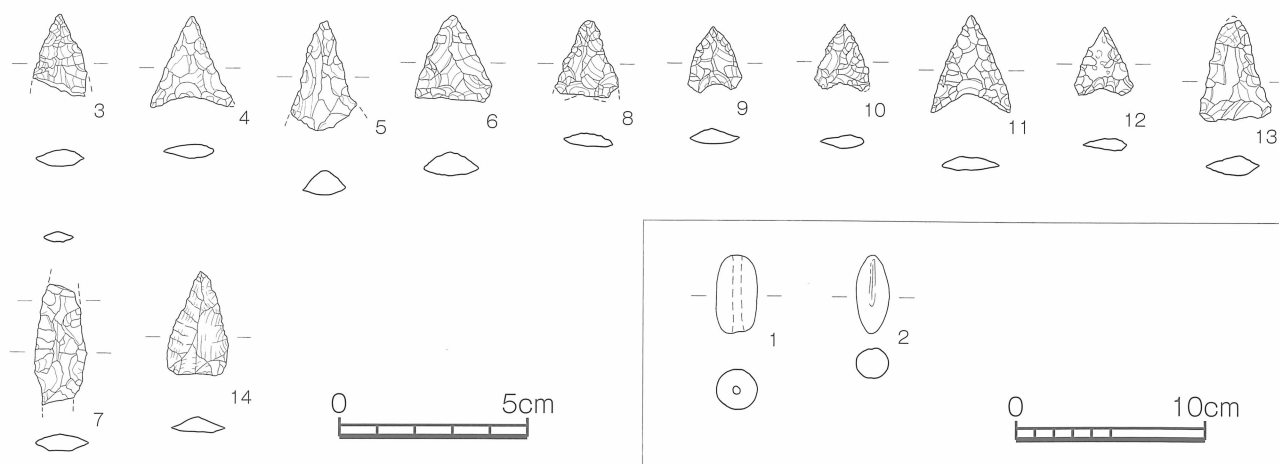
第27図 アモメ遺跡1地点 溝 (SD02)、ピット、トレンチ出土土器実測図 [1/4]



第28図 アモメ遺跡1地点 表採 (A・B) 出土土器実測図 [1/4]



第29図 アモメ遺跡1地点 表採 (B・C・D) 出土土器実測図 [1/4]



第30図 アモメ遺跡1地点 表採出土土製品 [1/2]、竪穴住居 (SB01・03・04)、溝 (SD02) 出土石器実測図 [1/4]



第31図 アモメ遺跡1地点 竪穴住居 (SB03)、土壇 (SK01)、溝 (SD01)、表採 (A・B・C) 出土石製品実測図 [1/3]

表1 アモメ遺跡1地点 出土土器観察表

挿図	遺物番号	実測番号	出土遺構	器種	種別	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	調整	色調・胎土・焼成	備考
第18図	1	R106	S B01	甕	弥生式土器		5.3	3	外面：ナデ 内面：ナデ	色調(外・内)：浅黄褐色・浅黄褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂粒、片岩等を含む。	底部4/5
第18図	2	R112	S B01	甕	弥生式土器			4.9	外面：不明・ナデ 内面：ナデ	色調(外・内)：にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：3mmの砂粒を含み、片岩等を含む。	底部小片
第18図	3	R006	S B01	甕	弥生式土器	29		5.9	外面：ヨコナデ・ハケメ 内面：ナデ	色調(外・内)：にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂粒、片岩・石英等を含む。	口縁部1/10
第18図	4	R003	S B01	甕	弥生式土器	30		7.3	外面：不明 内面：不明	色調(外内)：にぶい褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩、長石等を含む。	口縁部1/10 摩耗著しい
第18図	5	R007	S B01	甕	弥生式土器	35.2		10.4	外面：ヨコナデ・ハケメ 内面：ヨコナデ・ナデ	色調(外内)：褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂を含み、片岩等を含む。	口縁部1/12
第18図	6	R002	S B01	甕	弥生式土器	27.2		4.5	外面：ヨコナデ・ハケメ 内面：ナデ	色調(外内)：褐色・褐色 焼成：良 胎土：1.5mmの砂をやや多く含み、角閃石、赤褐色粒等を含む。	口縁部1/8 伊勢
第18図	7	R102	S B01	甕	弥生式土器	32		6.4	外面：ヨコナデ・ハケメ 内面：不明・ハケメ	色調(外内)：にぶい黄褐色・浅黄褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂粒を含み、片岩等を含む。	口縁部1/10
第18図	8	R101	S B01	甕	弥生式土器	32		6.1	外面：ヨコナデ・ハケメ 内面：ヨコナデ・ハケメ後ナデ	色調(外内)：にぶい褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂粒を含み、片岩等を含む。	口縁部1/8
第18図	9	R104	S B01	甕	弥生式土器			1.6	外面：不明 内面：不明	色調(外内)：にぶい褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂を含み、片岩、角閃石等を含む。	口縁部小片 摩耗
第18図	10	R103	S B01	甕	弥生式土器			3.3	外面：ヨコナデ・ハケメ 内面：ヨコナデ・ナデ	色調(外内)：にぶい褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を少量含み、片岩等を含む。	口縁部小片
第18図	11	R005	S B01	甕	弥生式土器			4.5	外面：不明 内面：不明	色調(外内)：褐色・褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂を含み、片岩等を含む。	口縁部小片 歪み、摩耗
第18図	12	R004	S B01	甕	弥生式土器		8.75	8.2	外面：ハケメ・未調整 内面：ハケメ・ナデ	色調(外内)：褐色・灰黄色 焼成：良 胎土：1.5mmの砂を含み、片岩等を含む。	底部1/1
第18図	13	R107	S B01	甕	弥生式土器		9	4.7	外面：ハケメ・ナデ 内面：ナデ	色調(外内)：にぶい黄褐色・灰黄褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩等を含む。	底部1/5
第18図	14	R109	S B01	甕	弥生式土器		8.3	4.5	外面：ハケメ・ナデ 内面：ナデ	色調(外内)：にぶい褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩等を含む。	底部1/8
第18図	15	R108	S B01	甕	弥生式土器		7.1	4.3	外面：ナデ 内面：ナデ	色調(外内)：にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：3mmの砂粒を含み、片岩、長石等を含む。	底部2/3
第18図	16	R110	S B01	甕	弥生式土器			4.5	外面：ハケメ・ナデ 内面：ナデ	色調(外内)：褐色・黒褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂を含み、角閃石、白色砂等を含む。	底部1/4
第18図	17	R111	S B01	甕	弥生式土器		6	3.6	外面：不明 内面：不明	色調(外内)：にぶい褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩等を含む。	底部1/5
第18図	18	R001	S B01	鉢	弥生式土器	15.9	5.9	7.6	外面：ハケメ・ナデ 内面：ハケメ後ナデ	色調(外内)：にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：1.5mmの砂を多く含み、片岩等を含む。	底形 口縁部 高さの歪みが大きい
第18図	19	R105	S B01	鉢	弥生式土器		4.6	4.8	外面：ヘラミガキ 内面：ナデ	色調(外内)：にぶい黄褐色・赤褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩等を含む。	底部1/1
第19図	20	R118	S B02	深鉢	縄文式土器		9.6	7.1	外面：ナデ 内面：ナデ	色調(外内)：にぶい黄褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：4mmの砂粒を含み、白色砂、片岩、石英等を含む。	底部1/2 調整が粗い
第19図	21	R121	S B02	甕	弥生式土器	16		5.1	外面：不明 内面：不明	色調(外内)：にぶい黄褐色・褐色 焼成：良 胎土：4mmの砂粒を多く含み、片岩等を含む。	口縁部1/8
第19図	22	R114	S B02	甕	弥生式土器	26		7.7	外面：不明 内面：不明	色調(外内)：褐色・灰色 焼成：良 胎土：2mmの砂を含み、片岩、角閃石等を含む。	口縁部1/5 摩耗
第19図	23	R113	S B02	甕	弥生式土器	29		9.8	外面：不明 内面：不明	色調(外内)：褐色・褐色 焼成：良 胎土：1.5mmの砂を多く含み、片岩等を含む。	口縁部1/5 摩耗
第19図	24	R115	S B02	甕	弥生式土器	24		5.9	外面：不明・ハケメ 内面：不明	色調(外内)：にぶい褐色・浅黄褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂粒をやや多く含み、片岩等を含む。	口縁部1/6 摩耗
第19図	25	R130	S B02	甕	弥生式土器	26		4.4	外面：ヨコナデ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	色調(外内)：にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：1.5mmの砂を含み、片岩等を含む。	口縁部1/12
第19図	26	R132	S B02	甕	弥生式土器	26		4	外面：不明 内面：不明	色調(外内)：褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：1.5mmの砂を含み、片岩等を含む。	口縁部1/12 摩耗
第19図	27	R126	S B02	甕	弥生式土器	26		3.5	外面：不明 内面：不明	色調(外内)：褐色・褐色 焼成：良 胎土：3mmの砂粒を多く含み、片岩等を含む。	口縁部1/10 摩耗
第19図	28	R129	S B02	甕	弥生式土器			2.2	外面：ヨコナデ 内面：ナデ	色調(外内)：にぶい褐色・浅黄褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂を含み、片岩等を含む。	口縁部小片
第19図	29	R128	S B02	甕	弥生式土器			5.1	外面：不明 内面：不明	色調(外内)：にぶい褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：5mmの砂粒を含み、3mm以上の珪、片岩、石英等を含む。	口縁部小片 摩耗
第19図	30	R117	S B02	甕	弥生式土器			4.6	外面：不明 内面：不明	色調(外内)：黄灰色・褐色 焼成：良 胎土：3mmの砂粒を多く含み、片岩等を含む。	口縁部小片 摩耗
第19図	31	R125	S B02	甕	弥生式土器		6.7	5.5	外面：ハケメ・不明 内面：不明	色調(外内)：にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂粒を多く含み、片岩、石英等を含む。	底部1/1 底部稍凹
第19図	32	R119	S B02	甕	弥生式土器		7.7	5.7	外面：ハケメ・未調整 内面：不明	色調(外内)：にぶい褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：1.5mmの砂を含み、片岩等を含む。	底部3/4
第19図	33	R120	S B02	甕	弥生式土器		8.7	7.2	外面：ハケメ・未調整 内面：ナデ	色調(外内)：にぶい褐色・黒褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、角閃石、長石、石英等を含む。	底部1/3
第19図	34	R133	S B02	甕	弥生式土器		7.3	2.4	外面：不明・ナデ 内面：不明	色調(外内)：にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：3mmの砂粒を多く含み、片岩等を含む。	底部2/3 底部稍凹
第19図	35	R131	S B02	甕	弥生式土器		5.2	2.5	外面：ナデ 内面：ナデ	色調(外内)：褐色・褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂粒を多く含み、片岩、長石等を含む。	底部2/3
第19図	36	R122	S B02	高坏	弥生式土器		12.6	2.8	外面：ハケメ・ナデ 内面：ハケメ・ナデ	色調(外内)：にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：0.5mmの砂を少量含み、片岩等を含む。	底部1/8
第19図	37	R116	S B02	器台	弥生式土器		13.4	5.95	外面：ハケメ・ナデ 内面：ハケメ	色調(外内)：褐色・褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩等を含む。	底部1/8
第19図	38	R123	S B02	鉢	弥生式土器	16		4.1	外面：ナデ 内面：ナデ	色調(外内)：褐色・褐色 焼成：良 胎土：0.5mmの砂を含み、片岩等を含む。	口縁部1/8
第19図	39	R124	S B02	鉢	弥生式土器	22		4.8	外面：不明 内面：不明	色調(外内)：浅黄褐色・浅黄褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂をやや少量含む。黄灰色砂等を含む。	口縁部1/9
第19図	40	R127	S B02	鉢	弥生式土器			4.3	外面：不明 内面：不明	色調(外内)：浅黄褐色・浅黄褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂粒を多く含み、片岩等を含む。	口縁部小片
第20図	41	R148	S B03	甕	弥生式土器			7.6	外面：暗文・ヨコナデ・ヘラミガキ 内面：ヘラミガキ・不明	色調(外内)：にぶい褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂をやや少量含む。角閃石等を含む。	底部1/5 暗文 暗文
第20図	42	R019	S B03	甕	弥生式土器		5.5	6.8	外面：不明 内面：不明	色調(外内)：褐色・褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂粒をやや多く含み、片岩等を含む。	底部1/1 摩耗
第20図	43	R134	S B03	甕	弥生式土器	23.8		3.6	外面：不明 内面：不明	色調(外内)：にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、角閃石等を含む。	口縁部1/6 摩耗
第20図	44	R030	S B03	甕	弥生式土器	30		4.1	外面：ヨコナデ 内面：ヨコナデ・不明	色調(外内)：にぶい赤褐色・赤褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を少なく含む。	口縁部1/7 外面丹塗 内面不明
第20図	45	R136	S B03	鉢	弥生式土器	23.4		6.1	外面：不明 内面：不明	色調(外内)：褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂をやや多く含み、片岩等を含む。	口縁部1/8
第20図	46	R025	S B03	甕	弥生式土器	27.4		4.5	外面：不明 内面：不明	色調(外内)：にぶい褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂粒を含み、片岩、黄灰色砂等を含む。	口縁部1/8 摩耗著しい
第20図	47	R033	S B03	甕	弥生式土器	30.4		7.3	外面：ヨコナデ・ハケメ 内面：ヨコナデ・ナデ	色調(外内)：にぶい褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂粒をやや多く含み、片岩等を含む。	口縁部1/8
第20図	48	R029	S B03	甕	弥生式土器	27.6		5.8	外面：ヨコナデ・ハケメ 内面：不明・ナデ	色調(外内)：灰白色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂を含み、片岩等を含む。	口縁部
第20図	49	R038	S B03	甕	弥生式土器	32		5.3	外面：不明 内面：不明	色調(外内)：明黄褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂をやや少量含む。片岩等を含む。	口縁部1/8 摩耗
第20図	50	R009	S B03	甕	弥生式土器	32		5.1	外面：不明 内面：不明	色調(外内)：にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：1.5mmの砂を含み、片岩、白色砂等を含む。	口縁部1/8 摩耗
第20図	51	R015	S B03	甕	弥生式土器	32.4		5	外面：ヨコナデ・不明 内面：不明	色調(外内)：にぶい褐色・浅黄褐色 焼成：良 胎土：1.5mmの砂を含む。	口縁部1/8 摩耗著しい
第20図	52	R016	S B03	甕	弥生式土器	32.4		14	外面：ヨコナデ・ナデ・ハケメ 内面：ハケメ・ナデ	色調(外内)：にぶい黄褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂粒を含み、片岩等を含む。	口縁部1/5
第21図	53	R036	S B03	甕	弥生式土器	27.8		3.5	外面：ヨコナデ・ハケメ 内面：不明	色調(外内)：にぶい褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：4mmの砂粒を含み、片岩、石英、暗灰色砂等を含む。	口縁部1/7

種 国	道物 番号	実測 番号	出土遺構	器種	種別	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	調整	色調・胎土・焼成	備考
第21国	54	R037	S B03	甕	弥生式土器	18.3		10.7	外面:ヨコナデ・ハケメ 内面:ヨコナデ・ハケメ	色調(外内):にぶい黄褐色・にぶい褐色 焼成:良 胎土:3mmの砂礫を含み、礫、片岩等を含む。	口縁部1/8
第21国	55	R487	S B03	甕	弥生式土器	15.4	5.2	23.85	外面:ヨコナデ・ハケメ・ナデ 内面:ヨコナデ・ハケメ・ナデ	色調(外内):褐色・褐色 焼成:良 胎土:3mmの砂礫を含み、礫、片岩、石英等を含む。	3/4 口縁部は楕円形 底部はレンス状
第21国	56	R034	S B03	甕	弥生式土器			4.8	外面:不明 内面:不明	色調(外内):褐色・にぶい黄褐色 焼成:良 胎土:3mmの砂礫を含み、礫、片岩、石英等を含む。	口縁部小片 摩耗
第21国	57	R032	S B03	甕	弥生式土器			3.25	外面:ヨコナデ・ハケメ 内面:ヨコナデ・ナデ	色調(外内):にぶい褐色・褐色 焼成:良 胎土:3mmの砂礫を含み、礫、片岩、石英等を含む。	口縁部小片
第21国	58	R141	S B03	甕	弥生式土器			6.8	外面:ヨコナデ・ハケメ 内面:ヨコナデ・ナデ	色調(外内):にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成:良 胎土:1.5mmの砂を含み、片岩等を含む。	口縁部小片
第21国	59	R039	S B03	甕	弥生式土器			6	外面:不明 内面:不明・工具によるナデ	色調(外内):灰白色・にぶい黄褐色 焼成:良 胎土:3mmの砂礫を含み、片岩等を含む。	口縁部小片 摩耗
第21国	60	R138	S B03	甕	弥生式土器			9	外面:ヨコナデ・ハケメ 内面:ヨコナデ・不明・ナデ	色調(外内):灰黄色・にぶい黄褐色 焼成:良 胎土:1mmの砂を含み、片岩等を含む。	口縁部小片
第21国	61	R018	S B03	甕	弥生式土器			4.2	外面:ヨコナデ・ハケメ 内面:ヨコナデ・ナデ	色調(外内):にぶい褐色・灰黄褐色 焼成:良 胎土:3mmの砂礫を含み、礫、片岩、角閃石等を含む。	口縁部小片
第21国	62	R137	S B03	甕	弥生式土器			5.2	外面:ハケメ 内面:不明	色調(外内):にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成:良 胎土:2mmの砂をやや少量含み、片岩、石英等を含む。	口縁部小片 摩耗
第21国	63	R022	S B03	甕	弥生式土器			6.1	外面:ハケメ・ナデ 内面:ナデ	色調(外内):褐色・にぶい褐色 焼成:良 胎土:1mmの砂を含み、片岩、角閃石等を含む。	底部3/4
第21国	64	R013	S B03	甕	弥生式土器			6	外面:不明 内面:不明	色調(外内):明黄褐色・にぶい黄褐色 焼成:良 胎土:2mmの砂礫を含み、片岩等を含む。	底部1/4 摩耗
第21国	65	R145	S B03	甕	弥生式土器			8.1	外面:不明・ナデ 内面:不明	色調(外内):褐色・灰黄褐色 焼成:良 胎土:1mmの砂をやや少量含み、角閃石等を含む。	底部1/4 摩耗
第21国	66	R144	S B03	甕	弥生式土器			8.2	外面:ハケメ・ナデ 内面:不明	色調(外内):灰黄褐色・にぶい黄褐色 焼成:良 胎土:3mmの砂礫を含み、片岩等を含む。	底部1/3
第21国	67	R023	S B03	甕	弥生式土器			9	外面:ハケメ・ナデ 内面:不明	色調(外内):褐色・灰白色 焼成:良 胎土:2mmの砂礫を含み、片岩、石英等を含む。	底部1/5
第21国	68	R146	S B03	甕	弥生式土器			10.2	外面:ハケメ・不明 内面:ナデ	色調(外内):褐色・灰黄色 焼成:良 胎土:2mmの砂を含み、片岩、角閃石等を含む。	底部1/4
第21国	69	R011	S B03	甕	弥生式土器			8.6	外面:ハケメ・ナデ 内面:ナデ	色調(外内):にぶい褐色・灰白色 焼成:良 胎土:3mmの砂礫をややく含み、5mmを超える礫、片岩、白色砂等を含む。	底部2/3 底部は楕円
第21国	70	R031	S B03	甕	弥生式土器			9.8	外面:ハケメ・ナデ 内面:ナデ	色調(外内):灰黄色・灰黄色 焼成:良 胎土:2mmの砂礫を含み、片岩等を含む。	底部1/8
第21国	71	R014	S B03	甕	弥生式土器			8	外面:ナデ・ヘラミグリ 内面:ナデ	色調(外内):にぶい褐色・にぶい褐色 焼成:良 胎土:1.5mmの砂を含み、片岩、角閃石等を含む。	底部1/4 摩耗 外面丹塗
第21国	72	R021	S B03	甕	弥生式土器			6.8	外面:ヘラミグリ・ナデ・ヘラミグリ 内面:ナデ	色調(外内):赤色・灰白色 焼成:良 胎土:1.5mmの砂を含み、片岩、石英等を含む。	底部3/8 外面丹塗
第21国	73	R012	S B03	甕	弥生式土器			6	外面:不明 内面:不明	色調(外内):にぶい褐色・にぶい褐色 焼成:良 胎土:1mmの砂を含み、片岩等を含む。	底部1/4 摩耗
第22国	74	R026	S B03	高坏	弥生式土器	28		7.9	外面:不明 内面:不明	色調(外内):灰黄褐色・にぶい黄褐色 焼成:良 胎土:3mmの砂礫を含み、片岩、石英等を含む。	口縁部1/8 摩耗 剥離
第22国	75	R135	S B03	高坏	弥生式土器	26		5.6	外面:不明 内面:不明・ハケメ	色調(外内):にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成:良 胎土:3mmの砂礫を含み、礫目立つ。片岩等を含む。	口縁部
第22国	76	R017	S B03	高坏	弥生式土器	37.9		6.9	外面:不明 内面:不明	色調(外内):浅黄褐色・浅黄褐色 焼成:良 胎土:2mmの砂礫をやや少量含み、角閃石、黄灰色砂等を含む。	口縁部1/7 摩耗
第22国	77	R142	S B03	高坏	弥生式土器	33.8		2.7	外面:ハケメ後ナデ・ヨコナデ 内面:ハケメ後ナデ	色調(外内):灰黄褐色・灰黄褐色 焼成:良 胎土:1mmの砂をやや少量含み、片岩、角閃石等を含む。	口縁部1/12
第22国	78	R028	S B03	高坏	弥生式土器			9.8	外面:ハケメ 内面:不明	色調(外内):褐色・にぶい褐色 焼成:良 胎土:2mmの砂を含み、片岩等を含む。	裾部1/9
第22国	79	R010	S B03	高坏	弥生式土器			3.3	外面:ヨコナデ・ハケメ 内面:ヨコナデ・ナデ	色調(外内):にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成:良 胎土:1mmの砂をやや少量含み、角閃石等を含む。	口縁部小片
第22国	80	R024	S B03	高坏	弥生式土器			12.7	外面:ハケメ・ヨコナデ 内面:不明・ヨコナデ	色調(外内):にぶい黄褐色・灰白色 焼成:良 胎土:1mmの砂を含み、片岩、石英等を含む。	裾部1/5 内外面底部褐色
第22国	81	R147	S B03	器台	弥生式土器			11.6	外面:ハケメ・ヨコナデ 内面:ナデ・ハケメ	色調(外内):灰黄色・明黄褐色 焼成:良 胎土:0.5mmの砂を含み、片岩等を含む。	底部1/4
第22国	82	R027	S B03	器台	弥生式土器			12.4	外面:ハケメ 内面:不明	色調(外内):にぶい褐色・浅黄褐色 焼成:良 胎土:1mmの砂を含み、片岩等を含む。	底部1/6
第22国	83	R143	S B03	器台	弥生式土器			12	外面:不明 内面:ナデ・不明	色調(外内):にぶい褐色・にぶい褐色 焼成:良 胎土:1mmの砂を含む。	胴部1/4
第22国	84	R008	S B03	器台	弥生式土器			13.4	外面:ハケメ・ヨコナデ 内面:ナデ・工具によるナデ・ハケメのちヨコナデ	色調(外内):にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成:良 胎土:3mmの砂礫を含み、片岩等を含む。	底部1/1
第22国	85	R035	S B03	器台	弥生式土器			7.8	外面:不明 内面:ナデ	色調(外内):にぶい黄褐色・褐灰色 焼成:良 胎土:3mmの砂礫、礫、片岩等を含む。	裾部小片
第22国	86	R140	S B03	鉢	弥生式土器	18		6	外面:ヨコナデ・ハケメ 内面:ヨコナデ・ナデ	色調(外内):浅黄色・にぶい黄褐色 焼成:良 胎土:0.5mmの砂を少量含み、角閃石等を含む。	口縁部1/8
第22国	87	R020	S B03	鉢	弥生式土器			3	外面:ナデ 内面:不明・ナデ	色調(外内):にぶい褐色・にぶい黄褐色 焼成:良 胎土:1.5mmの砂を多く含み、片岩、石英、白色砂等を含む。	底部1/1
第22国	88	R139	S B03	鉢	弥生式土器			6.6	外面:ヨコナデ・ハケメ 内面:ヨコナデ・ナデ	色調(外内):灰黄色・浅黄色 焼成:良 胎土:1mmの砂を含み、片岩、角閃石等を含む。	口縁部小片
第23国	89	R042	S B04	甕	弥生式土器			4.2	外面:ヨコナデ・ハケメ 内面:不明・ヨコナデ・ナデ	色調(外内):にぶい褐色・にぶい褐色 焼成:良 胎土:3mmの砂礫を含み、片岩等を含む。	口縁部小片
第23国	90	R040	S B04	甕	弥生式土器			2.4	外面:ヨコナデ・ナデ 内面:ナデ	色調(外内):明褐色・明褐色 焼成:良 胎土:2mmの砂礫を多く含み、片岩等を含む。	口縁部小片
第23国	91	R041	S B04	甕	弥生式土器			6.3	外面:ヘラミグリ・ナデ 内面:ナデ	色調(外内):黒色・浅黄色 焼成:良 胎土:2mmの砂を含む。	底部1/4
第23国	92	R1425	K01	甕	弥生式土器	30.8		17	外面:ナデ・ハケメ 内面:ナデ	色調(外内):にぶい褐色・にぶい黄褐色 焼成:良 胎土:4mmの砂礫をやや多く含み、礫、片岩等を含む。	口縁部1/1 口縁や楕円 29.7~31.3cm
第23国	93	R1419	S K01	鉢	縄文式土器			4.3	外面:図章状の刺突文 内面:ナデ	色調(外内):赤褐色・赤褐色 焼成:良 胎土:3mmの砂礫を多く含み、滑石等を含む。	口縁部小片
第23国	94	R506	S K01	甕	弥生式土器	30		4	外面:不明 内面:不明	色調(外内):にぶい褐色・にぶい褐色 焼成:良 胎土:4mmの砂礫を多く含み、片岩等を含む。	口縁部1/8
第23国	95	R509	S K01	甕	弥生式土器	28.4		5.2	外面:不明 内面:不明	色調(外内):褐色・褐色 焼成:良 胎土:2mmの砂礫を含み、片岩等を含む。	口縁部1/12 摩耗
第23国	96	R508	S K01	甕	弥生式土器			5.25	外面:不明 内面:不明	色調(外内):明黄褐色・明黄褐色 焼成:良 胎土:3mmの砂礫を含み、片岩等を含む。	口縁部小片 摩耗
第23国	97	R510	S K01	甕	弥生式土器			4.3	外面:不明・ナデ 内面:ナデ	色調(外内):にぶい褐色・にぶい褐色 焼成:良 胎土:1mmの砂を含み、片岩等を含む。	口縁部小片
第23国	98	R507	S K01	甕	弥生式土器			3.45	外面:不明 内面:不明	色調(外内):にぶい褐色・褐色 焼成:良 胎土:3mmの砂礫を含み、片岩等を含む。	口縁部小片 摩耗
第23国	99	R505	S K01	甕	弥生式土器			7.4	外面:ハケメ・ナデ 内面:ナデ	色調(外内):褐色・にぶい黄褐色 焼成:良 胎土:1mmの砂を含み、片岩等を含む。	底部1/1
第24国	100	R515	S K02	甕	弥生式土器			5.6	外面:ヘラミグリ 内面:ナデ	色調(外内):にぶい褐色・にぶい黄褐色 焼成:良 胎土:1.5mmの砂をやや多く含み、片岩、長石等を含む。	底部1/1
第24国	101	R511	S K02	甕	弥生式土器			6.2	外面:ヘラミグリ・不明 内面:工具によるナデ・ナデ	色調(外内):にぶい褐色・にぶい褐色 焼成:良 胎土:3mmの砂礫を含み、片岩、長石等を含む。	底部、1/1
第24国	102	R516	S K02	甕	弥生式土器	25		6.6	外面:ヨコナデ・ナデ 内面:ヨコナデ・ナデ	色調(外内):褐灰色・にぶい黄褐色 焼成:良 胎土:3mmの砂礫を含み、片岩、石英等を含む。	口縁部1/10
第24国	103	R519	S K02	甕	弥生式土器	27		6.7	外面:ヨコナデ・ナデ 内面:ナデ	色調(外内):にぶい褐色・灰黄褐色 焼成:良 胎土:2mmの砂礫を含み、片岩等を含む。	口縁部1/4
第24国	104	R518	S K02	甕	弥生式土器			5.5	外面:ヨコナデ・ハケメ 内面:ヨコナデ・不明	色調(外内):にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成:良 胎土:3mmの砂礫を含み、礫目立つ。片岩等を含む。	口縁部小片
第24国	105	R517	S K02	甕	弥生式土器			6.2	外面:ヨコナデ・ハケメ・工具ナデ 内面:ナデ	色調(外内):灰褐色・にぶい黄褐色 焼成:良 胎土:3mmの砂礫を含み、礫目立つ。片岩等を含む。	口縁部小片
第24国	106	R513	S K02	甕	弥生式土器			7.8	外面:ハケメ・ナデ 内面:ナデ	色調(外内):褐色・にぶい褐色 焼成:良 胎土:3mmの砂礫を含み、片岩、長石等を含む。	底部2/3
第24国	107	R520	S K02	甕	弥生式土器			7.8	外面:ハケメ・不明 内面:ナデ	色調(外内):にぶい黄褐色・灰黄褐色 焼成:良 胎土:3mmの砂礫を含み、礫、片岩、長石等を含む。	底部1/1

挿 入	遺物 番号	実測 番号	出土遺構	器種	種別	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	調整	色調・胎土・焼成	備考
第24図	108	R512	SK02	甕	弥生式土器		6.7	8.55	外面：ハケメ・不明 内面：ナデ	色調（外内）：褐色・褐色 焼成：良 胎土：4mmの砂粒を含み、種、片岩等を含む。	底部1/2
第24図	109	R514	SK02	甕	弥生式土器		6.6	13.1	外面：ハケメ・不明 内面：不明	色調（外内）：明褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂粒を含み、片岩等を含む。	底部1/4
第24図	110	R521	SK02	甕	弥生式土器		6	3.5	外面：ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：黒褐色・灰白色 焼成：良 胎土：3mmの砂粒を含み、種、片岩等を含む。	底部1/1
第24図	111	R523	SK04	甕	弥生式土器			3.5	外面：ヨコナデ・ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：1.5mmの砂を含み、片岩等を含む。	口縁部小片
第24図	112	R522	SK04	甕	弥生式土器		6.8	6.2	外面：ハケメ・ナデ 内面：すべて剥離	色調（外内）：にぶい黄褐色・褐色 焼成：良 胎土：3mmの砂粒を含み、種、片岩、長石等を含む。	底部1/3
第24図	113	R233	SK06	甕	弥生式土器		8.6	5.3	外面：ハケメ・未調整 内面：ナデ	色調（外内）：にぶい褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：1.5mmの砂を多く含む。	底部1/1
第24図	114	R232	SK06	鉢	弥生式土器	20.5	6.8	12.25	外面：不明・ハケメ・ハケメ後ナデ 内面：不明・ナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・灰白色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩等を含む。	1/2
第25図	115	R247	SK07	壺	弥生式土器	25.4		6.4	外面：ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩、角閃石等を含む。	頸部1/4
第25図	116	R239	SK07	壺	弥生式土器		7	6.25	外面：不明・ハケメ後ナデ 内面：ナデ・不明	色調（外内）：黄灰色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含む。	底部1/2 摩耗
第25図	117	R242	SK07	壺	弥生式土器		6.3	4.6	外面：不明 内面：不明・ナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、角閃石、石英等を含む。	底部1/1 摩耗
第25図	118	R246	SK07	甕	弥生式土器	27.4		8.1	外面：不明 内面：不明	色調（外内）：にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩、長石等を含む。	口縁部1/8
第25図	119	R244	SK07	甕	弥生式土器	33.1		5.7	外面：ヨコナデ・ハケメ 内面：ヨコナデ・ナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・浅黄褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂を含み、片岩等を含む。	口縁部1/8
第25図	120	R245	SK07	甕	弥生式土器	31.2		6.25	外面：不明 内面：不明	色調（外内）：にぶい黄褐色・灰白色 焼成：良 胎土：1.5mmの砂を含み、片岩等を含む。	口縁部1/5
第25図	121	R236	SK07	甕	弥生式土器		5.6	6.2	外面：ハケメ・ナデ 内面：不明	色調（外内）：褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩等を含む。	底部1/1
第25図	122	R238	SK07	甕	弥生式土器		5	6.35	外面：ハケメ・ナデ 内面：不明	色調（外内）：にぶい褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩等を含む。	底部1/1
第25図	123	R235	SK07	甕	弥生式土器		5.3	6.9	外面：ハケメ・不明 内面：摩耗	色調（外内）：褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：4mmの砂粒を多く含む、片岩、石英等を含む。	底部1/1
第25図	124	R237	SK07	甕	弥生式土器		7	6.8	外面：不明 内面：不明	色調（外内）：にぶい褐色・灰黄褐色 焼成：良 胎土：3mmの砂粒を含み、種、片岩、長石等を含む。	底部1/1 変形よくない・底部稍内 摩耗
第25図	125	R241	SK07	甕	弥生式土器		8.3	3.3	外面：不明 内面：不明	色調（外内）：黒褐色・黒灰色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩等を含む。	底部2/3 摩耗
第25図	126	R240	SK07	甕	弥生式土器		8	6	外面：ハケメ・未調整 内面：ナデ	色調（外内）：灰黄褐色・灰黄褐色 焼成：良 胎土：1.5mmの砂を含み、片岩等を含む。	底部1/2
第25図	127	R243	SK07	甕	弥生式土器		11.3	8.5	外面：不明 内面：ナデ・不明	色調（外内）：褐色・褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂粒を含み、片岩等を含む。	底部3/4 摩耗
第25図	128	R234	SK07	器台	弥生式土器	8.2	9.3	12.3	不明・不明 内面：不明・ナデ	色調（外内）：褐色・褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩、角閃石等を含む。	先形
第26図	129	R736	SD01	壺	弥生式土器	29		6.05	外面：ヨコナデ・不明 内面：ヨコナデ・不明	色調（外内）：浅黄褐色・浅黄褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂粒を多く含む、片岩、角閃石等を含む。	口縁部1/8
第26図	130	R980	SD01	甕	弥生式土器	31		4.2	外面：不明 内面：ヨコナデ・ナデ	色調（外内）：褐色・褐色 焼成：良 胎土：1.5mmの砂を含む。	口縁部1/8
第26図	131	R983	SD01	甕	弥生式土器	30.6		3.4	外面：ヨコナデ 内面：ヨコナデ	色調（外内）：褐色・褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩等を含む。	口縁部1/6
第26図	132	R982	SD01	甕	弥生式土器	29.6		6.8	外面：ヨコナデ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・灰白色 焼成：良 胎土：1.5mmの砂を含み、片岩、角閃石等を含む。	口縁部1/5
第26図	133	R997	SD01	甕	弥生式土器		6	12.1	外面：ハケメ・ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂を含み、片岩、長石等を含む。	底部1/1
第26図	134	R734	SD01	甕	弥生式土器		6.5	5.7	外面：ハケメ 内面：ナデ	色調（外内）：褐色・褐色 焼成：良 胎土：4mmの砂粒を含み、片岩等を含む。	底部2/3
第26図	135	R739	SD01	坏	須恵器		8.4	1.8	外面：回転ナデ・ヘラキリ 内面：回転ナデ	色調（外内）：灰白色・灰白色 焼成：良 胎土：3～4mmの粒を含む。	底部1/4
第26図	136	R735	SD01	壺	弥生式土器		10.4	3.7	外面：ハケメ・ナデ 内面：不明	色調（外内）：灰白色・褐色 焼成：良 胎土：0.5mmの砂を含む。	底部1/5 摩耗
第26図	137	R733	SD01	鉢	縄文式土器		16.1	5.5	外面：不明・ナデ 内面：不明	色調（外内）：にぶい褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：4mmの砂粒を含み、種、片岩等を含む。	底部1/5 摩耗
第26図	138	R833	SD01	高坏	弥生式土器	27.8		6	外面：不明 内面：不明	色調（外内）：褐色・褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を少なく含む。黄灰色粒等を含む。	坪部9/10 赤みがある焼き 摩耗著しい
第26図	139	R981	SD01	鉢	弥生式土器	24		8.3	外面：ヨコナデ・ハケメ 内面：ヨコナデ・ナデ	色調（外内）：にぶい褐色・浅黄褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂を含み、片岩等を含む。	口縁部1/7
第27図	140	R835	SD02	甕	弥生式土器	22		3.2	外面：不明 内面：不明	色調（外内）：褐色・浅黄褐色 焼成：良 胎土：1.5mmの砂粒をやや多く含む、片岩等を含む。	口縁部1/8 摩耗
第27図	141	R836	SD02	甕	弥生式土器		5.6	6.6	外面：不明 内面：不明	色調（外内）：浅黄褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：3mmの砂粒をやや多く含む、片岩、石英等を含む。	底部3/4
第27図	142	R764	1号トレンチ	甕	須恵器		3.9		外面：タタキ 内面：同じく当て具痕	色調（外内）：青灰色・青灰色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、白色、灰色砂等を含む。	頸部付近小片
第27図	143	R1518	2号トレンチ	甕	土師器	16		7.1	外面：割目・ヨコナデ・ハケメ後ナデ 内面：ハケメ	色調（外内）：灰黄色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：1.5mmの砂を含み、片岩、角閃石等を含む。	口縁部1/4
第27図	144	R1520	3号トレンチ	蓋	弥生式土器	6		4.3	外面：不明・ナデ・ハケメ 内面：ナデ	色調（外内）：灰白色・灰黄褐色 焼成：良 胎土：0.5mmの砂を含み、角閃石等を含む。	ツマミ部2/3
第27図	145	R1519	3号トレンチ	鍋	土師器	30		3.5	外面：ハケメ 内面：不明・ハケメ	色調（外内）：褐色・褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂を含み、片岩等を含む。	口縁部1/7
第27図	146	R1358	P11	甕	弥生式土器	29.6		6	外面：ヨコナデ・割目・ヘラミガキ 内面：ナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を少なく含む、白色砂等を含む。	口縁部1/10 外面丹塗
第27図	147	R936	P11	甕	弥生式土器		3.1		外面：ヨコナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩、角閃石等を含む。	口縁部1/10
第27図	148	R1359	P12	高坏	弥生式土器		4.1		外面：ヨコナデ・不明 内面：不明	色調（外内）：浅黄褐色・浅黄褐色 焼成：良 胎土：微細な砂を少量含む。精良。	口縁部小片 内外面丹塗 摩耗
第27図	149	R937	P14	壺	弥生式土器		6.4	3.4	外面：ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：浅灰色・黄灰色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩、角閃石等を含む。	底部2/3
第27図	150	R941	P24	甕	弥生式土器		6.4	7.5	外面：ハケメ・ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：褐色・灰黄褐色 焼成：良 胎土：3mmの砂粒をやや多く含む、種、片岩等を含む。	底部1/1
第27図	151	R942	P26	甕	弥生式土器		7.2	6.7	外面：ハケメ・ナデ 内面：	色調（外内）：にぶい褐色・黒灰色 焼成：良 胎土：2mmの砂粒を含み、片岩、長石等を含む。	底部1/3
第28図	152	R1154	A7 0	深鉢	縄文式土器		6.5		外面：大型枕型文様・ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：3mmの砂粒を含み、角閃石等を含む。	口縁部小片
第28図	153	R638	A7 2	深鉢	縄文式土器		8.5		外面：大型間文・ケズリ 内面：ナデ・押圧痕有	色調（外内）：褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂を含み、角閃石等を含む。	口縁部小片
第28図	154	R950	A4	壺	弥生式土器	17		4.7	外面：ヨコナデ・ヘラミガキ 内面：ヘラミガキ・ナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：0.5mmの砂を少量含む。	口縁部1/7 外面丹塗
第28図	155	R1408	A4 9	壺	弥生式土器	12.3		4	外面：ヨコナデ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	色調（外内）：内外面丹塗 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩等を含む。	口縁部1/6 内外面丹塗
第28図	156	R1407	A6	甕	弥生式土器	36		4.95	外面：ヨコナデ・キサミメ・不明 内面：不明	色調（外内）：にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂粒を少量含む。精良。	口縁部下1/8 外面丹塗
第28図	157	R1404	A5	甕	弥生式土器	32		3.2	外面：ヨコナデ・キサミメ・不明 内面：ヨコナデ・ナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂粒を少量含む、長石等を含む。	口縁部1/4 外面丹塗
第28図	158	R1401	A4	甕	弥生式土器		3.3		外面：ヨコナデ・ナデ 内面：ヨコナデ	色調（外内）：黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：微細な砂を少量含む。精良。	口縁部小片 外面丹塗
第28図	159	R1402	A4	甕	弥生式土器		2.9		外面：ヨコナデ・キサミメ・ナデ 内面：ヨコナデ	色調（外内）：褐色・褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を少量含む。精良。片岩等を含む。	口縁部小片 外面丹塗
第28図	160	R1409	A4 9	高坏	弥生式土器	19.4		3.3	外面：ヨコナデ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	色調（外内）：にぶい褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：4mmの砂粒を含み、角閃石等を含む。	口縁部1/10 全面丹塗
第28図	161	R1406	A5	高坏	弥生式土器	26		2.8	外面：不明 内面：不明	色調（外内）：褐色・褐色 焼成：良 胎土：微細な砂を少量含む。精良。	口縁部1/10 内外面丹塗 摩耗

挿図 番号	遺物 番号	実測 番号	出土 遺構	器種	種別	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	調整	色調・胎土・焼成	備考
第28図	162	R1405	A 5	高杯	弥生式 土 器		16	4.25	外面：不明 内面：ナデ	色調（外内）：赤色・棕色 焼成：良 胎土：2mmの砂礫を含み、片岩等を含む。	脚部1/12 外面丹塗
第28図	163	R1403	A 5	器台	弥生式 土 器			3.5	外面：不明・ヨコナデ 内面：ナデ・ヨコナデ	色調（外内）：浅黄棕色・浅黄棕色 焼成：良 胎土：1mmの砂を少なく含む。精良。	張り出し部1/8
第28図	164	R1502	B 1 3	蓋	弥生式 土 器			2.5	外面：ヨコナデ 内面：ヨコナデ・不明	色調（外内）：棕色・棕色 焼成：良 胎土：0.5mmの砂を含む。	口縁部小片 内外面丹塗
第28図	165	R1503	B 1 3	甕	弥生式 土 器	34		6.45	外面：不明 内面：不明	色調（外内）：にぶい黄棕色・浅黄棕色 焼成：良 胎土：2mmの砂礫を少なく含む。片岩、石英、角閃石等を含む。やや精良。	口縁部1/5
第29図	166	R1501	B 1 3	高杯	弥生式 土 器	34		3.7	外面：ヨコナデ・ナデ 内面：ヨコナデ・不明	色調（外内）：にぶい黄棕色・にぶい黄棕色 焼成：良 胎土：0.5mmの砂を含む。やや精良。	口縁部1/11 内外面丹塗
第29図	167	R1504	B 1 3	高杯	弥生式 土 器			8.3	外面：ヘラミガキ 内面：シボリ痕	色調（外内）：赤褐色・黒灰色 焼成：良 胎土：0.5mmの砂を少量含む。やや精良。	脚部上部1/1 外面丹塗
第29図	168	R1381	B 1 3	器台	弥生式 土 器	11.6	12.6	15.7	外面：ハケメ 内面：ナデ・ハケメ	色調（外内）：浅黄棕色・灰白色 焼成：良 胎土：2mmの砂礫を含み、片岩等を含む。	9/10
第29図	169	R1412	C 2 0・2 2	蓋	弥生式 土 器	19		4	外面：不明・マメツ著しい 内面：ヨコナデ・ナデ	色調（外内）：にぶい棕色・にぶい棕色 焼成：良 胎土：2mmの砂を少量含む。精良。	口縁部1/8 丹塗（文様？）摩耗
第29図	170	R1414	C 2 0・2 2	蓋	弥生式 土 器	14		2.1	外面：ナデ 内面：不明	色調（外内）：暗赤色・棕色 焼成：良 胎土：2mmの砂を少量含む。片岩、片岩等を含む。精良。	口縁部1/8
第29図	171	R1410	C 2 0・2 2	甕	弥生式 土 器	36		2.7	外面：キザミメ・暗文 内面：ヨコナデ・不明	色調（外内）：明赤褐色・にぶい黄棕色 焼成：良 胎土：2mmの砂礫を少量含む。片岩、長石等を含む。	口縁部1/8 内外面丹塗
第29図	172	R1413	C 2 0・2 2	甕	弥生式 土 器	35		3.65	外面：キザミ・ヨコナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	色調（外内）：にぶい黄棕色・赤褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂を含み、片岩、角閃石等を含む。	頸部1/8 外面丹塗
第29図	173	R1411	C 2 0・2 2	器台	弥生式 土 器			3.1	外面：ヘラミガキ・ヨコナデ 内面：ナデ・ヨコナデ	色調（外内）：棕色・棕色 焼成：良 胎土：2mmの砂礫を少量含む。長石等を含む。精良。	底部小片 外面丹塗
第29図	174	R1505	C 2 3	甕	弥生式 土 器	21.6		6.5	外面：キザミ・ヨコナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	色調（外内）：明赤褐色・にぶい棕色 焼成：良 胎土：2mmの砂礫を少量含む。片岩等を含む。	口縁部1/9 外面丹塗
第29図	175	R1506	C 2 3	甕	弥生式 土 器			5.4	外面：不明 内面：ナデ	色調（外内）：赤色・にぶい黄棕色 焼成：良 胎土：1.5mmの砂を少量含む。長石、雲母等を含む。	口縁部小片 外面丹塗
第29図	176	R1507	D 2 1	高杯	弥生式 土 器	25		6.5	外面：不明 内面：不明	色調（外内）：浅黄棕色・浅黄棕色 焼成：良 胎土：4mmの砂礫を含み、片岩、長石等を含む。	口縁部1/8 内外面丹塗 摩耗
第29図	177	R1508	D 2 1	高杯	弥生式 土 器			7.8	外面：不明 内面：シボリ痕	色調（外内）：赤褐色・灰黄色 焼成：良 胎土：2mmの砂礫を少量含む。石英等を含む。精良。	脚上部1/1 外面丹塗
第29図	178	R1530	表採	針	縄文式 土 器		6.1	2.8	外面：不明 内面：不明	色調（外内）：棕色・にぶい棕色 焼成：良 胎土：2mmの砂礫を多く含む。片岩等を含む。	底部1/1 摩耗

表2 アモメ遺跡1地点 土製品・石器・石製品

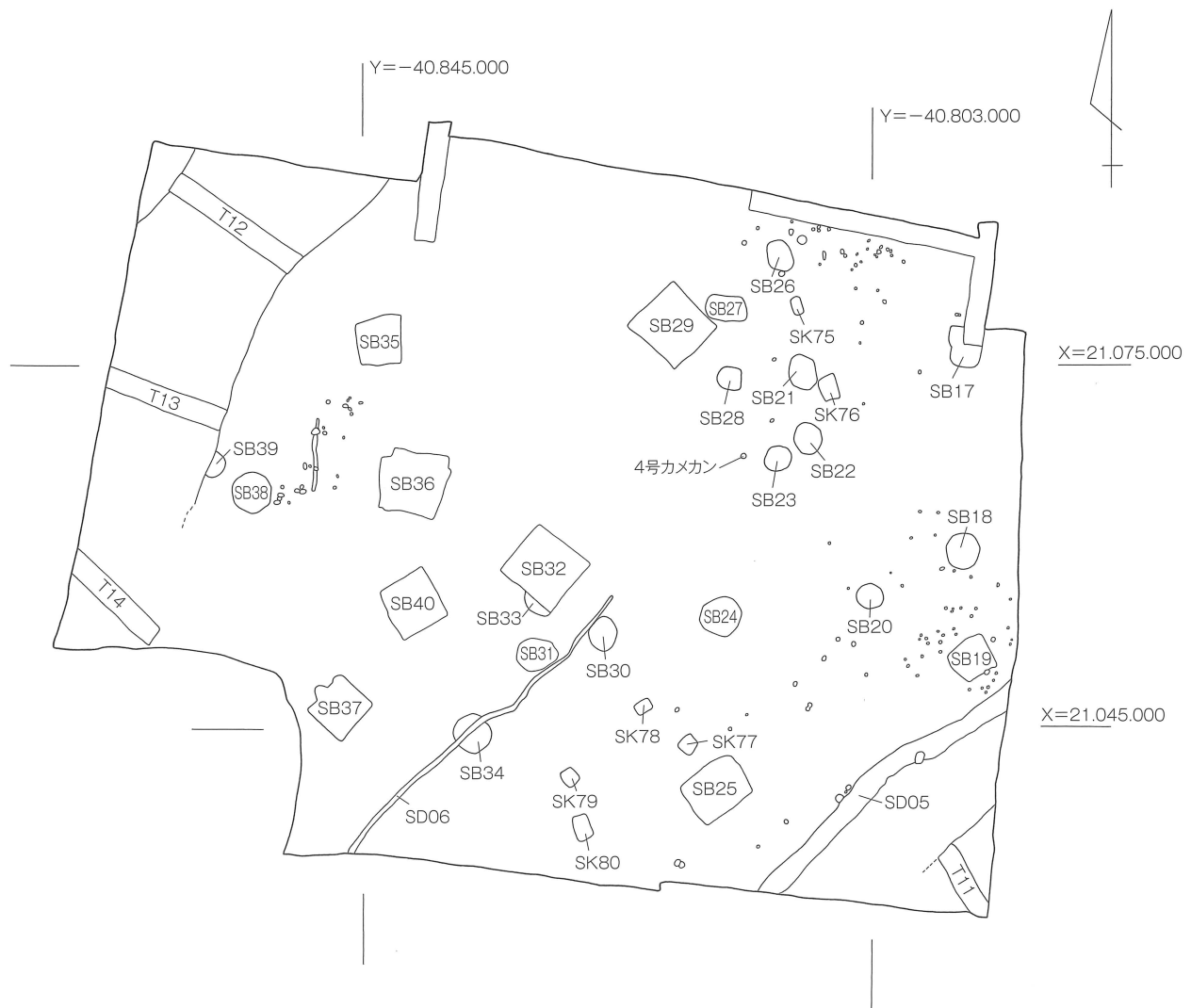
挿図 番号	遺物 番号	実測 番号	出土 遺構	器種	材質	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	色調	備考
第30図	1	R645	C 1 7	土錘	3mmの砂礫を含む。	4.1	2.2	2.1	17.2	外面：棕色 内面：棕色	残存：ほぼ完形 焼成：良
第30図	2	R640	表採	投弾	微細な砂を少量含む。精良。	4.1	1.7	1.6	6.5	にぶい棕色	
第30図	3	R1022	S B01	石畿	黒曜石	2.2	1.4	0.5	0.9	黒色	光沢がある
第30図	4	R1013	S B03	石畿	サヌカイト	2.4	2.1	4	0.5	明青灰色	
第30図	5	R1149	S B04	石畿	サヌカイト	2.9	1.7	6.5	1.7	黒色	
第30図	6	R642	S D 0 2	石畿	黒曜石	2.3	2	0.6	1.8	黒色	光沢がある
第30図	8	R1016	表採	石畿	黒曜石	2.1	1.7	0.35	0.5	黒色	
第30図	9	R1024	不明	石畿	黒曜石	1.1	1.2	0.45	0.8	黒色	
第30図	10	R1025	不明	石畿	黒曜石	1.6	1.4	3.5	0.7	黒色	
第30図	11	R1133	表採	石畿	サヌカイト	2.6	2.1	3.5	0.5	黒褐色	
第30図	12	R1026	不明	石畿	サヌカイト	1.9	1.6	0.3	0.9	灰色	
第30図	13	R1019	C 6 1	石畿	サヌカイト	2.7	1.9	5.5	2.2	灰白	
第31図	15	R1069	S B03	不明	石英・長石・斑岩	6.8	4.5	3.5	80.1	灰白色	粗い加工が側面に 残るのみで風化剥 離が著しい
第31図	16	R1060	S K01	砥石	石英・長石・斑岩	10.9	6.75	6.9	700	灰白色	
第31図	17	R641	S D 0 1	磨製石剣	粘板岩	11.2	3.5	0.6	39.9	灰色	
第31図	18	R1115	S D 0 1	分銅形石製品	片岩	5.8	4.7	1.35	51.7	灰	
第31図	19	R1010	S D 0 1	石錘	安山岩	3.3	2.35	1.35	13.4	灰白	
第31図	20	R1061	S D 0 1	砥石	石英・長石・斑岩	8	4.4	3.2	127.8	灰白	
第31図	21	R1070	A 3	不明	安山岩	8.95	15.1	3.5	790	灰	
第31図	22	R1071	A 3	不明	安山岩	10.5	13.6	6.75	1300	灰	
第31図	23	R1068	A 5	不明							
第31図	24	R1112	A 5	石包丁	片岩	6	7.8	0.6	34.2	浅黄	剥離が著しい
第31図	25	R1075	B 7 0	くぼみ石	安山岩	11.5	9.65	5.4	900	灰	表面を磨いてい る
第31図	26	R1093	C 2 2	砥石	石英・長石・斑岩	6.25	4.9	3.8	161.4	灰白	
第31図	27	R1078	C 2 2	砥石	石英・長石・斑岩	4.9	4.9	4.6	175.8	灰白	

(2) アモメ遺跡3地点

①調査の概要

アモメ遺跡3地点は、福岡県八女市柳瀬字アモメに所在し、1地点の北側に位置する。標高は、24m前後である。調査期間は、平成4年9月7日～平成5年2月13日で、調査面積は4,300㎡であった。

発掘調査の結果、縄文時代から古墳時代にかけての竪穴住居が24軒、弥生時代の土壇が6基、弥生時代の溝が2条と自然流路が発見された。



第32図 アモメ遺跡3地点遺構配置図〔1／600〕

②遺構と遺物

竪穴住居（SB）

SB17（第33・67図、図版2・6）

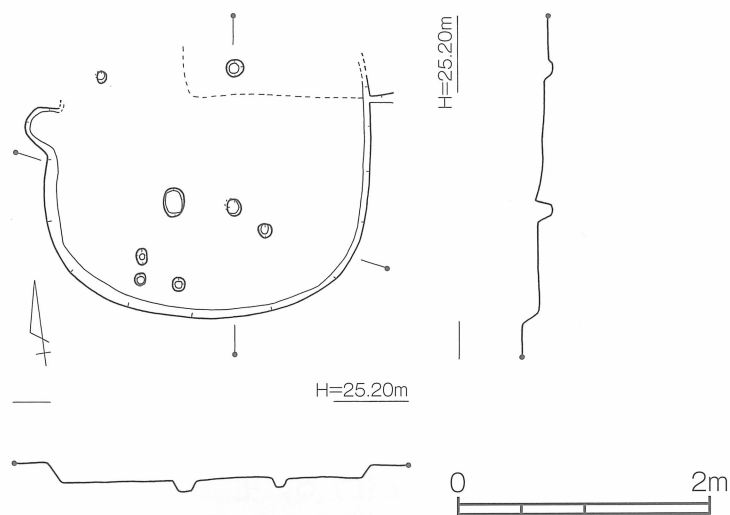
調査区の北東の隅に位置する。平面プランは楕円形で、規模は長軸3.40m、短軸2.90mである。残存高は8cmで、方位はN-8°-Eである。炉や主柱穴は確認されていない。

遺物は、縄文式土器の深鉢・鉢が出土している。

SB18 (第34・67～68図、図版2・6)

調査区の東側中央に位置し、南西にはSB20がある。平面プランは、円形に近い楕円形で、規模は長軸3.0m、短軸2.85mである。残存高は2cmである。炉や支柱穴は確認されていない。

遺物は、縄文式土器の浅鉢が出土している。その他、弥生式土器の壺・甕・器台・鉢が出土している。

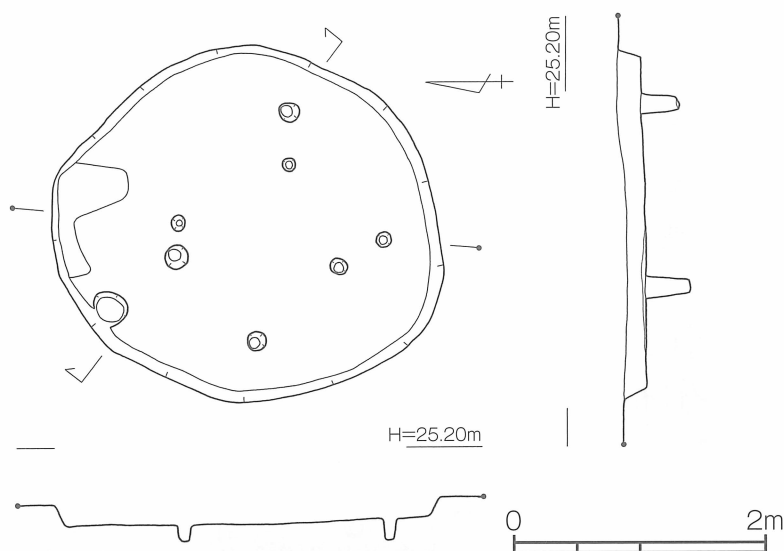


第33図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居 (SB17) 実測図〔1/60〕

SB19 (第35・68図、図版2・6)

調査区の東側で検出され、北側にはSB18が、南西にはSB20があり、南側にはSD05がある。平面プランは方形に近く、規模は長軸3.50m、短軸3.15mである。残存高は12cmで、方位はN-58°-Eである。炉や支柱穴は確認されていない。

遺物は、縄文式土器の鉢が出土している。



第34図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居 (SB18) 実測図〔1/60〕

SB20 (第36・68図、図版2・7)

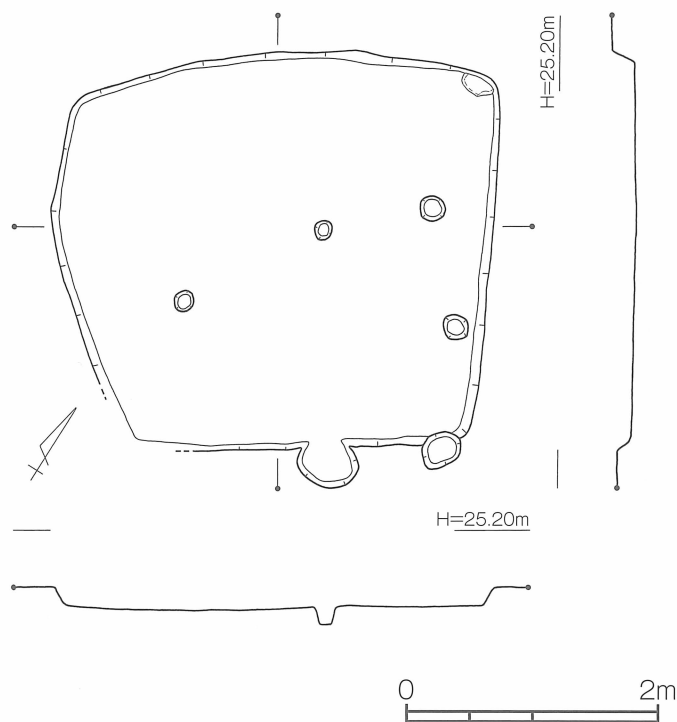
調査区の東側で検出され、北西にSB18、南東にSB19がある。平面プランは円形に近い楕円形で、規模は長軸2.25m、短軸2.10mで、残存高2cmであった。炉や支柱穴は、確認されていない。

遺物は、弥生式土器の甕が1点出土している。

SB21 (第37・68・84図、
図版2・7)

調査区の北東に位置し、南東にあるSK76と隣接する。南側にはSB22・23があり、西側にはSB28がある。平面プランは楕円形で、規模は長軸3m、短軸2.3mである。残存高は4cmで、方位はN-19°-Wである。中央より南側に、炉を有する。主柱穴は確認されていない。

遺物は、縄文式土器の深鉢が出土しており、石器では片岩製の円盤型石器が出土している。

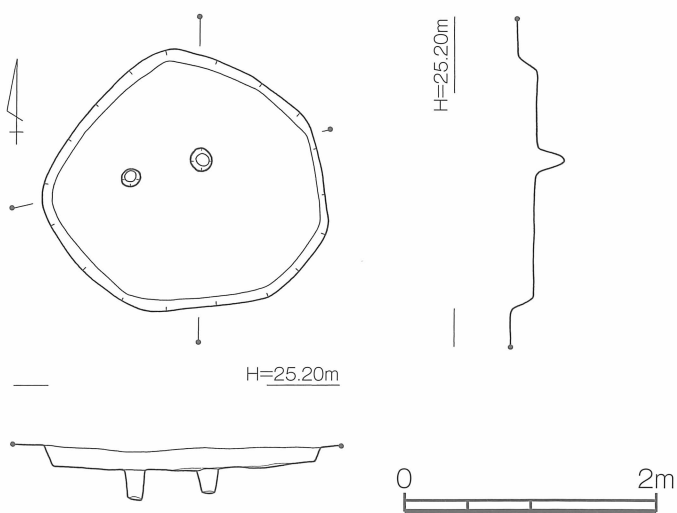


第35図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居 (SB19)
実測図 [1/60]

SB22 (第38・69・83図、
図版2・7)

調査区の北東に位置し、南西にはSB23があり、北側にはSB21とSK16がある。平面プランは楕円形で、規模は長軸2.70m、短軸2.35mである。残存高は5cmで、方位はN-13°-Wである。中央よりやや北側に炉を有する。主柱穴は確認されていない。

遺物は、土器は縄文式土器の深鉢・鉢・把手が出土しており、また二次加工を受けたサヌカイト製の剥片が出土している。



第36図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居
(SB20) 実測図 [1/60]

SB23 (第39・69・84図、図版2・7)

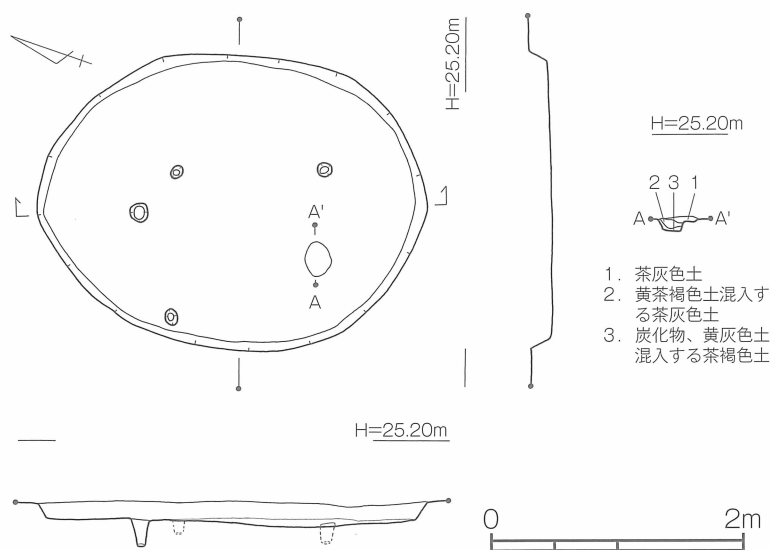
調査区の北東に位置し、北東にSB22がある。平面プランは円形に近い楕円形で、規模は長軸2.35m、短軸2.10mである。残存高は4cmである。炉や主柱穴は確認されていない。

遺物は、土器は縄文式土器の深鉢・鉢・浅鉢が出土しており、石器では打製石斧が出土している。

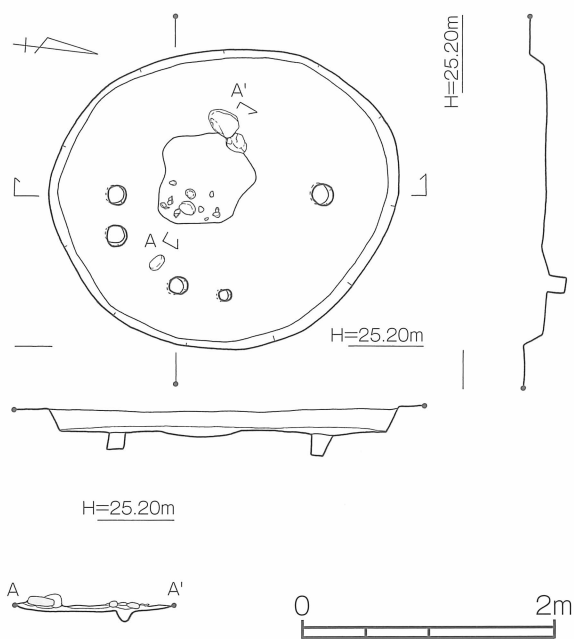
SB24 (第40・70・83
図、図版2・8)

調査区の中央に位置し、東側にはSB20、西側にはSB30がある。平面プランは楕円形で、規模は長軸3.50m、短軸3.20mである。残存高は15cmで、方位はN-66°-Eである。中央よりやや南側に石囲炉を有する。支柱穴は確認されていない。

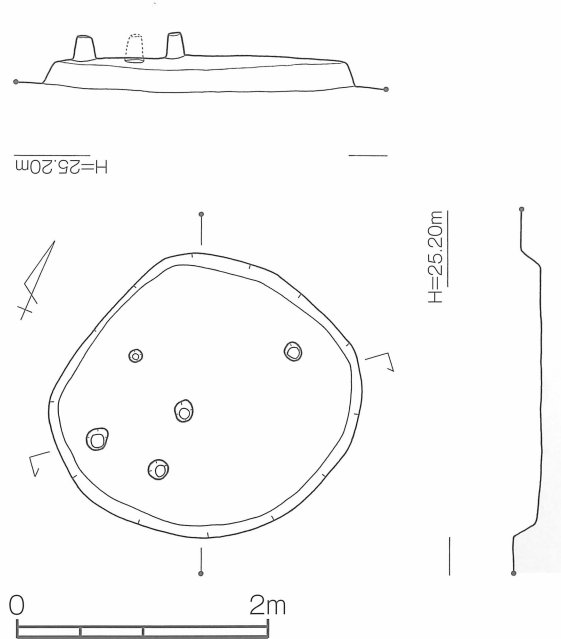
遺物は、土器は縄文式土器の深鉢・鉢・浅鉢が出土しており、石器ではサヌカイト製の石鏃や黒曜石の石錐が出土している。



第37図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居 (SB21)
実測図 [1/60]



第38図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居
(SB22) 実測図 [1/60]



第39図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居
(SB23) 実測図 [1/60]

SB25 (第41・70・84図、図版2・8)

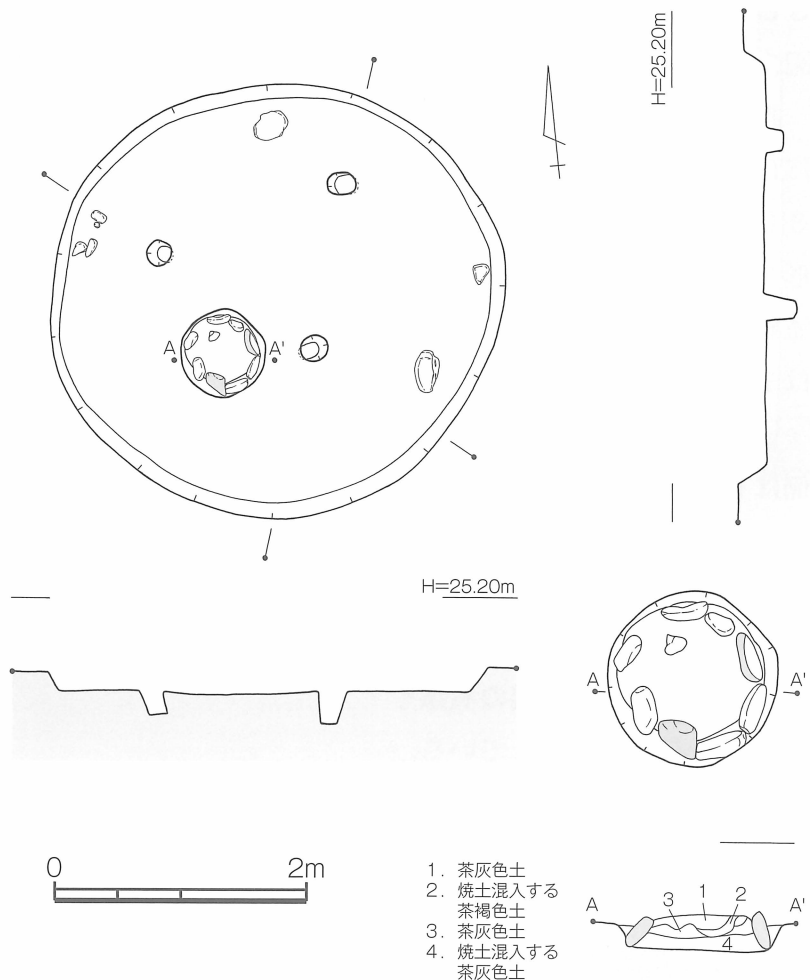
調査区の南東に位置し、北西にはSK77があり、東側にはSD05がある。平面プランは長方形で、規模は長軸5.30m、短軸4.25mである。残存高は13cmで、方位はN-53°-Eである。中央に炉を有している。柱穴は確認されていない。

遺物は、土器は弥生式土器の甕・器台・鉢が出土しており、石器では砥石が出土している。

SB26 (第42・71
～72・84図、図版2・
9)

調査区の北東の端に位置し、南西にはSB27があり、南東にはSK75がある。平面プランは楕円形で、規模は長軸2.7m、短軸2.20mである。残存高は10cmで、方位はN-25°-Wである。炉や主柱穴は確認されていない。

遺物は、土器は縄文式土器の深鉢・鉢・浅鉢が出土しており、石器では円盤型石器や石錘が出土している。



SB27 (第43・72
図、図版2・9)

第40図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居
(SB24) 実測図 [1/60]

調査区の北側中央に位置し、北東にあるSB29に近接している。また、南西にはSB28がある。平面プランは隅丸長方形で、規模は長軸3.50m、短軸2.10mである。残存高10cmで、方位はN-85°-Wである。炉や主柱穴は確認されていない。

遺物は、縄文式土器の深鉢が出土しており、弥生式土器の甕も出土している。

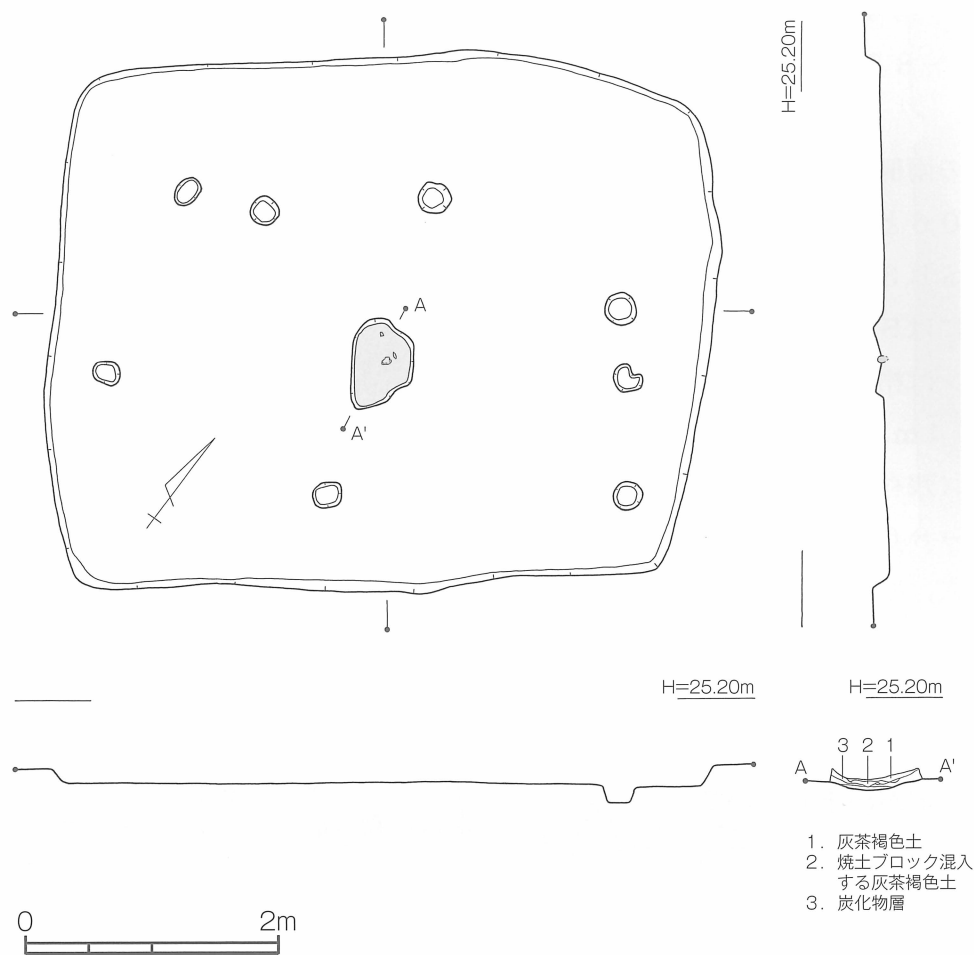
SB28 (第44・72図、図版2・9)

調査区の北東に位置し、東側にSB21やSK16がある。平面プランは円形で、規模は長軸2.0m、短軸1.93mである。残存高は4cmで、方位はN-85°-Wである。中央より東側に炉を有する。主柱穴は確認されていない。

遺物は、縄文式土器の鉢が出土している。

SB29 (第45・72～73図、図版2・9)

調査区北側の中間に位置し、北東にSB27が近接する。平面プランは方形に近く、規模は長軸5.50m、短軸5.05mである。残存高は5cmで、方位はN-42°-Wである。炉は確認されていない。主柱穴は4本である。短軸側にベッド状遺構を持つ。



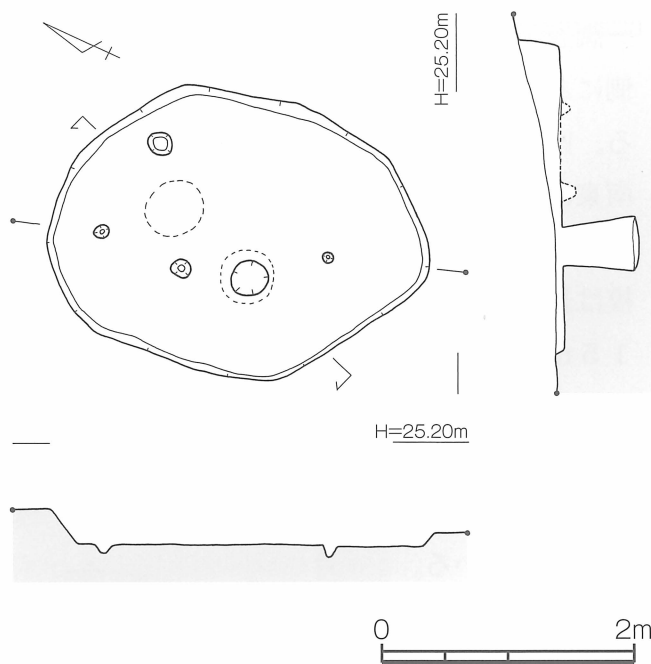
第41図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居（SB25）実測図〔1／60〕

遺物は、土器は土師器の壺・甕・鉢・高杯・器台が出土しており、流れ込みと思われる縄文式土器の深鉢が出土している。

SB30（第46・73図、図版2・10）

調査区南側の中央に位置し、西側にあるSD06に近接する。北西にはSB32、南西にはSB31がある。平面プランは円形に近い楕円形で、規模は長軸2.90m、短軸2.40mである。残存高は5cmである。炉や柱穴は確認されていない。

遺物は、縄文式土器の鉢・浅鉢が出土している。



第42図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居（SB26）実測図〔1／60〕

SB31 (第47・73～75・83～85図、図版2・10)

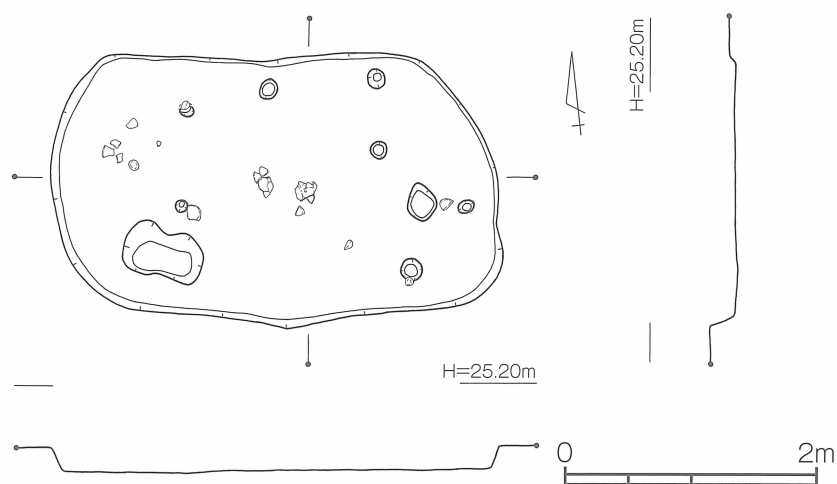
調査区の南側に位置し、東側のSD06と近接している。北側にはSB32、33があり、北東にはSB30がある。平面プランは楕円形で、規模は長軸3.4m、短軸2.75mである。残存高10cmで、方位はN-86°-Eである。炉や支柱穴は確認されていない。

遺物は、かなり多く、土器は縄文式土器の深鉢・鉢・浅鉢・注口土器が出土している。石器では、黒曜石製とサヌカイト製、片岩製の石鏃や石錘が出土している。

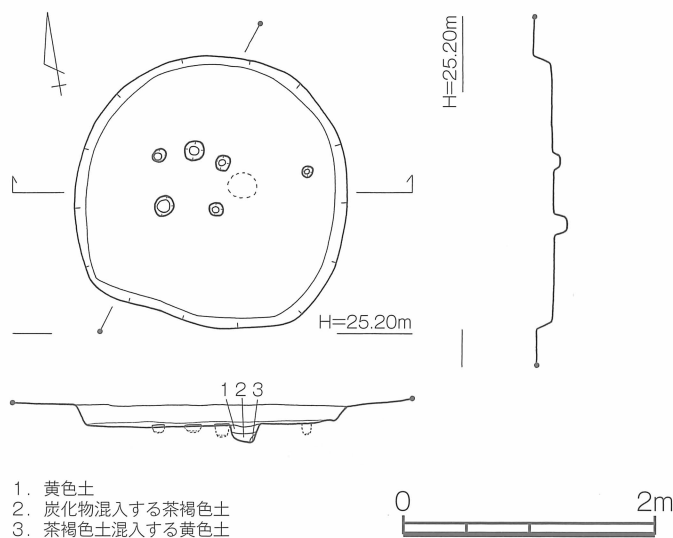
SB32 (第48・75・82図、図版2・10・11)

調査区の中央に位置し、南側にあるSB33を切っている。南側にはSB31があり、南東にはSB30がある。平面プランは、方形に近く、規模は長軸5.50m、短軸5.15mである。残存高は18cmで、方位はN-50°-Wである。中央より東側に炉を設けている。支柱穴は4本確認されている。

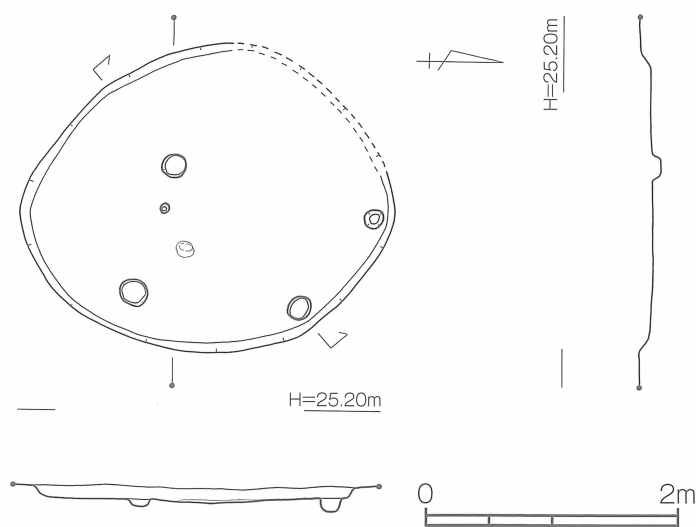
遺物は、土器は土師器の坏・壺・甕・高坏が出土している。また、土製品の紡垂車も出土している。



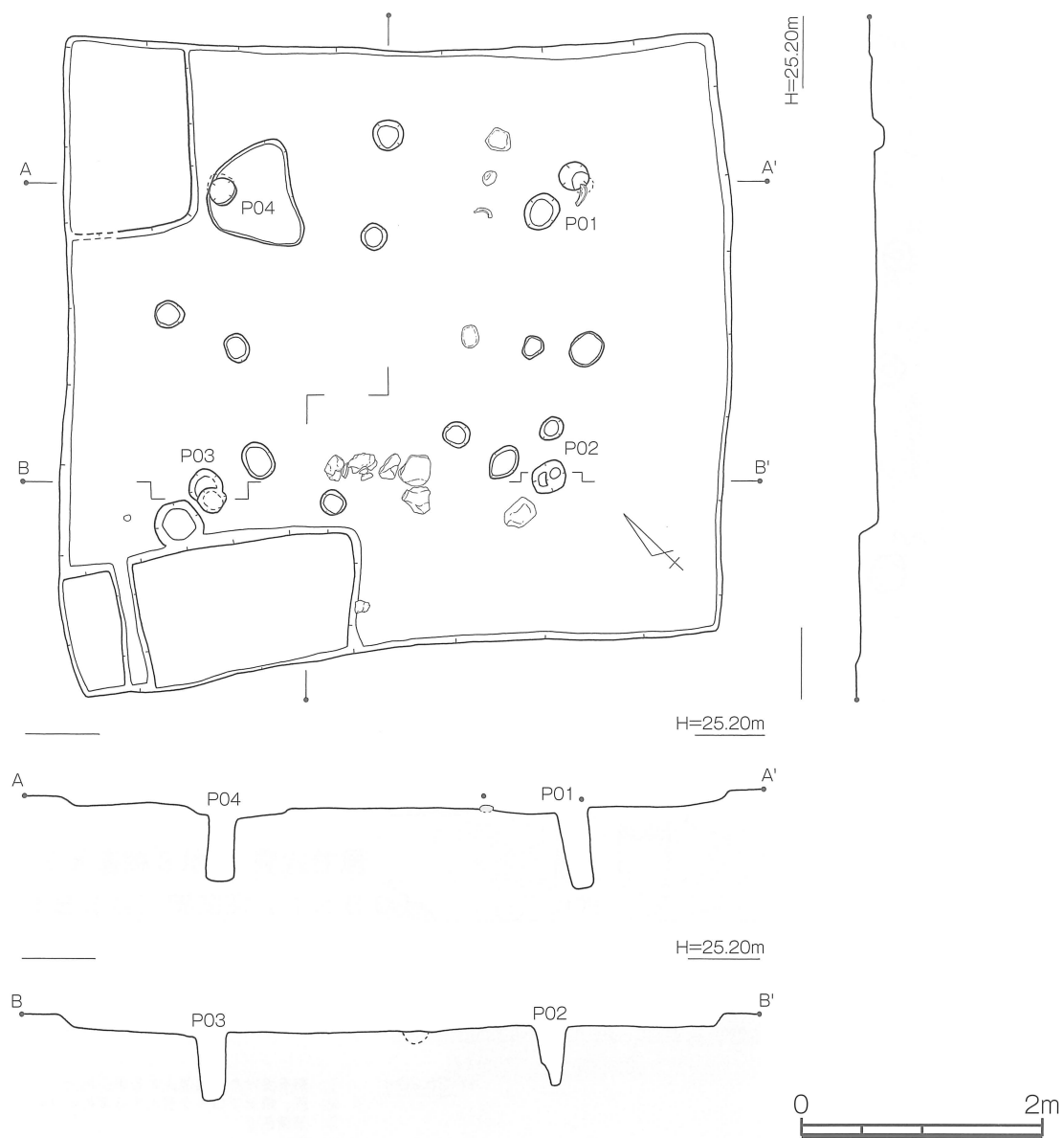
第43図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居 (SB27) 実測図〔1/60〕



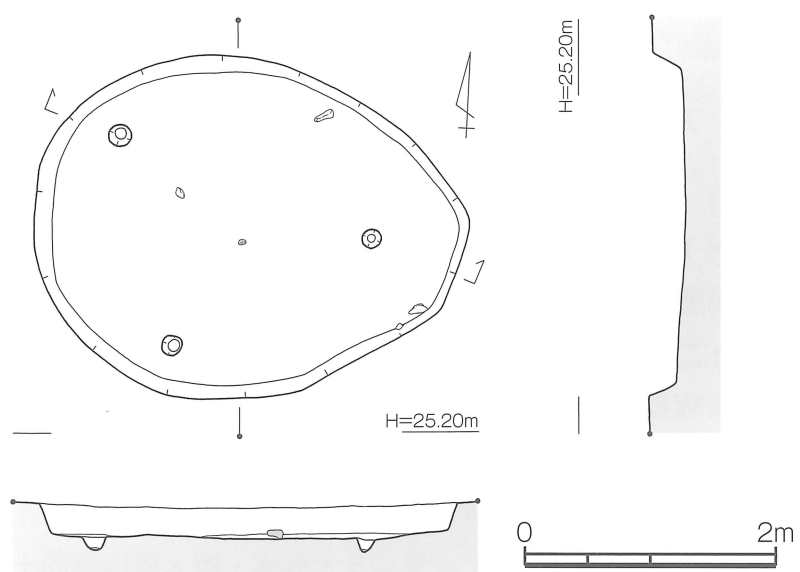
第44図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居 (SB28) 実測図〔1/60〕



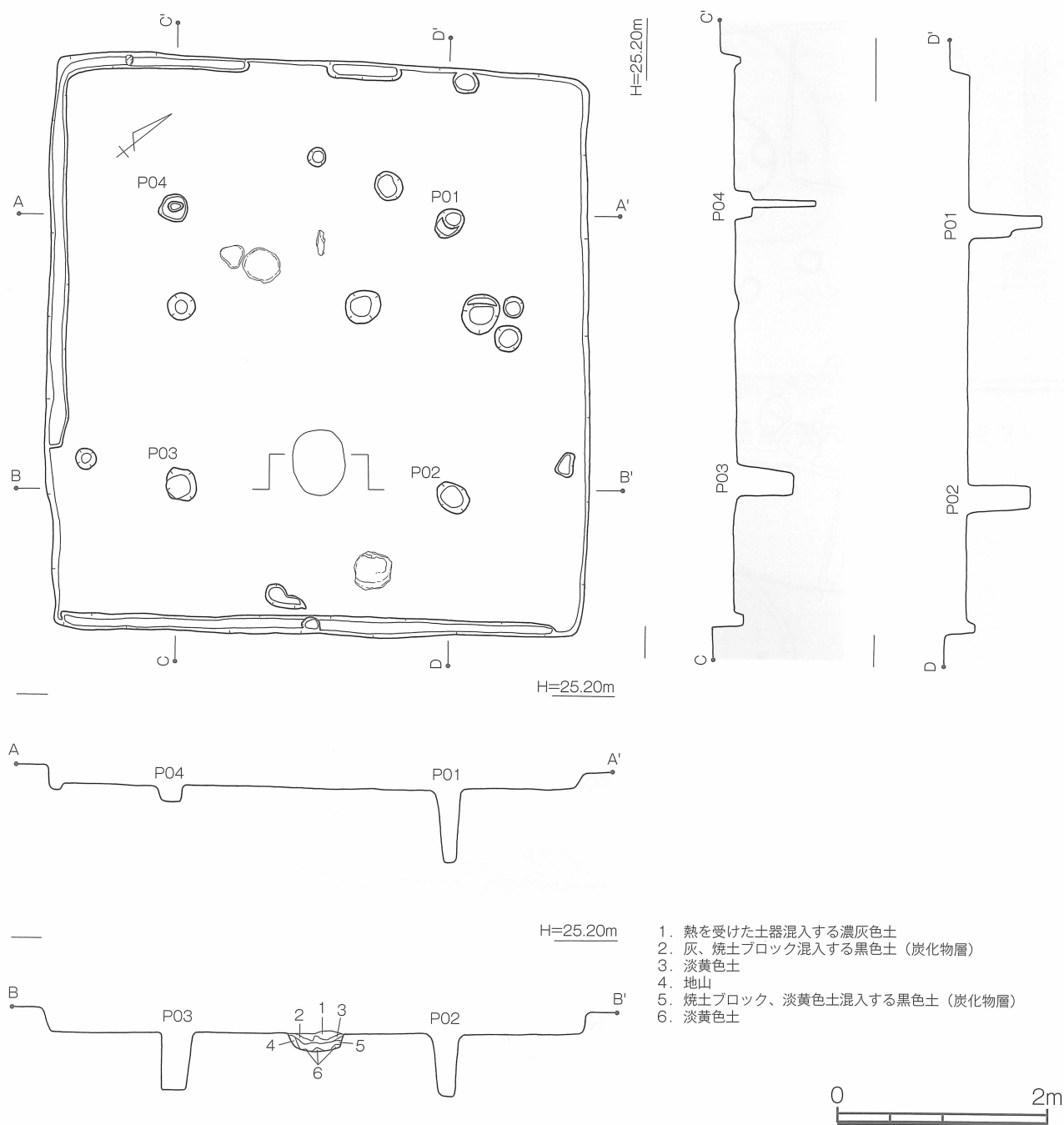
第46図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居 (SB30) 実測図〔1/60〕



第45図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居（SB29）実測図〔1／60〕



第47図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居（SB31）実測図〔1／60〕



第48図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居（SB32）実測図〔1／60〕

SB33（第49・76図、図版2・11）

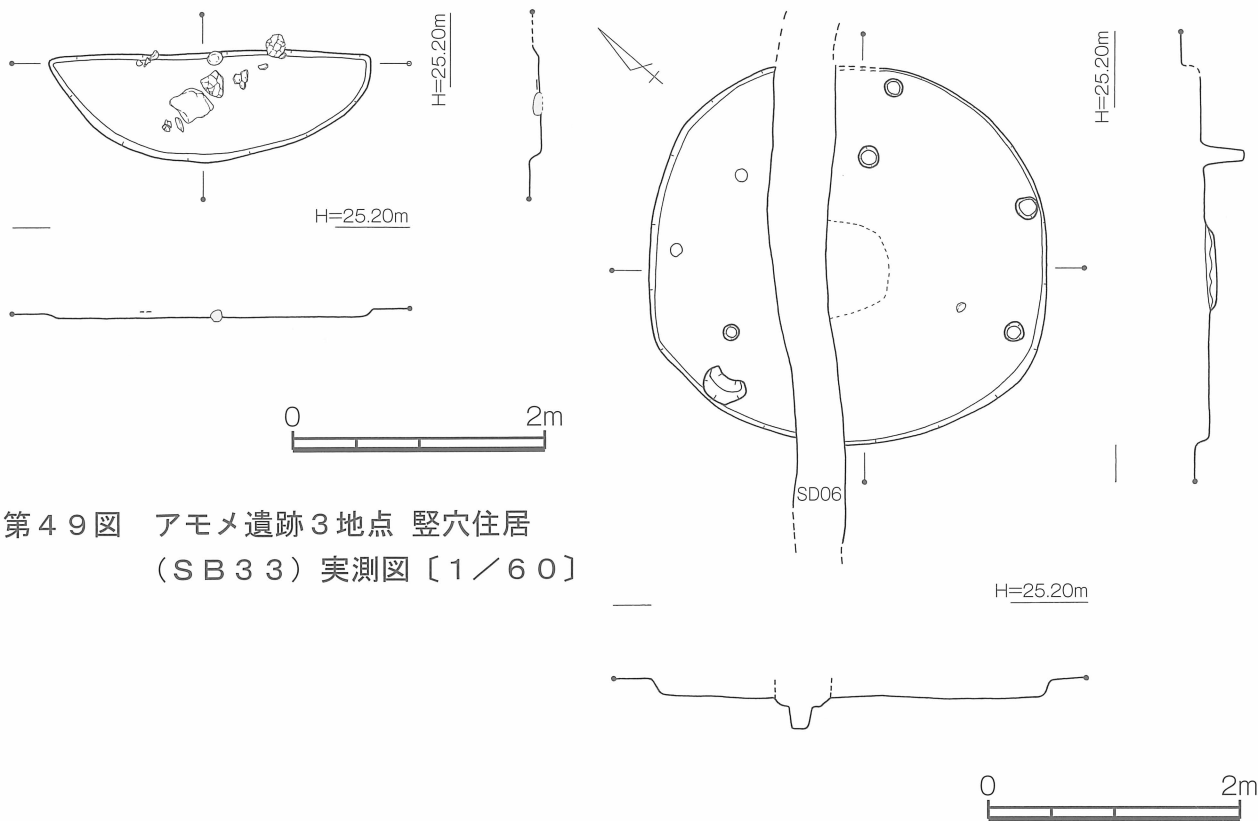
調査区の中央に位置し、北側にあるSB32に切られている。平面プランは円形と思われるが、確認できるところで規模は長軸2.60m、短軸90cmである。残存高は、3cmで、方位はN-52°-Wである。炉や支柱穴は確認されていない。

遺物は、縄文式土器の深鉢・鉢が出土している。

SB34 (第50・76・77・83・85図、図版2・11)

調査区南側の中間に位置し、北東から南西に流れるSD06に切られる。北東にはSB30・31・33がある。平面プランは円形に近く、規模は長軸3.20m、短軸2.90である。残存高は15cmで、方位はN-38°-Wである。中央に炉を有する。支柱穴は確認されていない。

遺物は、土器は縄文式土器の深鉢・鉢が出土しており、弥生式土器の甕・器台も出土している。石器では、黒曜石製と片岩製の石鏃とサヌカイト製の石匙が出土している。



第49図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居
(SB33) 実測図〔1/60〕

第50図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居
(SB34) 実測図〔1/60〕

SB35 (第51・77・85図、図版2・11)

調査区の北西に位置し、西側に自然流路がある。平面プランは方形に近く、規模は長軸4.1m、短軸3.80mである。残存高は57cmで、方位はN-4°-Wである。火災を受けており、床面には多量の炭化物が確認された。

遺物は、土師器の壺・甕・高坏が出土している。

SB36 (第52・77・85図、図版2・12)

調査区の西側に位置し、東側にSB32があり、北側にSB35がある。平面プランは正方形に近く、規模は長軸5.90m、短軸5.35mである。残存高は、40cmで、方位はN-79°-Wである。中央に炉を設けている。支柱穴は4本確認されている。

遺物は、土器は土師器の壺・甕・高坏・ミニチュア土器が出土している。石器では、おそらく流れ込みと思われるが円盤型石器が出土している。

SB37 (第53・78・85図、図版2・12)

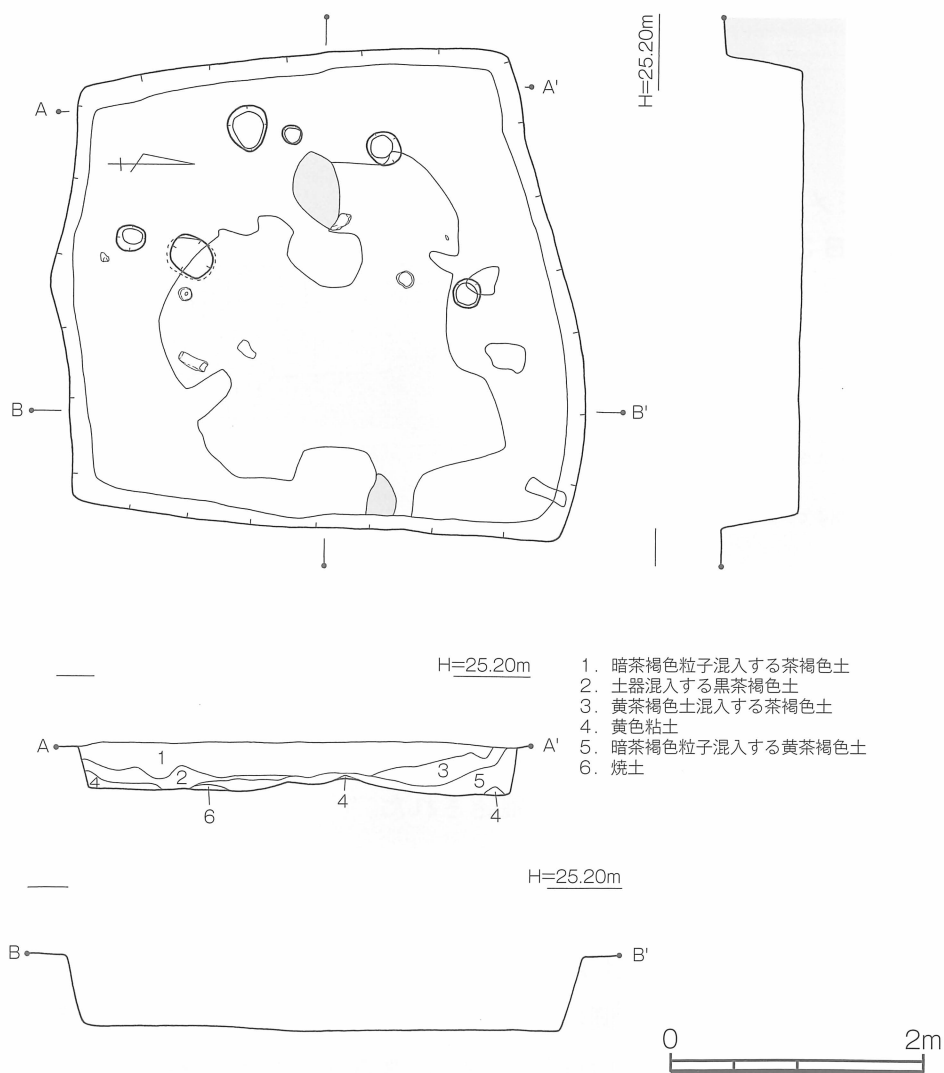
調査区の南西に位置し、東側にSB34とSD06がある。北東にはSB40がある。平面プランは方形に近く、規模は長軸4.60m、短軸4.25mである。残存高は30cmで、N-46°-Wである。西側壁面中央に突出したカマドを付設している。支柱穴は4本確認されている。また、住居内壁直下に溝を巡らせている。

遺物は、土師器の坏・高坏が出土している。

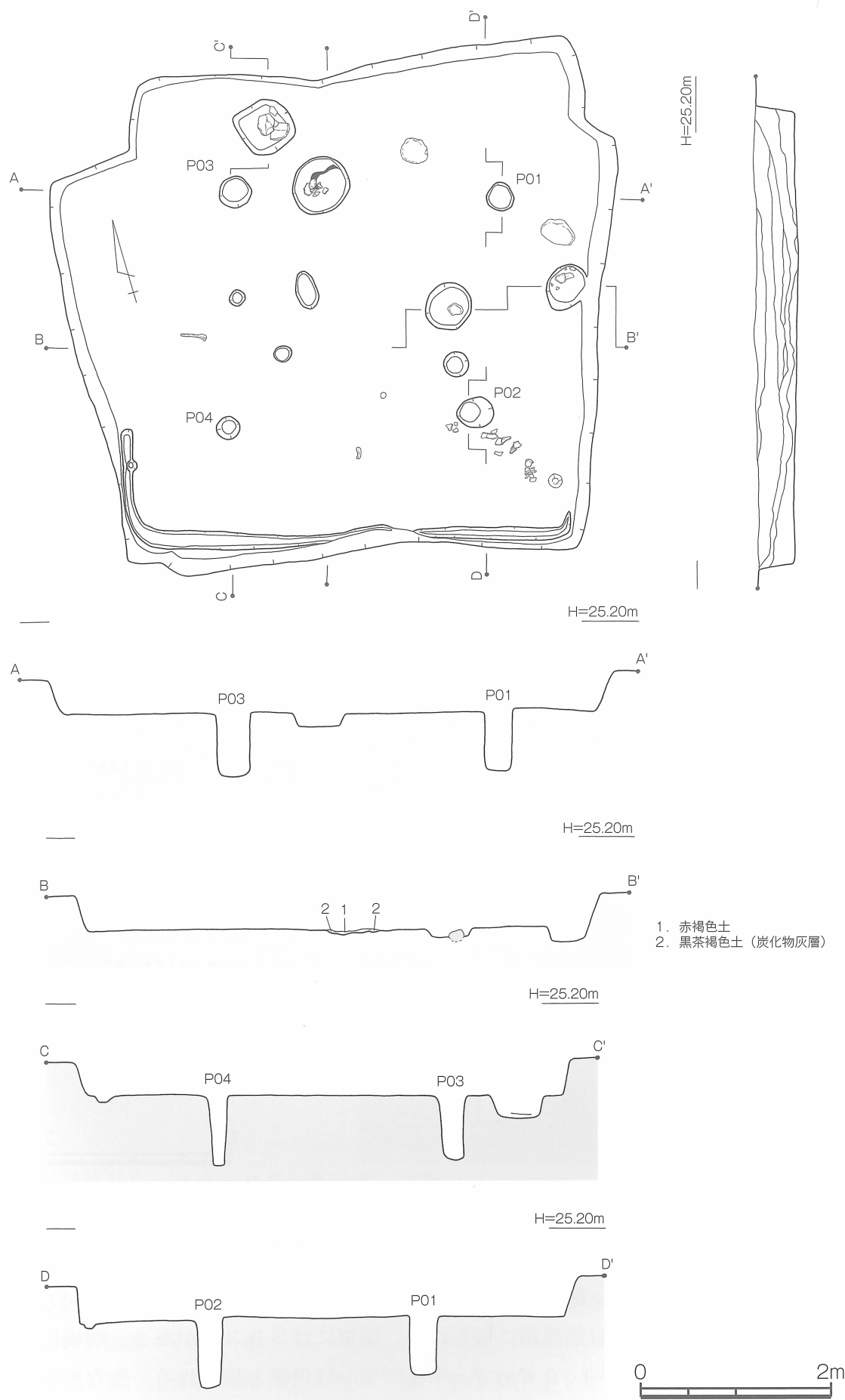
SB38 (第54・78図、図版2・12・13)

調査区の西側に位置し、北西にはSB39がある。平面プランは円形に近い楕円形で、規模は長軸59cm、短軸54cmである。残存高は2cmで、方位はN-33°-Wである。中央に炉を有している。支柱穴は確認できていない。

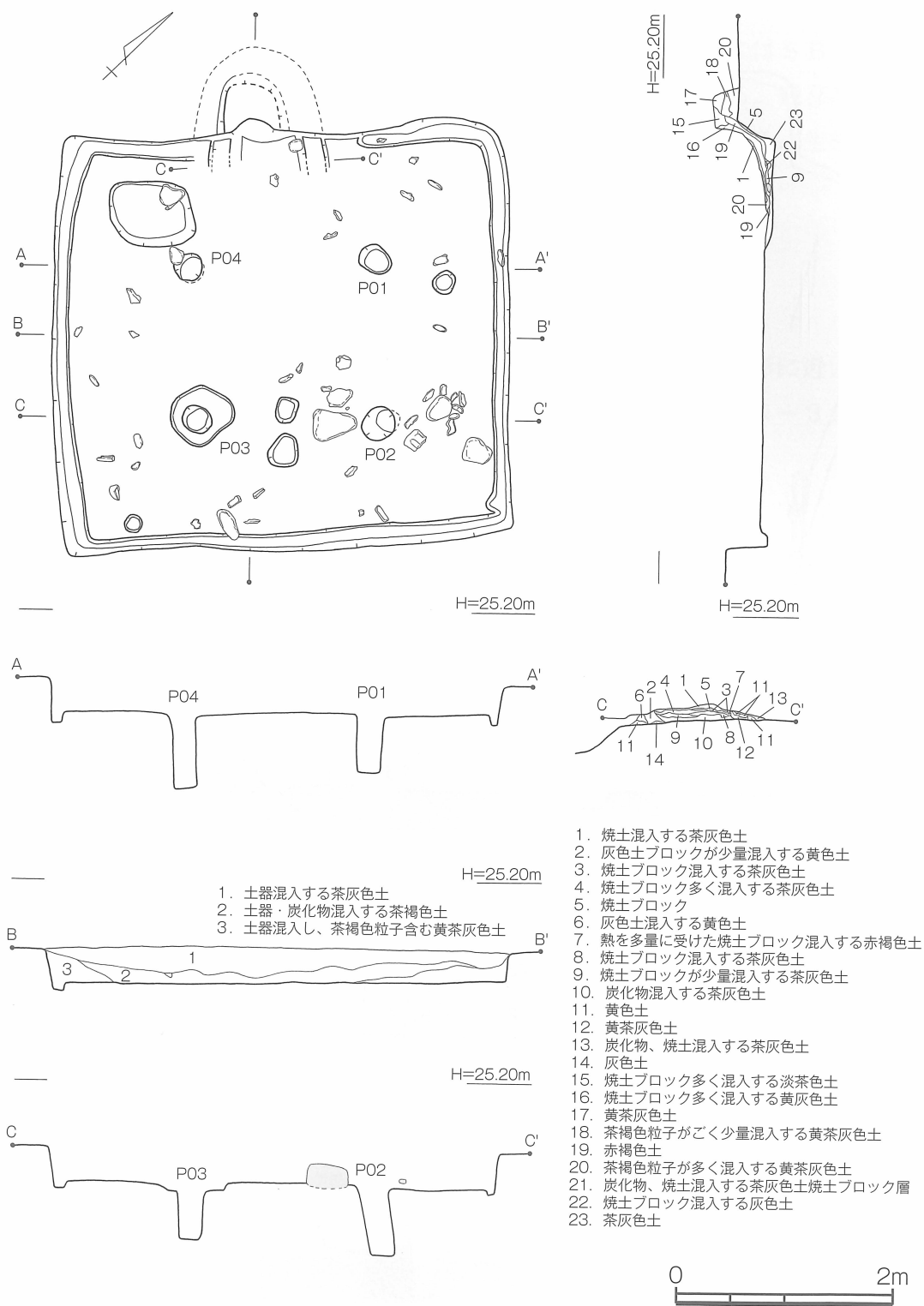
遺物は、縄文式土器の深鉢・鉢・浅鉢・注口土器が出土している。



第51図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居 (SB35) 実測図 [1/60]



第52図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居 (SB36) 実測図 [1/60]

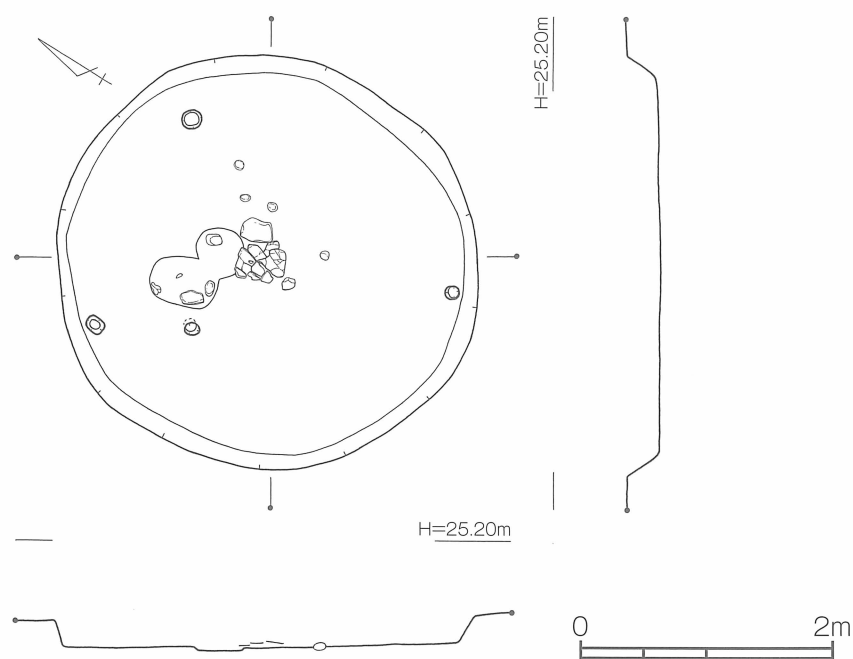


第53図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居 (SB37) 実測図 [1/60]

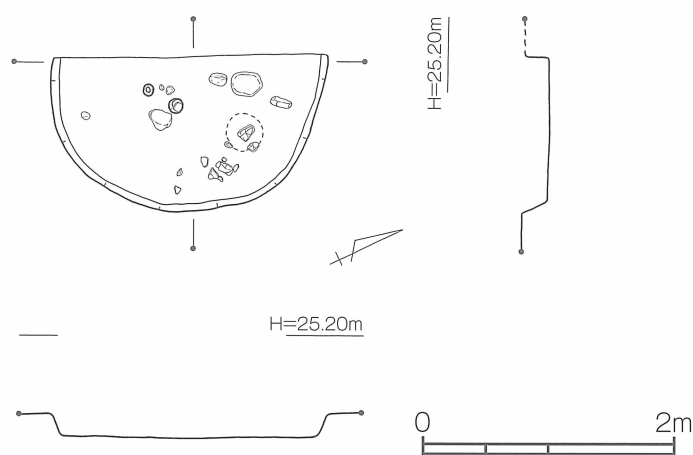
SB39 (第55・79図、図版2・12)

調査区の西側に位置し、自然流路に切られる。南東にはSB38がある。規模は、残存する長軸が2.15m、短軸が1.21mで、平面プランは円形と思われる。残存高は14cmで、方位はN-26°Eである。

遺物は、縄文式土器の浅鉢が出土している。



第54図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居（SB38）実測図〔1／60〕

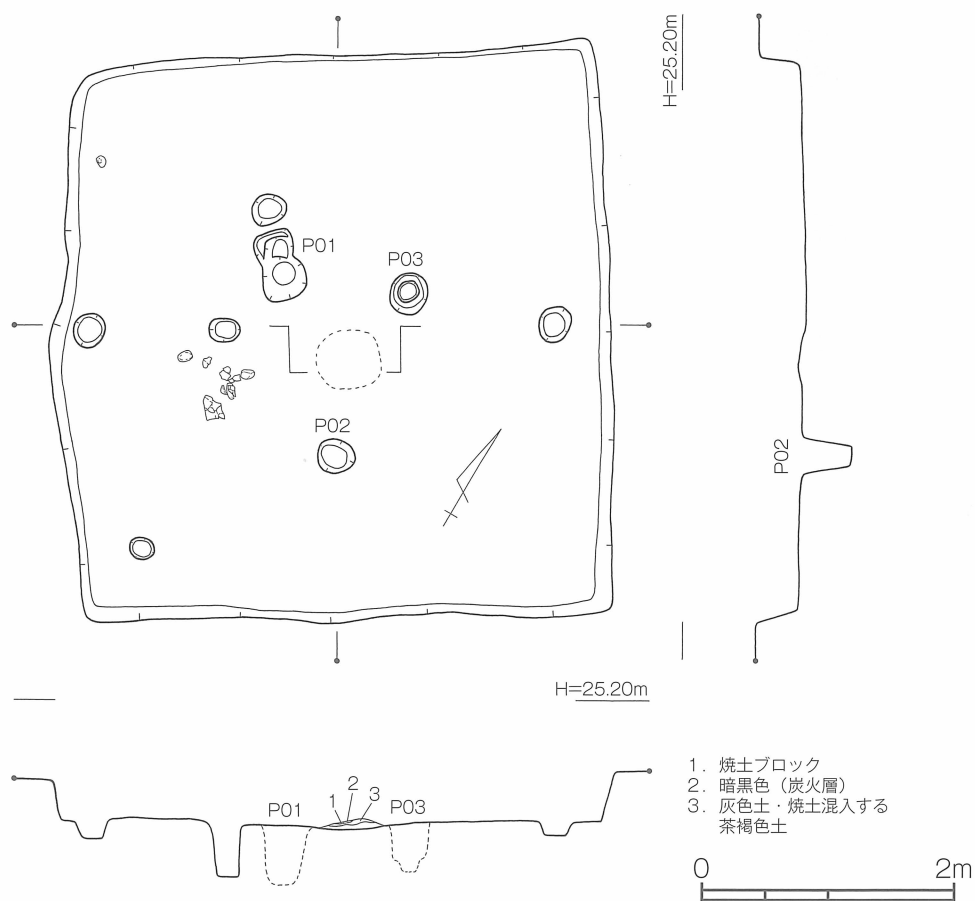


第55図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居（SB39）実測図〔1／60〕

SB40（第56・79～80・83図、図版2）

調査区の西側に位置し、周辺には東側にSB31、32、33があり、北側にSB36があり、南西にはSB37がある。平面プランは方形に近く、規模は長軸4.50m、短軸4.40mである。残存高は34cmで、方位はN-28°-Wである。中央に炉を有している。主柱穴は2本確認されている。

遺物は、土器は土師器の坏・甕・高坏・鉢・把手が出土している。石器では、黒曜石製の石鏃が出土している。



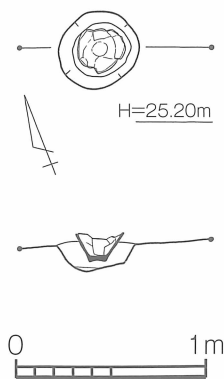
第56図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居 (SB40) 実測図 [1/60]

甕棺墓 (K)

K04 (第57・80図、図版2)

調査区の北東に位置し、東側にはSB23がある。平面プランは楕円形で、規模は長径43cm、短径39cmである。残存高は14cmで、方位はN-78°-Eでる。ほぼ直立する縄文時代の埋甕で、小児用と思われる。

副葬品は出土していない。



第57図 アモメ遺跡3地点 甕棺 (K04) 実測図 [1/40]

土壇 (SK)

SK75 (第58図、図版2)

調査区の北東に位置し、西側にSB27があり、北西にSB26がある。平面プランは隅丸長方形である。規模は、長軸1.50m、短軸0.90mである。

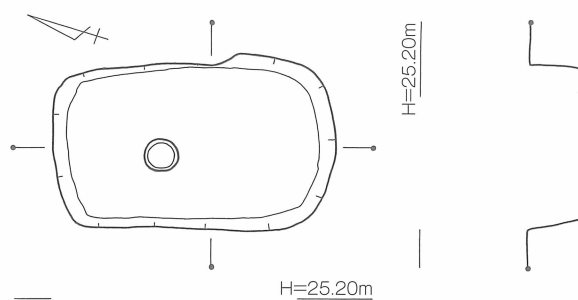
残存高は29cmで、方位はN-17°-Wである。床面はフラットで、中央よりやや北側に径15cm、深さ10cmのピットを有する。

遺物は、出土していない。

SK76 (第59図、図版2)

調査区の北東にあり、北西にあるSB21に近接している。平面プランは隅丸長方形である。規模は長軸1.95m、短軸1.60mである。残存高は18cmで、方位はN-18°-Wである。

遺物は、出土していない。



SK77 (第60図、図版2・8)

調査区の南東に位置し、南東にSB25がある。平面プランは、方形で、規模は一辺1.45mである。残存高は16cmで、方位はN-43°-Eである。底面はフラットである。

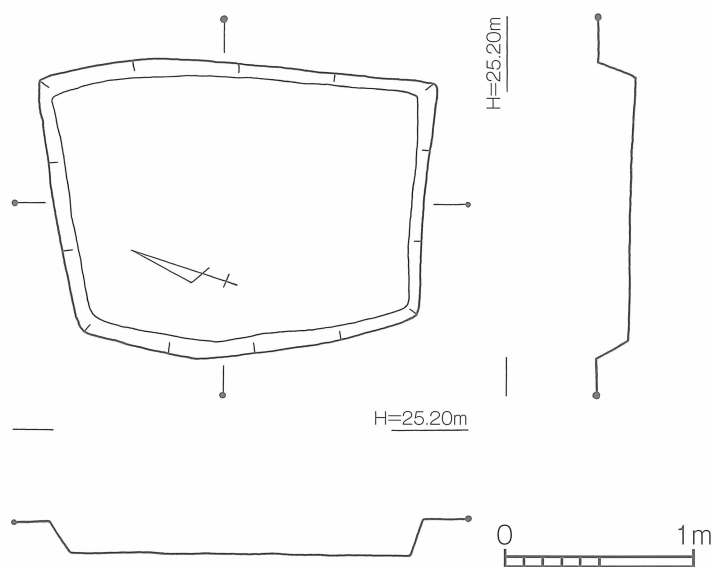
遺物は、出土していない。



第58図 アモメ遺跡3地点 土壌 (SK75) 実測図 [1/40]

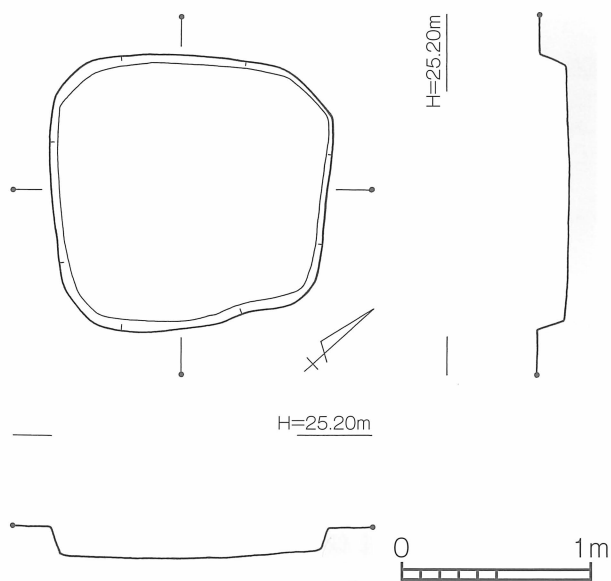
SK78 (第61・80・82~83図、図版2・13)

調査区の南側の中程に位置し、北西にはSB30があり、南東にはSK77がある。平面プランは隅丸方形で、規模は長軸1.50m、短軸1.35mである。残存高は6cmで、方位はN-40°-Wである。立ち上がりはやや傾斜しており、底面はフラットである。



第59図 アモメ遺跡3地点 土壌 (SK76) 実測図 [1/40]

遺物は、土製品の投弾が多量に出土しており、石器では、サヌカイト製の石鏃が出土している。

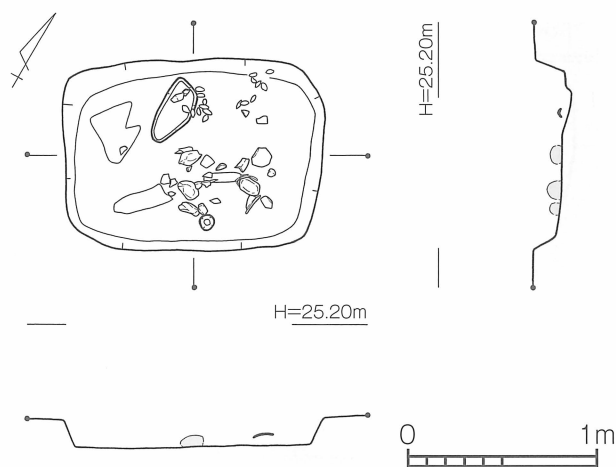


第60図 アモメ遺跡3地点 土壌 (SK77) 実測図 [1/40]

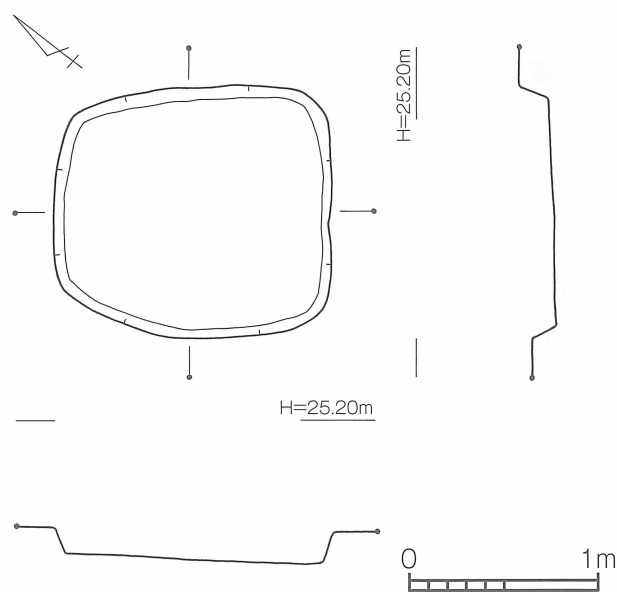
SK79 (第62・82図、図版2)

調査区南側の中程に位置し、南側にSK80がある。平面プランは隅丸方形で規模は長軸1.50m、短軸1.35mである。残存高は6cmで、方位はN-40°-Wで、立ち上がりはやや傾斜しており底面はフラットである。

遺物は、土製品の投弾が出土しており、石器では、サヌカイト製の石鏃が出土している。



第61図 アモメ遺跡3地点 土壇
(SK78) 実測図〔1/40〕

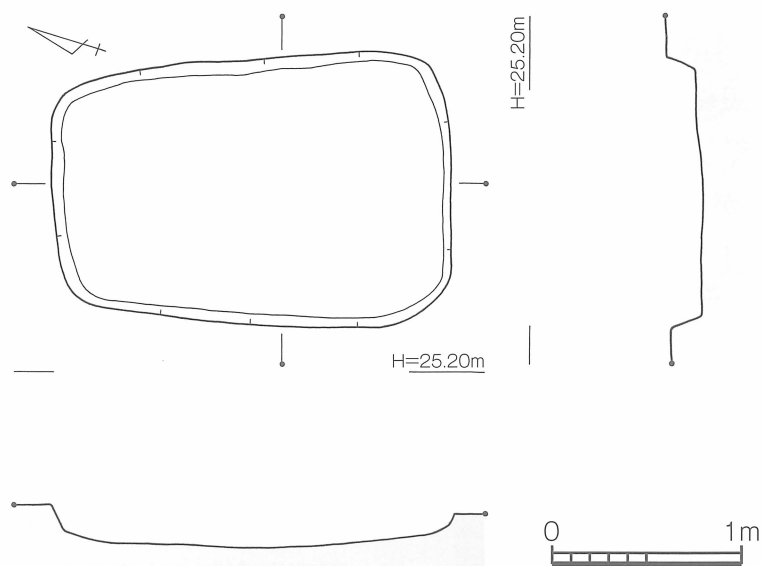


第62図 アモメ遺跡3地点 土壇
(SK79) 実測図〔1/40〕

SK80 (第63図、図版2・13)

調査区の南側で検出され、北側にはSK79がある。平面プランは、隅丸長方形で、北側が狭くなっている。規模は、長軸2.10m、短軸1.45mである。残存高は17cmで、方位はN-16°-Wである。立ち上がりはやや傾斜しており、底面はフラットである。

遺物は、出土していない。



第63図 アモメ遺跡3地点 土壇 (SK80) 実測図〔1/40〕

SD05 (第64・81・85図、図版2・13)

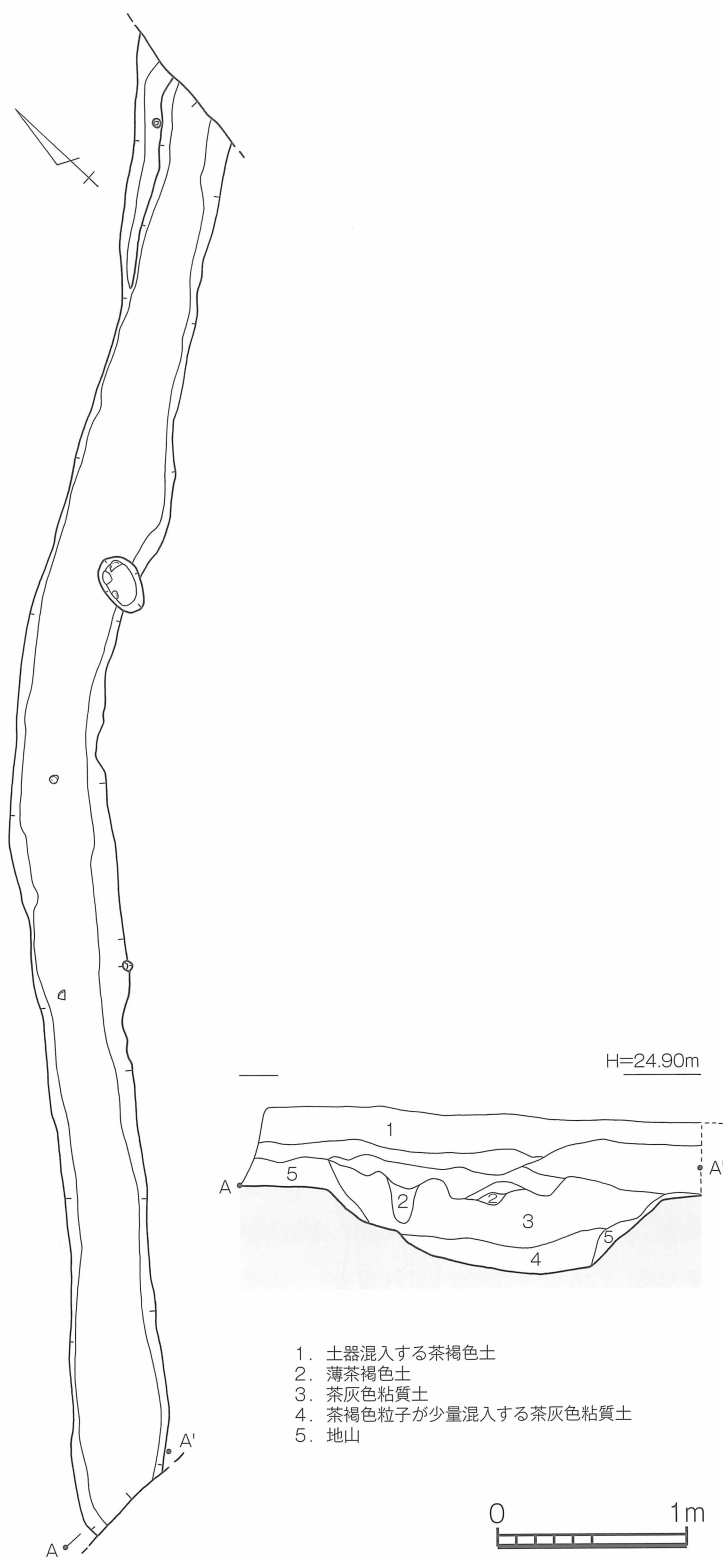
調査区の南東隅に位置し、北東から南西方向に流れている。途中右岸側にカーブする。残存長は、25.90mで、幅は1.45~2.0mである。残存高は40cmである。

遺物は、土器では土師器の坏が出土しており、石器では片岩製の石包丁が出土している。

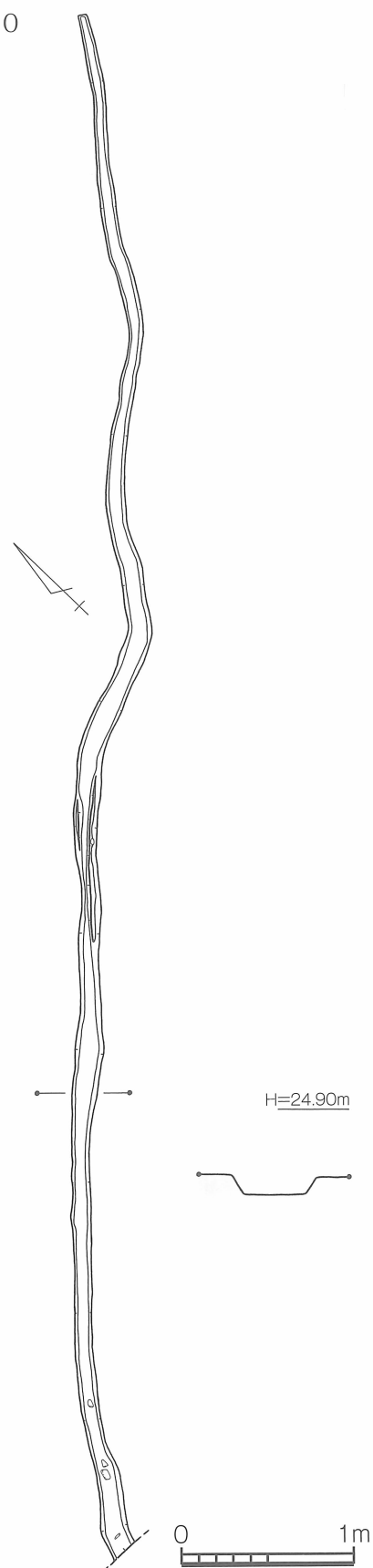
SD06 (第65・81図、図版2・13)

調査区南側の中程に位置し、北東から南西方向に流れる。北側は途切れており、南側は調査区外となっている。残存長は31.10mで幅は20～50cmであり、残存高は12cmである。

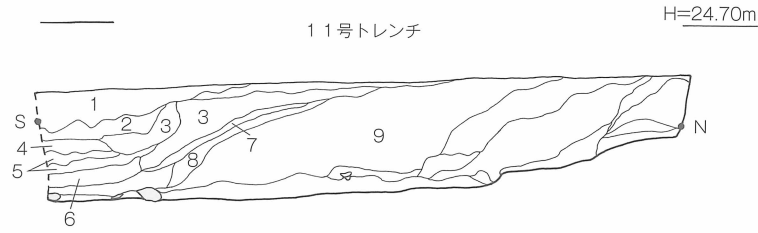
遺物は、弥生式土器の甕が出土している。



第64図 アモメ遺跡3地点 溝(SD05) 実測図
〔1/140〕、土層〔1/40〕



第65図 アモメ遺跡3地点 溝(SD06) 実測図〔1/140〕、
断面〔1/40〕

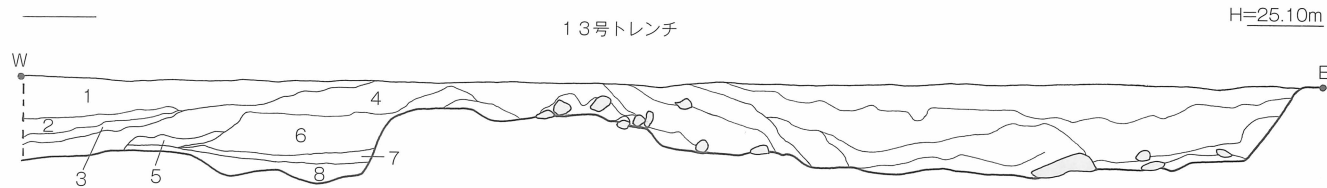
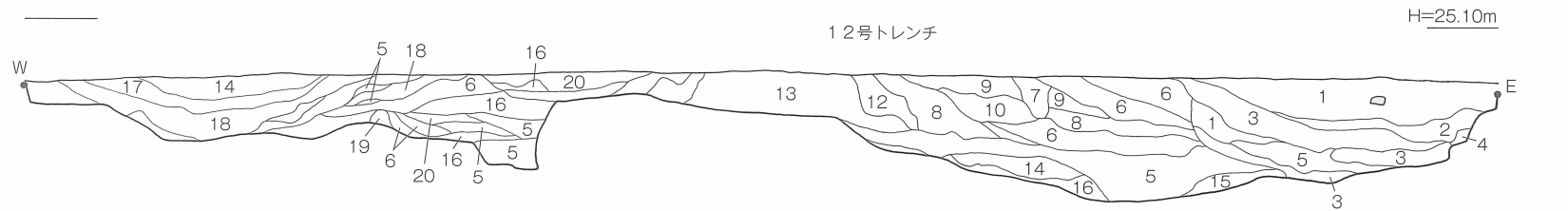


〈11号トレンチ〉

1. 灰色土
2. 茶褐色粒子混入する灰色土
3. 茶褐色土
4. 濃灰色粘質土
5. 灰色粘土
6. 青灰色粘土
7. 茶灰色土
8. 薄茶褐色土
9. 砂
10. 粒子の荒い砂

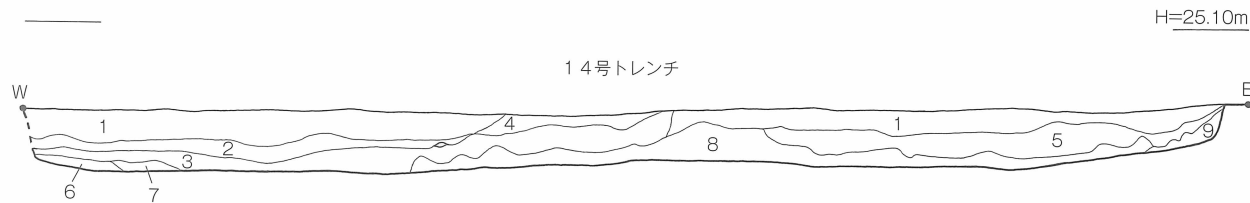
〈12号トレンチ〉

1. 茶褐色粒子、土器混入する灰色土
2. 茶褐色粒子多く混入する灰色土
3. 灰色土
4. 茶褐色土混入する灰色土
5. 砂利
6. 灰色砂質土
7. 茶褐色粒子混入する灰色砂質土
8. 茶褐色砂質土
9. 茶褐色粒子混入する茶灰色土
10. 茶灰色土
11. 茶灰粘質土
12. 茶褐色土
13. 砂利混入する茶灰色土
14. 茶灰色粘質土
15. 茶灰色粘質土
16. 粒子が粗い砂質土
17. 薄茶灰色粘質土
18. 淡茶灰色土
19. 濃茶灰色粘質土
20. 淡茶褐色砂質土



〈13号トレンチ〉

1. 薄茶灰色粘質土
2. 薄茶褐色土
3. 薄茶褐色粘質土
4. 茶灰色砂質土
5. 粒子の荒い灰色砂質土
6. 砂利
7. 灰茶褐色粘質土
8. 礫



〈14号トレンチ〉

1. 茶褐色土混入する灰色土
2. 茶褐色土が多く混入する灰色土
3. 茶褐色土混入する灰色砂質土
4. 黄茶灰色土
5. 砂質土、茶褐色土混入する灰色土
6. 灰色砂質土
7. 砂質土
8. 礫
9. 地山

③まとめ

アモメ遺跡3地点は、アモメ遺跡1地点の北側に位置し、縄文時代から古墳時代にかけての遺構が見つかった。

縄文時代の遺構は、竪穴住居が16軒見つかり、最大のものは、SB24で、径が3.59mである。その他の住居は、3m前後である。炉が確認されたのは、4基のみで、特にSB24は、中央よりやや南側に石囲炉を有していた。

竪穴住居は、中央の広場を囲むように広がっており、1部を除いて切り合い関係は少ない。

その他、SB23の西側には小児用甕棺墓K04が見つかり、竪穴住居に伴うものと思われる。

遺物としては、深鉢や浅鉢の細片が出土しており、SB31とSB38から注口土器の注ぎ口部分が出土している。また、石製品では、打製石斧や石鏃、石皿、磨石、石錘などのほかに、用途がよくわからない円盤形石器が出土している。

弥生時代の遺構は、竪穴住居が2軒、土壇が3基、溝が2条見つかり、

竪穴住居は、弥生時代中期もので、SB19の規模は、長軸3.0m、短軸2.5mで、SB25は長軸5.2m、短軸4.0mで、中央に炉を有している。

土壇は3基見つかり、特にSK78からは火を受けた投弾が28個、まとまった状態で出土した。本遺構の南西側にはSB25があり、関連性が考えられる。

溝はSD05とSD06である。SD05は、調査区の東側で見つかり遺構の切り合いは見られない。アモメ遺跡1地点の自然流路に合流するものと思われる。SD06は、調査区の南側にあり、縄文時代の竪穴住居を切っている。

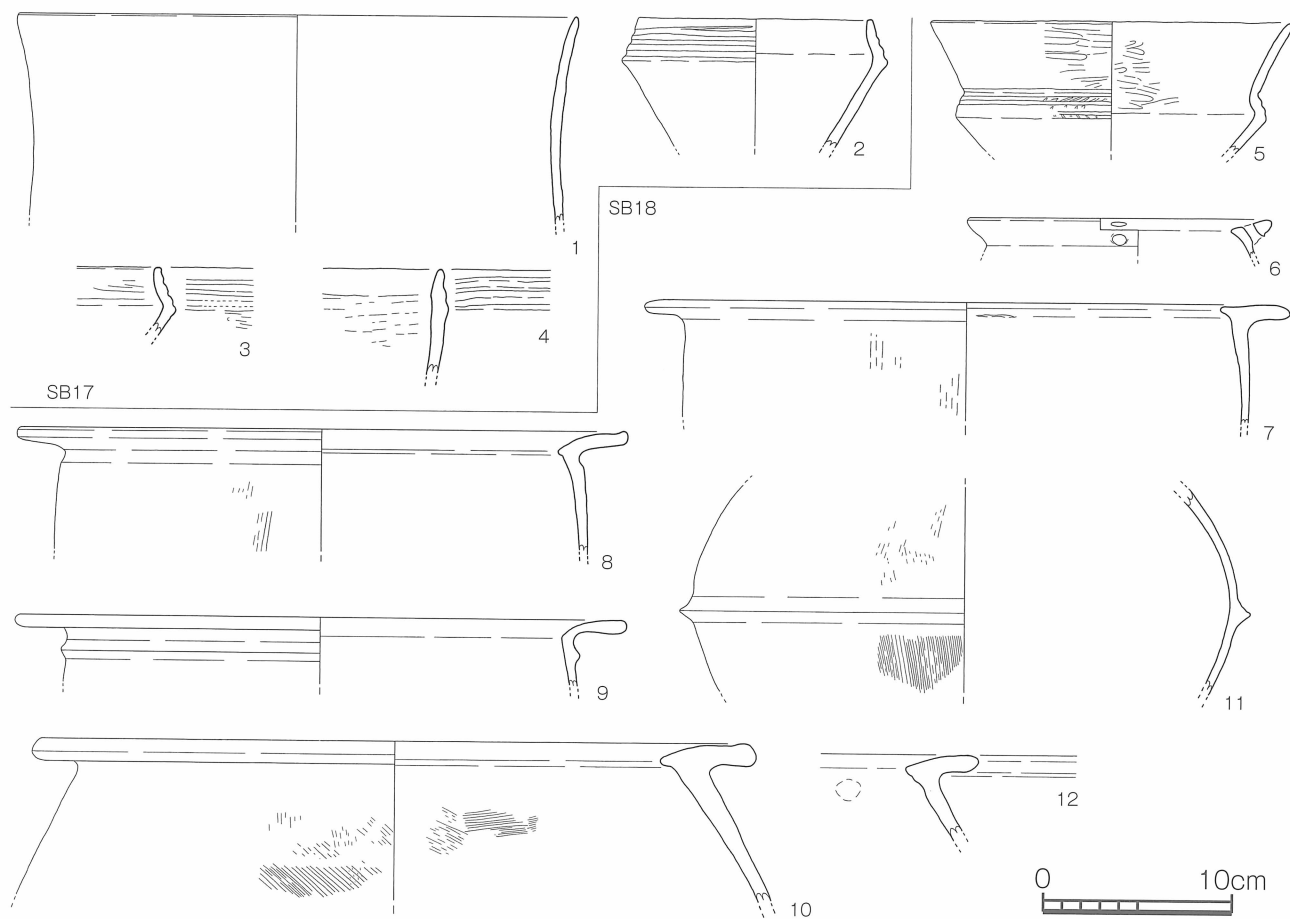
古墳時代の遺構としては、竪穴住居が6軒見つかり、規模はいずれも1辺が5mである。住居は、3軒が炉を有しており、SB37は西側にカマドを有していた。いずれも残りがよく、3軒に壁溝が見られた。

支柱穴はどれも50cm以上あり、下層に粘土が詰まっていた。また、SB36の支柱穴の底から、埴とミニチュア土器の坏が出土しており、祭祀が行われた可能性がある。

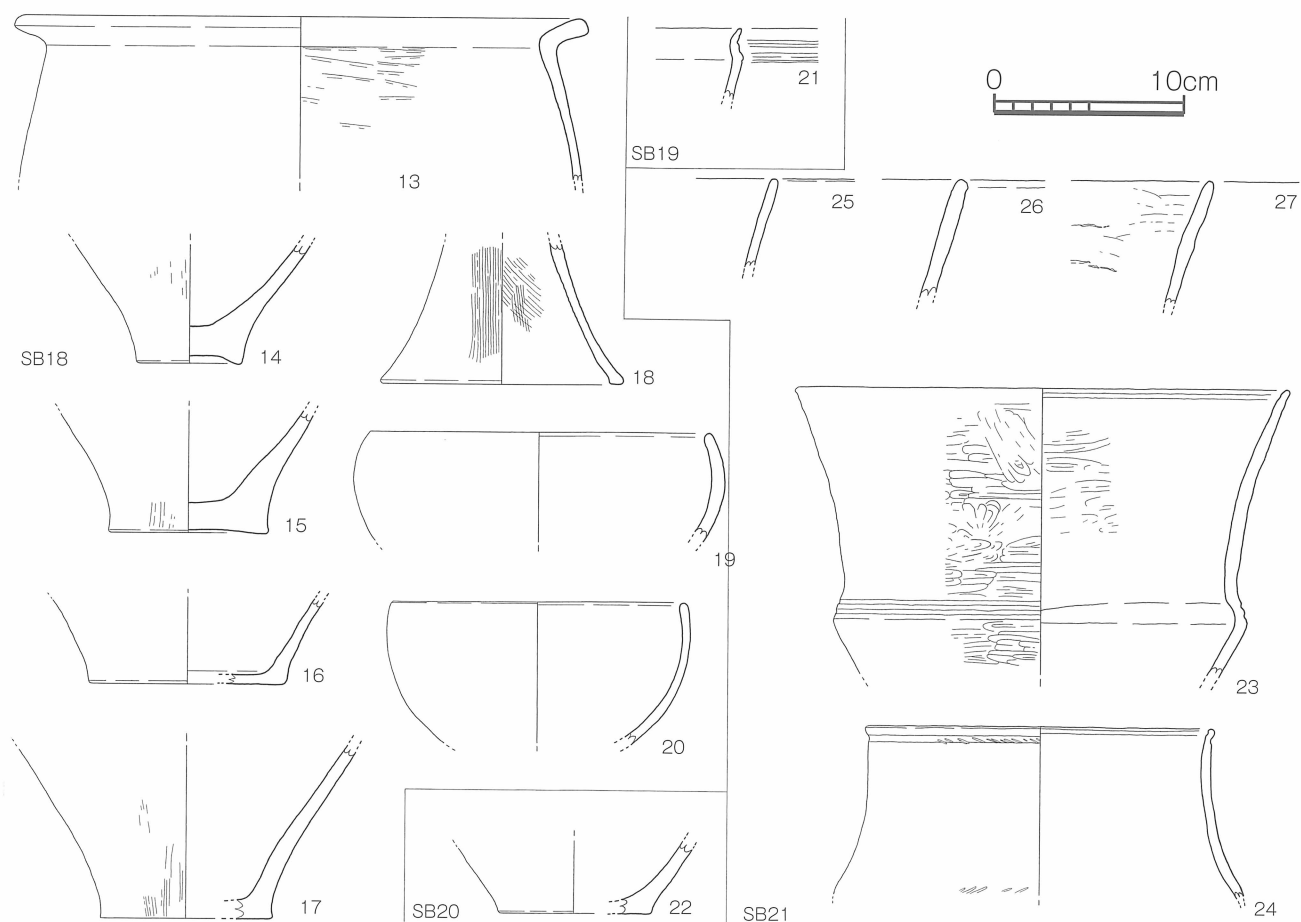
SB35は、火災にあったものか炭化物が多く出土している。炭化物は後で投げ込まれた可能性もある。SB40は、床面から縄文土器が出土しており、縄文時代の遺構を壊して住居が作られたと思われる。

遺物は、土師器の埴、高坏、甕などのほかに土師器の有孔円盤が出土している。

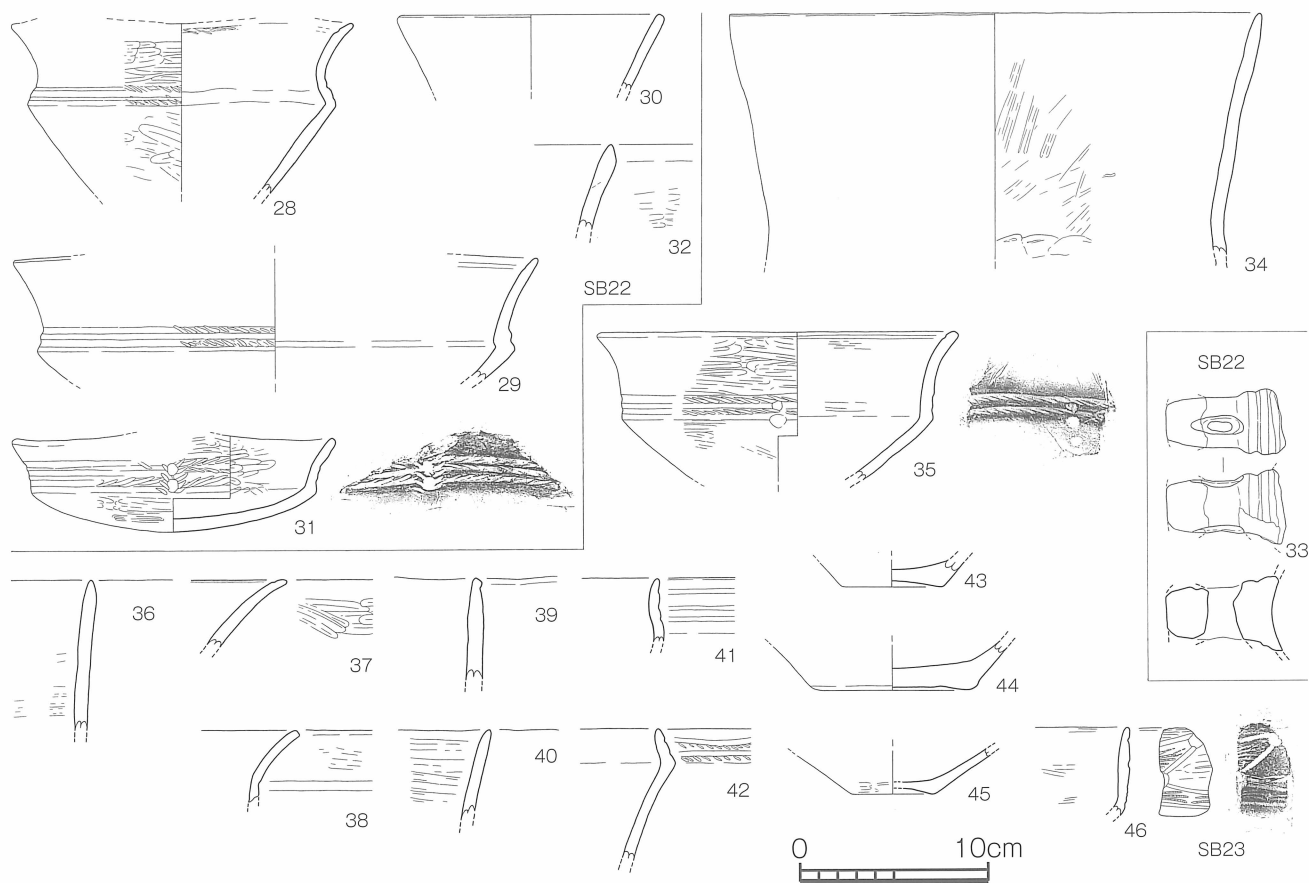
歴史時代の遺構は、調査区西側端に北から南に延びる自然流路が1条見つかった。トレンチを3本入れて調査を行ったところ、2条以上の川が合流しているのがわかった。遺物は少なく、須恵器の細片や甕の口縁部が出土している。



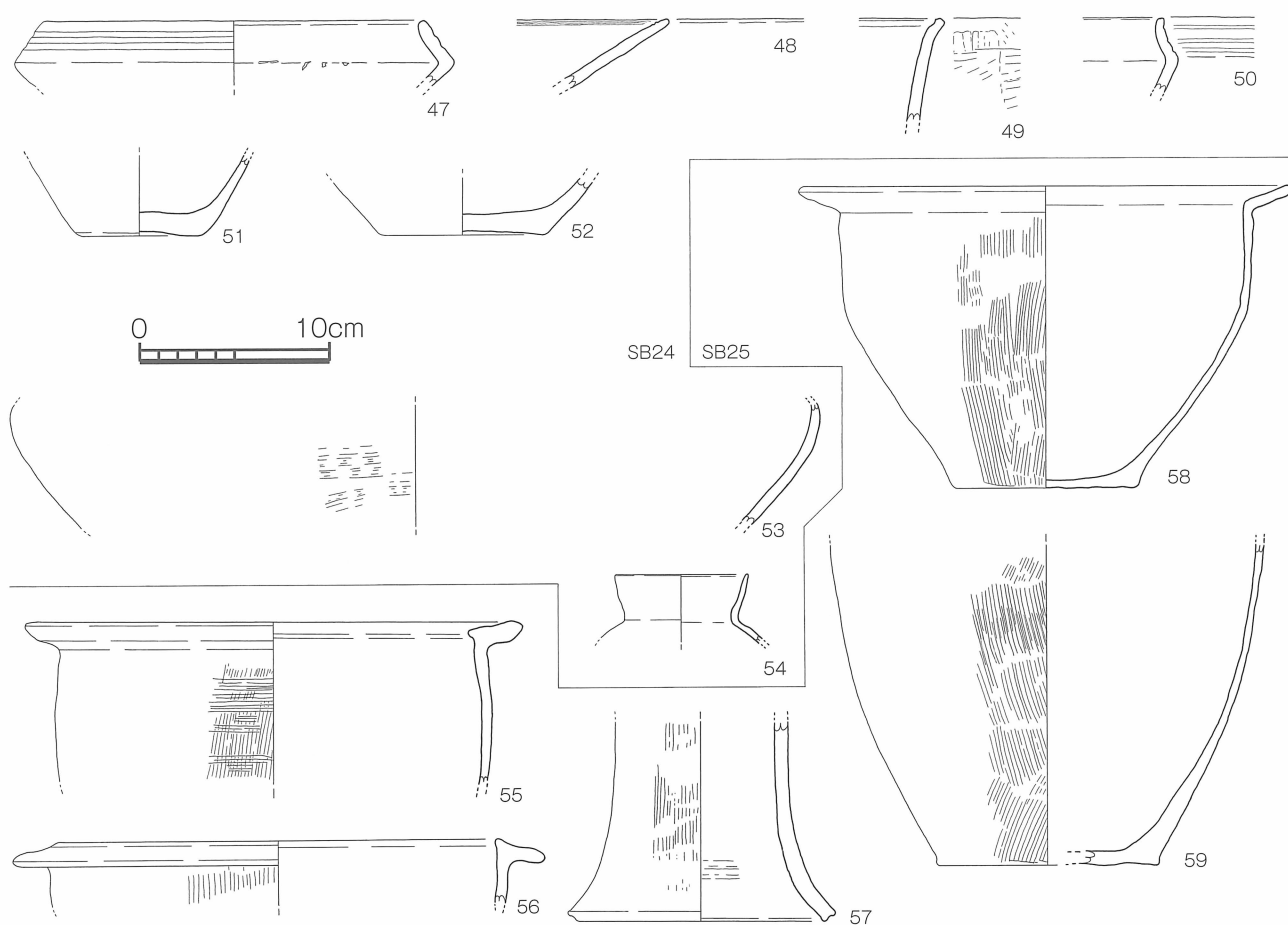
第67図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居 (SB17・18①) 出土土器実測図 [1/4]



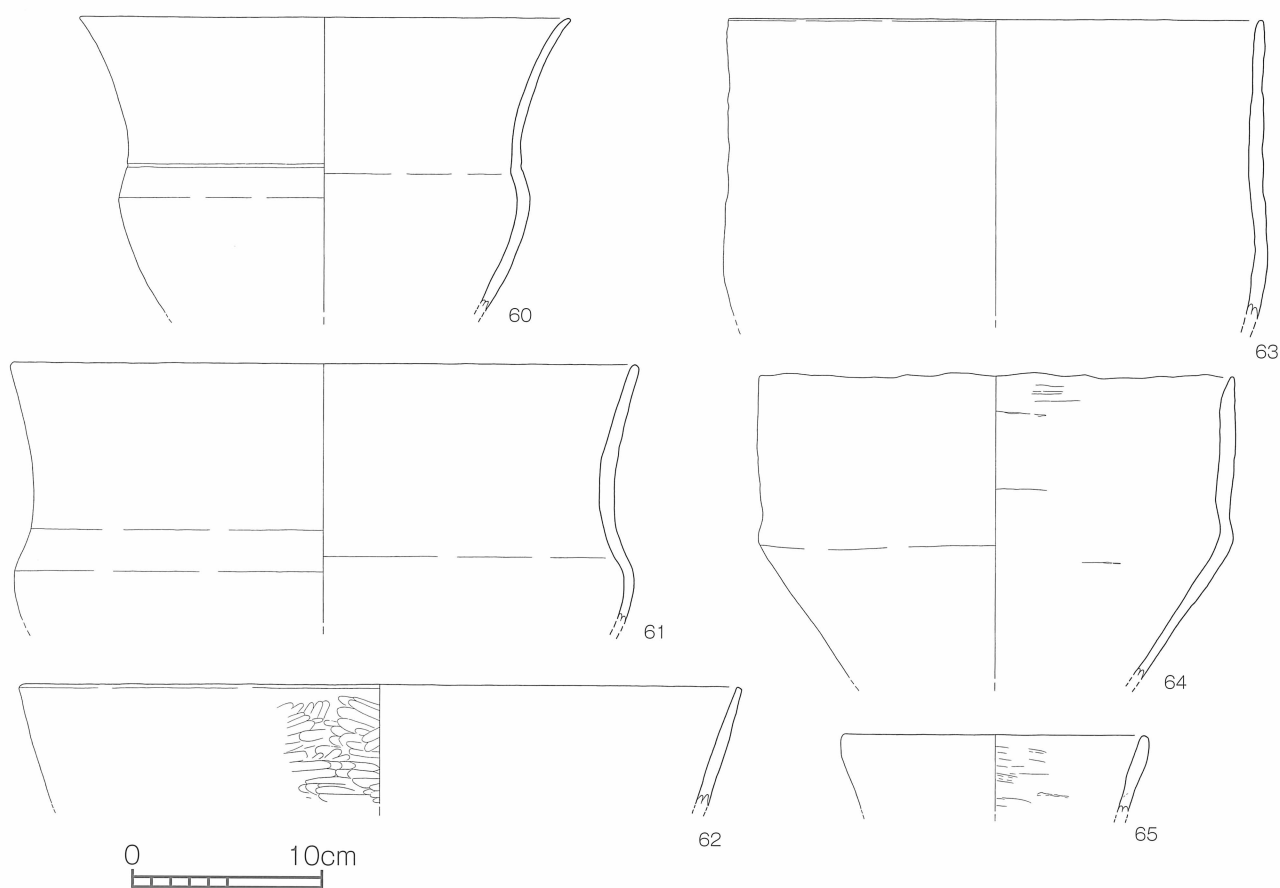
第68図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居 (SB18②・19~21) 出土土器実測図 [1/4]



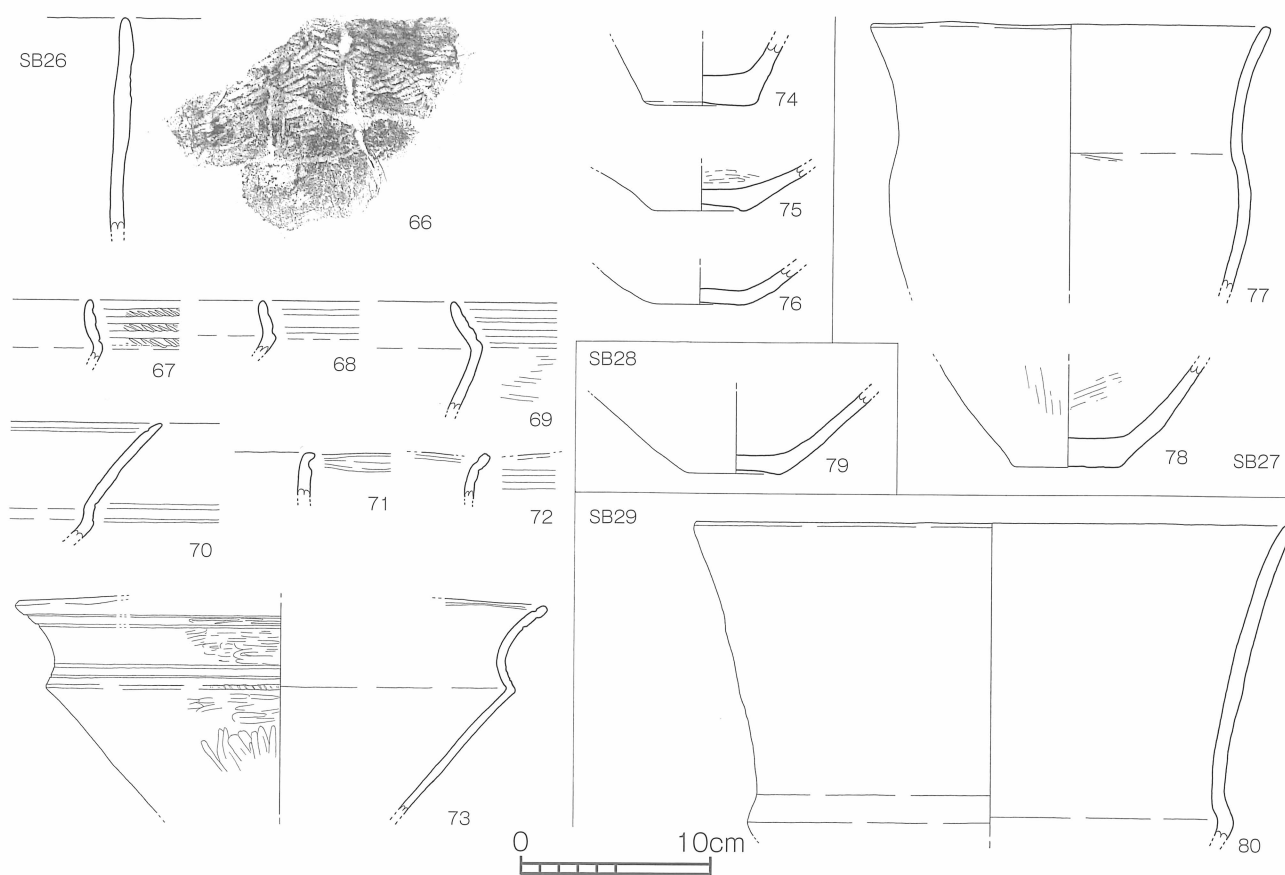
第69図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居（SB22・23）出土土器実測図〔1／4〕



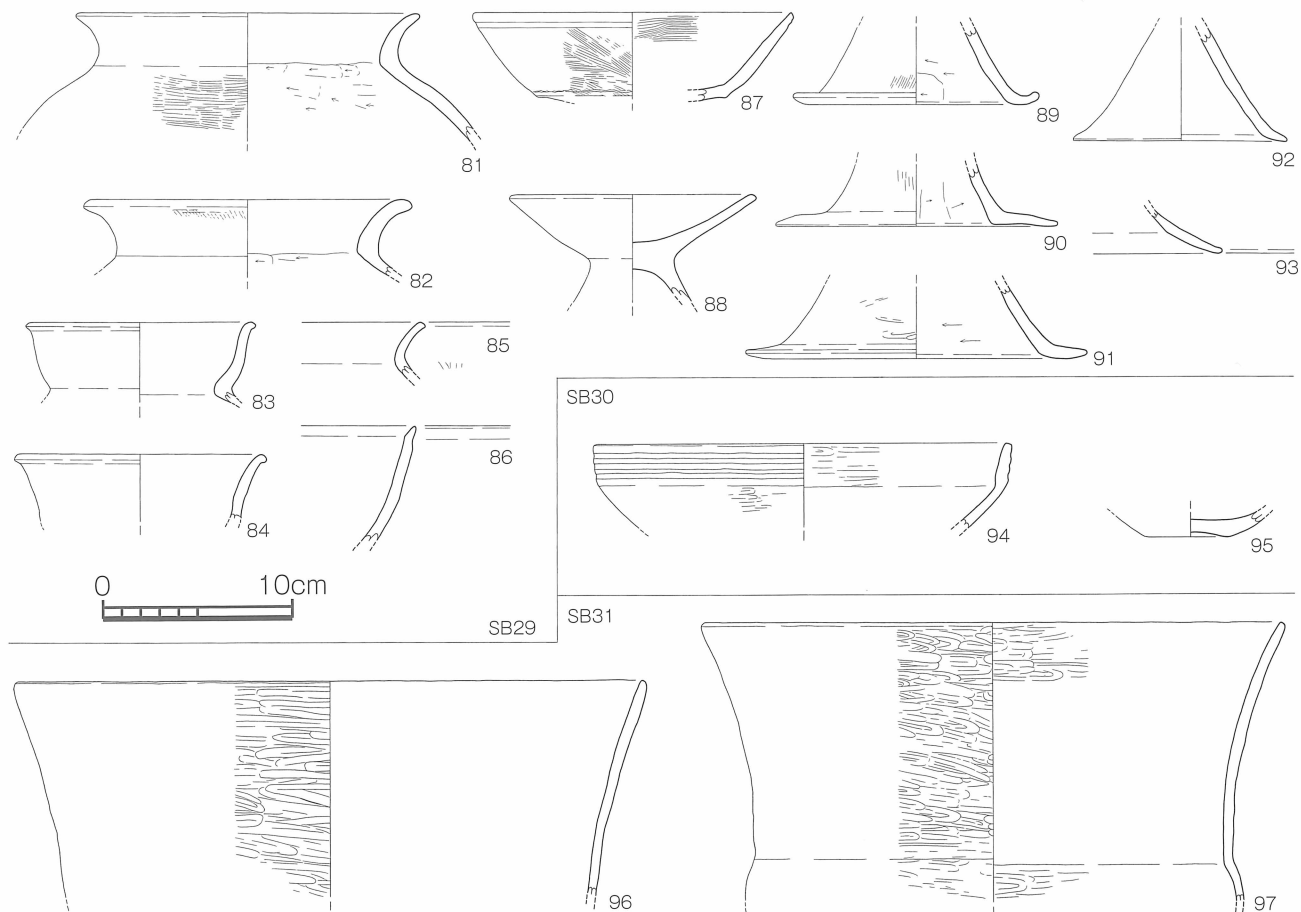
第70図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居（SB24・25）出土土器実測図〔1／4〕



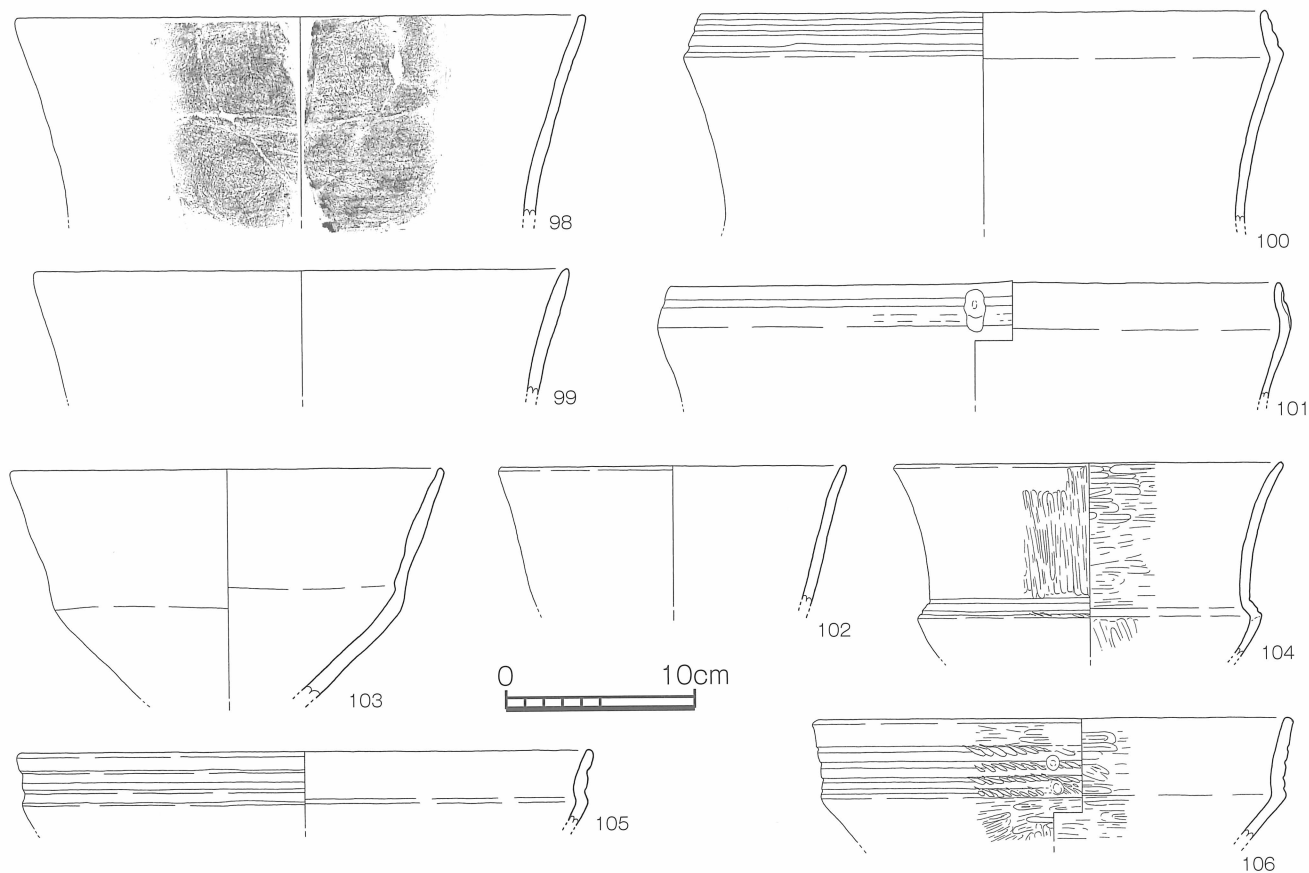
第71図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居（SB26①）出土土器実測図〔1／4〕



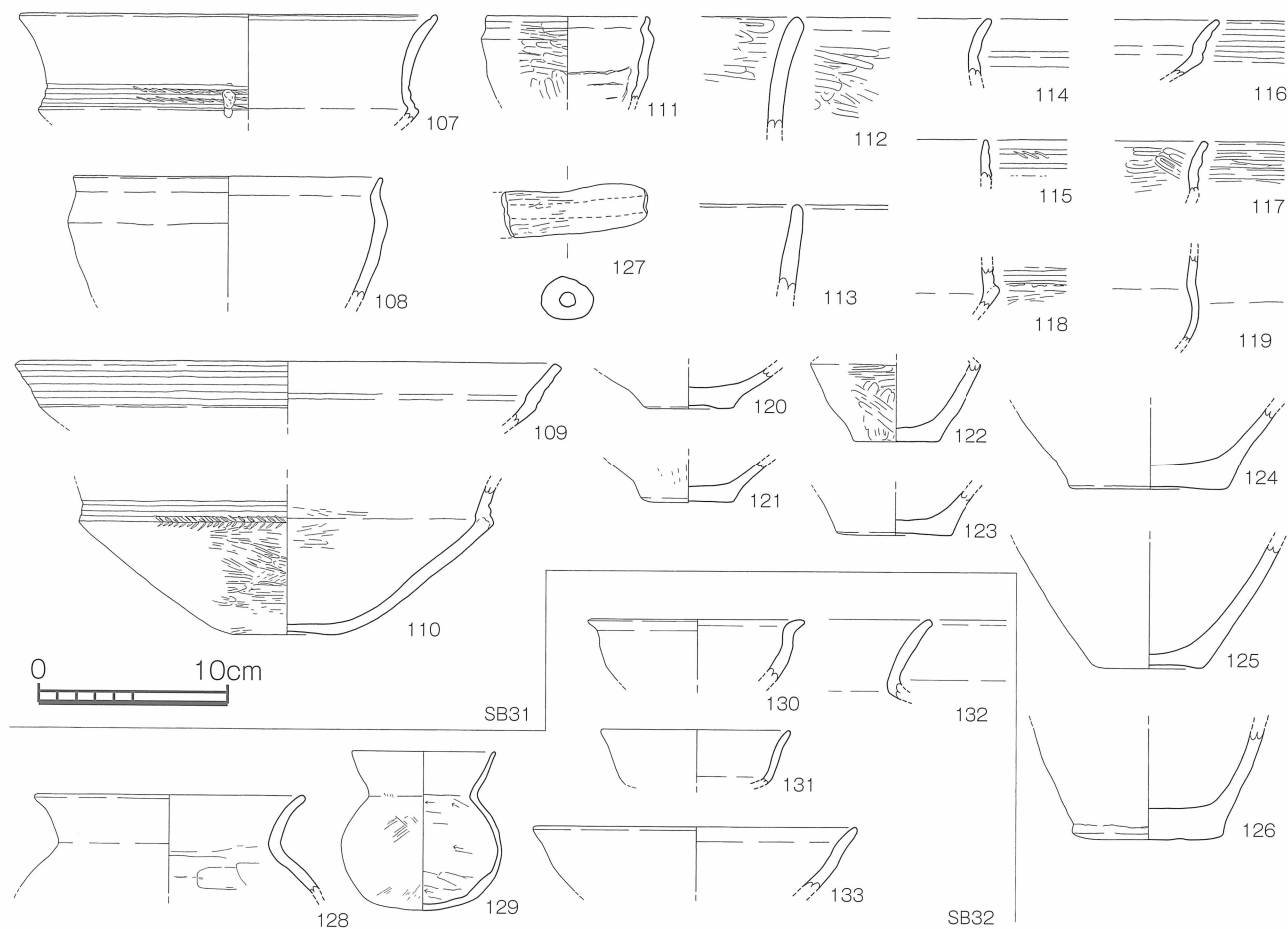
第72図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居（SB26②・27～29①）出土土器実測図〔1／4〕



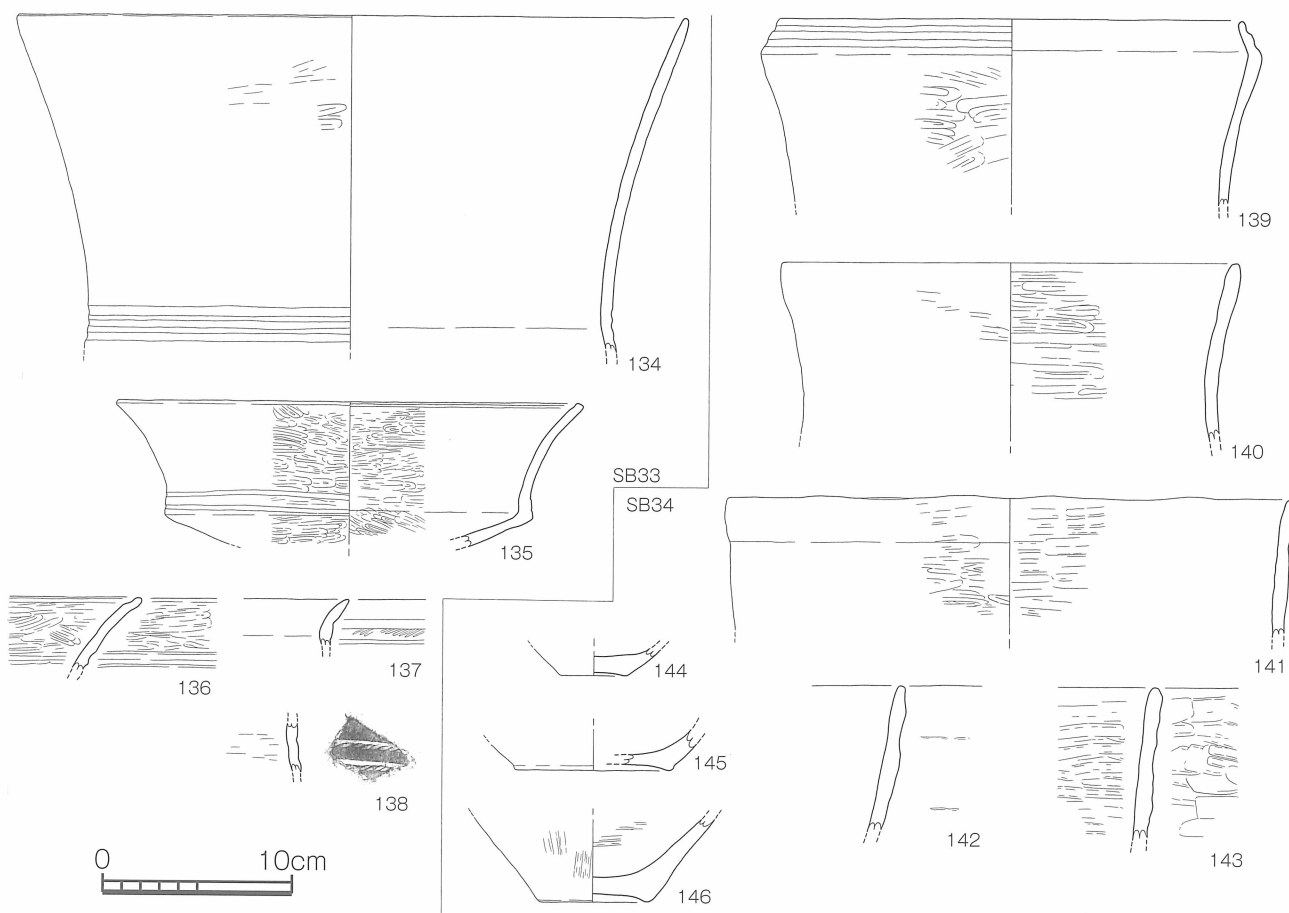
第73図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居（SB29②～31①）出土土器実測図〔1／4〕



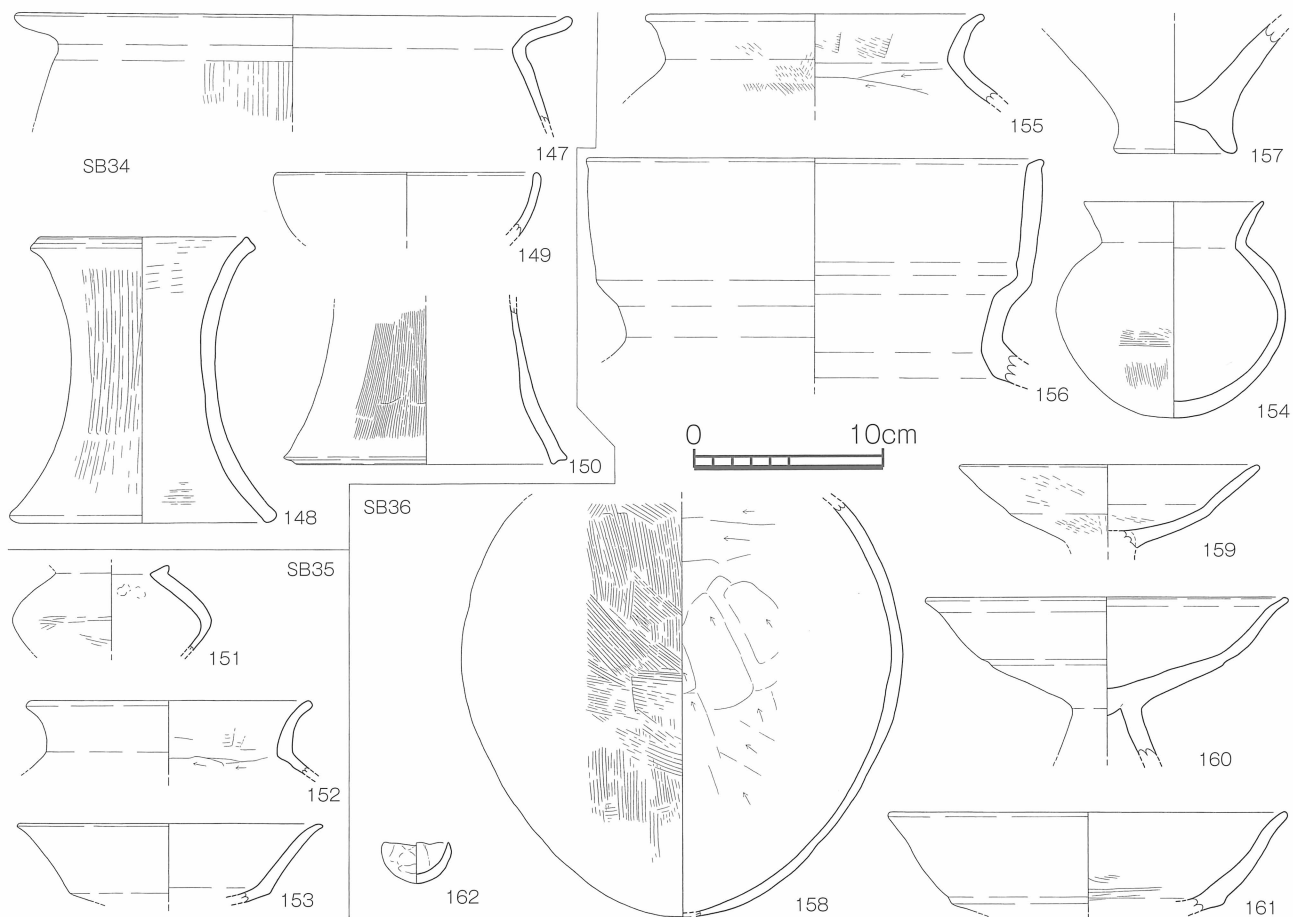
第74図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居（SB31②）出土土器実測図〔1／4〕



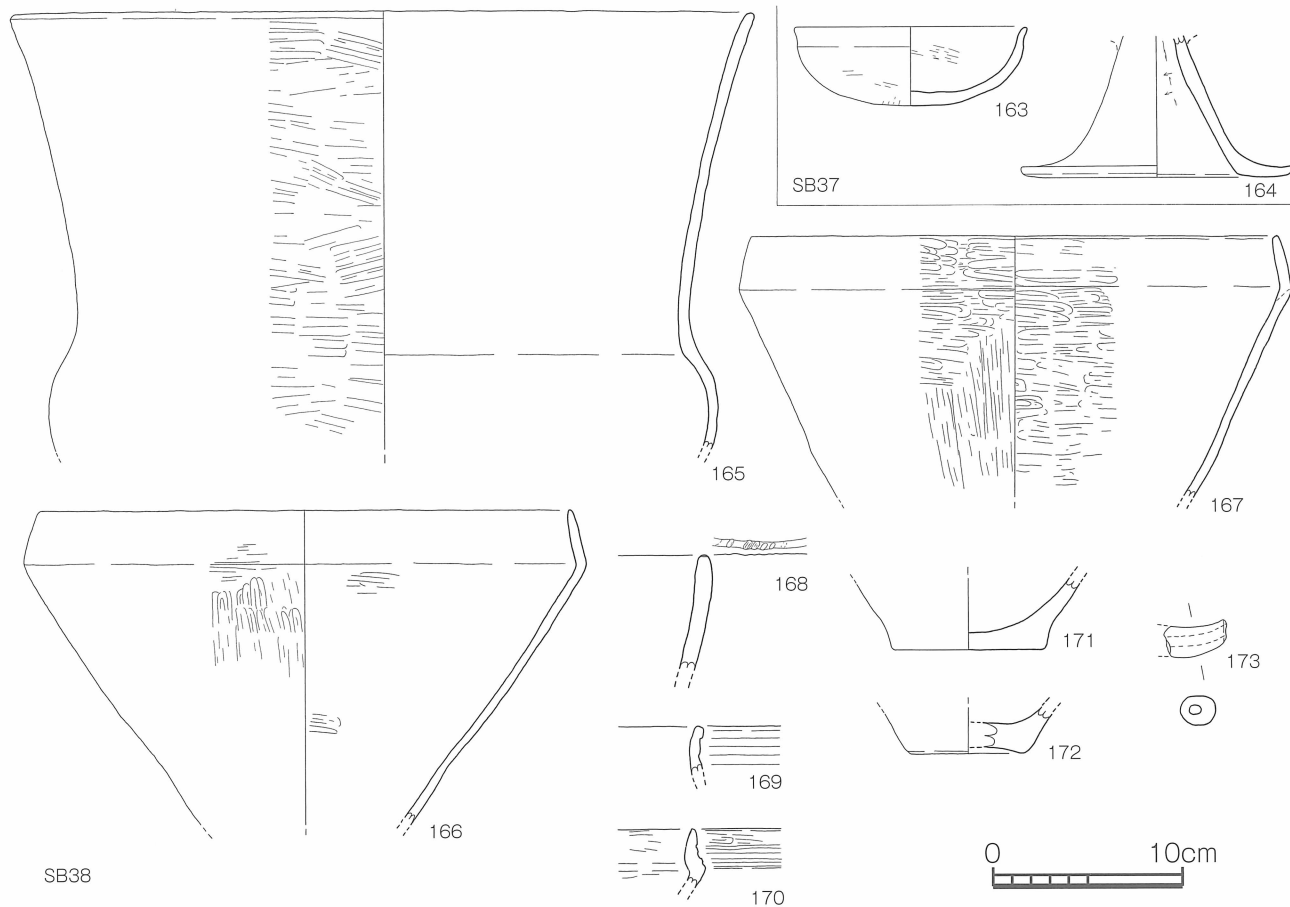
第75図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居（SB31③～32）出土土器実測図〔1／4〕



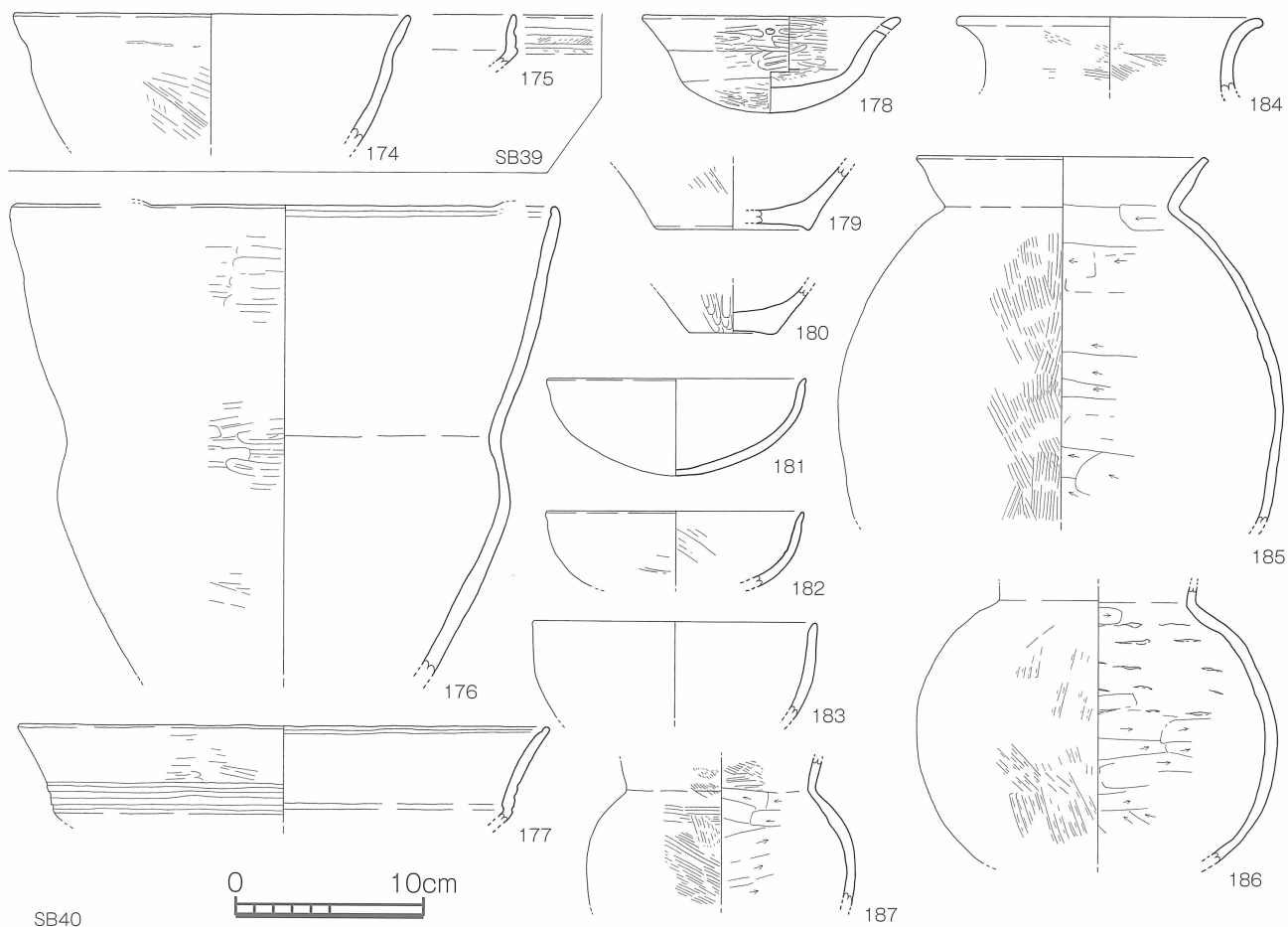
第76図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居（SB33～34①）出土土器実測図〔1／4〕



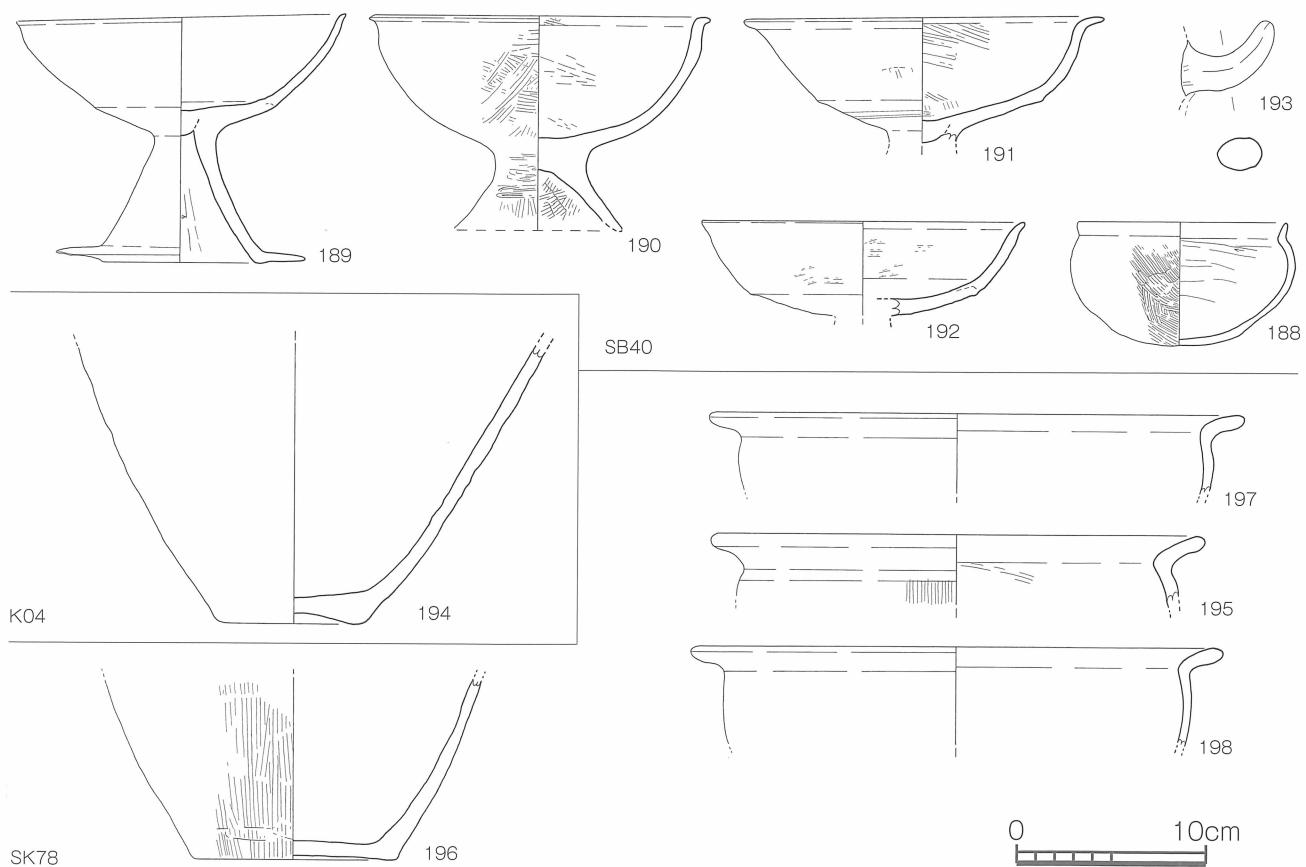
第77図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居（SB34②～36）出土土器実測図〔1／4〕



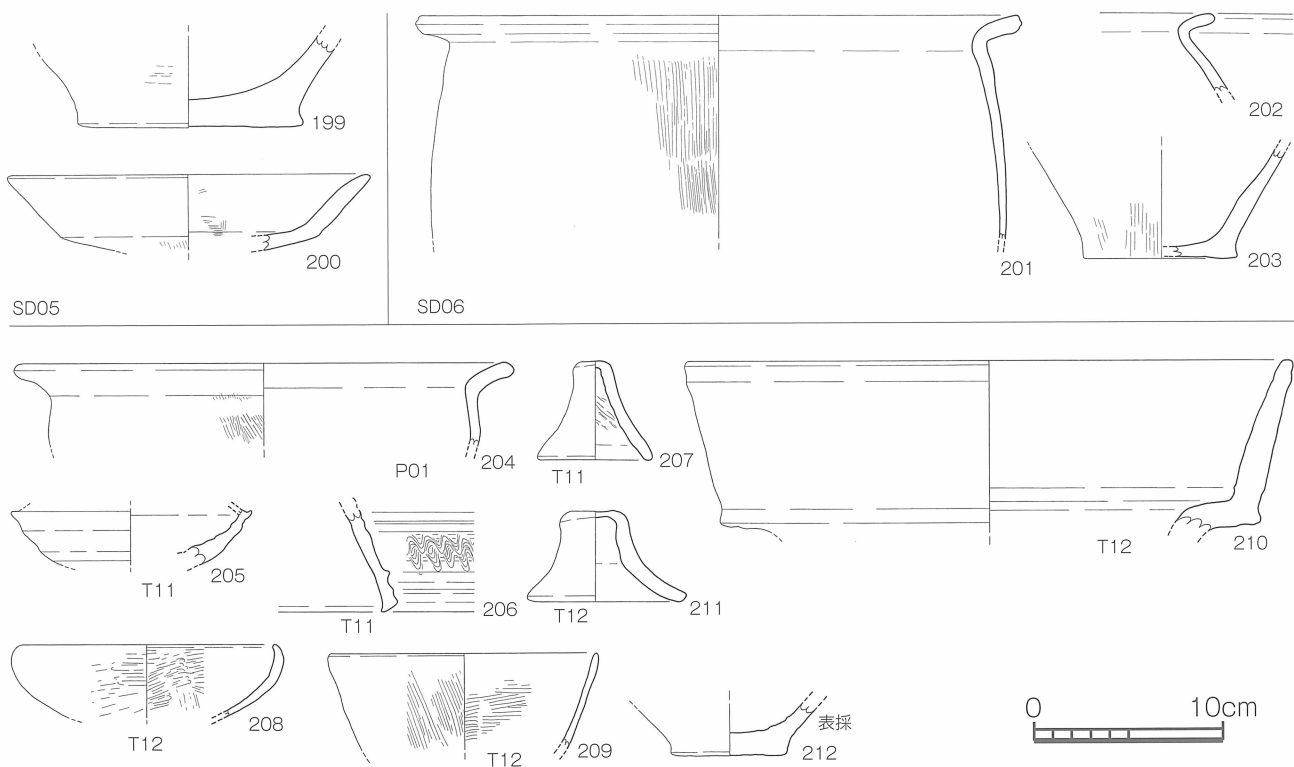
第78図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居（SB37～38）出土土器実測図〔1／4〕



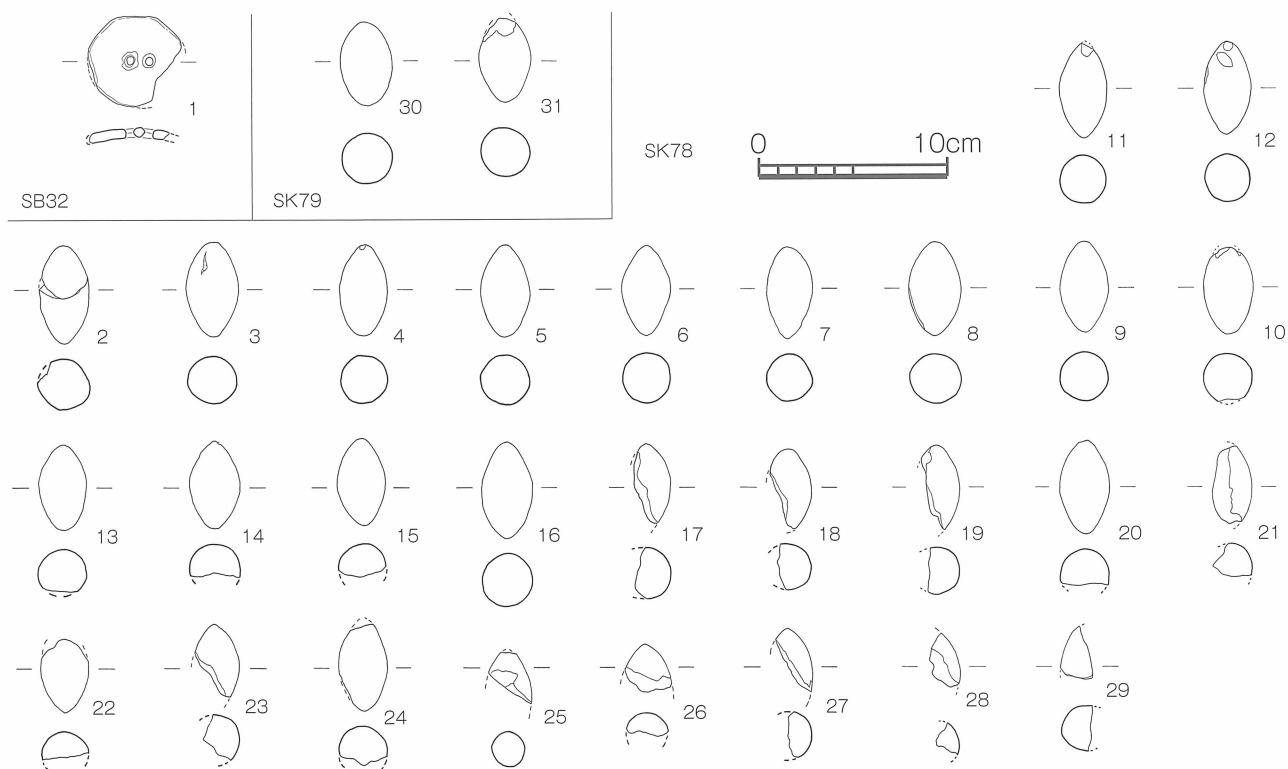
第79図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居（SB39～40①）出土土器実測図〔1／4〕



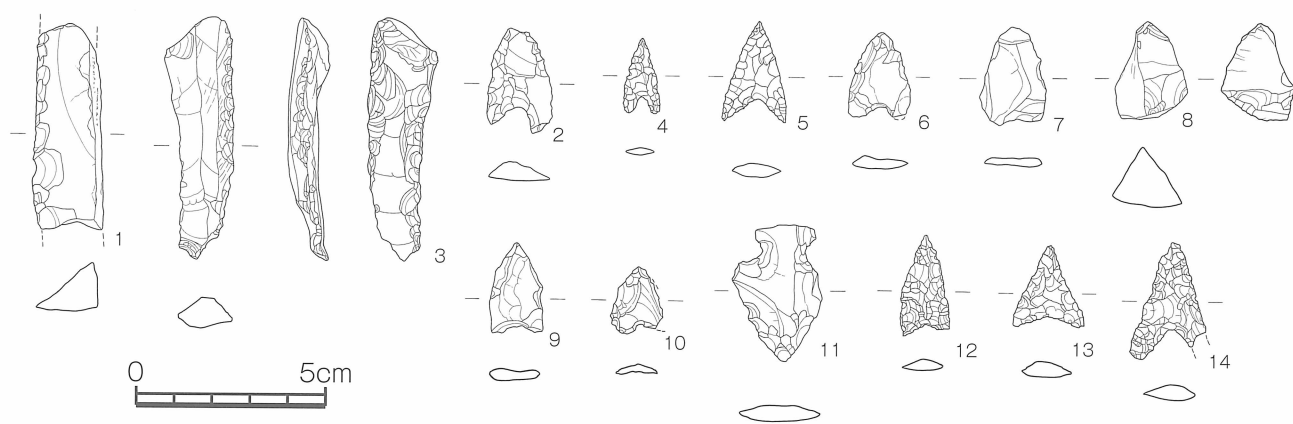
第80図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居（SB40②）、甕棺（K04）、土壇（SK78）出土土器実測図〔1／4〕



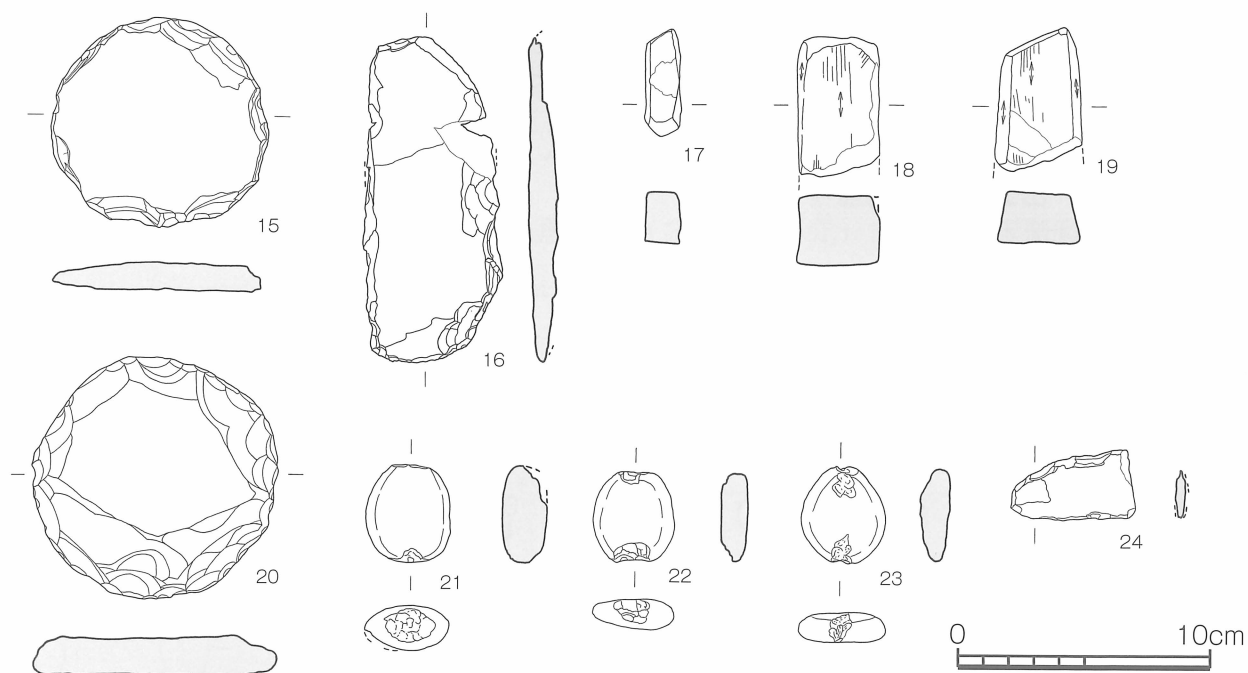
第81図 アモメ遺跡3地点 溝 (SD05~06)、ピット、トレンチ (T11~12)、表採 出土土器実測図 [1/4]



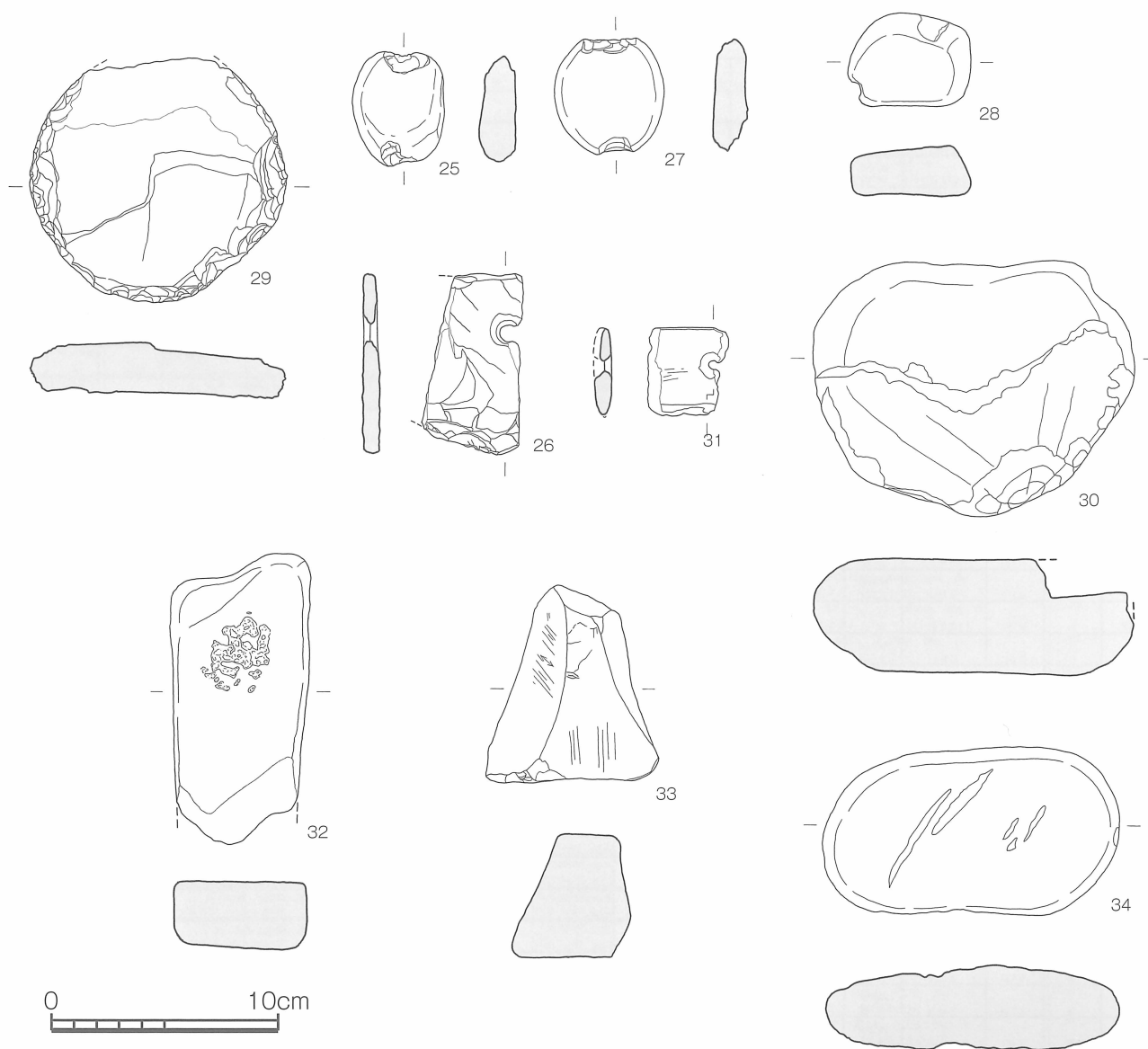
第82図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居 (SB32)、土壌 (SK78~79) 出土土製品実測図 [1/4]



第83図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居（SB22・24・31・34・40）、土壙（SK78）、表採出土石器実測図〔1／2〕



第84図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居（SB21・23・25～26）出土石製品実測図〔1／3〕



第85図 アモメ遺跡3地点 竪穴住居（SB31・34～37）、溝（SD05）、トレンチ（T11～12）、表探出土石製品実測図〔1／3〕

表3 アモメ遺跡3地点 出土土器実測図

押図	造物 番号	実測 番号	出土遺構	器種	種別	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	調 整	色調・胎土・焼成	備 考
第67図	1	R52	S B17	縄文式 土 器	深鉢	29.4		11	外面：ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：にぶい褐色・褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂及び片岩等を含む。	口縁部下
第67図	2	R50	S B17	縄文式 土 器	鉢	12.3		6.8	外面：ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：黄灰色・黄灰色 焼成：良 胎土：1.5mmの砂をやや多く含む。片岩、角閃石等を含む。	口縁部1/7 R51と同一と思われる
第67図	2	R51	S B17	縄文式 土 器	鉢	12.4		6.2	外面：磨きがかかると、不明 内面：ナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・黄灰色 焼成：良 胎土：1.5mmの砂をやや多く含む。片岩等を含む。	口縁部1/7 R50と同一と 思われる
第67図	3	R48	S B17	縄文式 土 器	鉢			3.6	外面：ナデ・ヘラミガキ 内面：ヘラミガキ	色調（外内）：灰褐色・褐灰色 焼成：良 胎土：1mmの砂礫を含む。片岩、角閃石等を含む。	口縁部小片
第67図	4	R49	S B17	縄文式 土 器	深鉢			5.6	外面：条痕文のちナデ 内面：ナデ・条痕文のちナデ	色調（外内）：褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂をやや多く含む。片岩、角閃石等を含む。	口縁部小片、最下層
第67図	5	R432	S B18	縄文式 土 器	浅鉢	19		6.9	外面：ヘラミガキ・ヘラによるキザミ・ナデ 内面：ヘラミガキ・ナデ	色調（外内）：明褐色・褐灰色 焼成：良 胎土：1mmの砂をやや多く含む。片岩等を含む。	口縁部1/4
第67図	6	R186	S B18	弥生式 土 器	壺	16		2	外面：ヨコナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	色調（外内）：褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：3mmの砂礫を含む。片岩、石英等を含む。	口縁部1/2 焼成前穿孔2ヶ 所
第67図	7	R434	S B18	弥生式 土 器	甕	34		6.3	外面：ヨコナデ・ハケメ 内面：不明・ヨコナデ・ナデ	色調（外内）：；にぶい褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂を含む。角閃石等を含む。	口縁部1/10
第67図	8	R437	S B18	弥生式 土 器	甕	32.1		6.5	外面：ヨコナデ・ハケメ 内面：ヨコナデ・ナデ	色調（外内）：にぶい褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：0.5mmの砂を含む。	胴部1/6
第67図	9	R431	S B18	弥生式 土 器	甕	32.2		3.55	外面：不明 内面：不明	色調（外内）：褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：0.5mmの砂を少量含む。	口縁部1/12 摩耗
第67図	10	R436	S B18	弥生式 土 器	甕	38		8.4	外面：ヨコナデ・ハケメ 内面：ヨコナデ・ハケメ	色調（外内）：灰白色・灰白色 焼成：良 胎土：1mmの砂をやや少量含む。角閃石等を含む。	口縁部 1/8
第67図	11	R438	S B18	弥生式 土 器	甕			10.9	外面：ハケメ後ナデ・ナデ・ハケメ 内面：ナデ	色調（外内）：褐色・褐色 焼成：良 胎土：1.5mmの砂を含む。片岩等を含む。	突帯1/5
第67図	12	R433	S B18	弥生式 土 器	甕			4.5	外面：ヨコナデ・不明・ 内面：ヨコナデ・不明・押圧痕有	色調（外内）：；にぶい褐色・浅黄褐色 焼成：良 胎土：3mmの砂礫をやや多く含む。	口縁部小片 摩耗
第68図	13	R185	S B18	弥生式 土 器	甕	30.2		8.6	外面：不明 内面：ハケメ	色調（外内）：褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂をやや多く含む。片岩等を含む。	胴部部小4 摩耗
第68図	14	R180	S B18	弥生式 土 器	甕		5.6	6.3	外面：ハケメ・ナデ・ユビオサエ 内面：ナデ?	色調（外内）：褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂をやや多く含む。片岩等を含む。	底部3/4 摩耗
第68図	15	R179	S B18	弥生式 土 器	甕		8.4	6.55	外面：ハケメ後ナデ・ナデ 内面：不明	色調（外内）：褐色・灰色 焼成：良 胎土：1.5mmの砂を含む。片岩、角閃石等を含む。	底部1/1
第68図	16	R182	S B18	弥生式 土 器	甕		10.4	4.65	外面：ナデ? 内面：不明・ナデ	色調（外内）：にぶい褐色・褐灰色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含む。片岩等を含む。	底部2/3 摩耗
第68図	17	R181	S B18	弥生式 土 器	甕		9	9.2	外面：ハケメ・ナデ 内面：ナデ?	色調（外内）：にぶい黄褐色・灰黄色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含む。片岩、角閃石等を含む。	底部1/4 摩耗
第68図	18	R435	S B18	弥生式 土 器	甕台		12.8	7.5	外面：ハケメ・ナデ 内面：ハケメ	色調（外内）：にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂をやや多く含む。片岩等を含む。	裾部1/6
第68図	19	R184	S B18	弥生式 土 器	鉢	17.7		5.8	外面：不明 内面：不明	色調（外内）：にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含む。片岩等を含む。	口縁部1/8
第68図	20	R183	S B18	弥生式 土 器	鉢	15.6		7.5	外面：不明 内面：不明	色調（外内）：浅黄褐色・褐色 焼成：良 胎土：5mmの砂礫を含む。長石等を含む。	胴部 摩耗著しい
第68図	21	R54	S B19	縄文式 土 器	鉢			3.8	外面：ナデ 内面：ナデ?	色調（外内）：褐色・明褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂をやや多く含む。角閃石等を含む。	口縁部小片
第68図	22	R55	S B20	弥生式 土 器	甕		8	3.9	外面：ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：褐色・褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含む。片岩等を含む。	底部1/6
第68図	23	R439	S B21	縄文式 土 器	深鉢	26		15.2	外面：ヘラミガキ 内面：ヘラミガキ・ヘラケズリ	色調（外内）：にぶい褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：3mmの砂礫を含む。片岩等を含む。	胴～胴部1/8
第68図	24	R442	S B21	縄文式 土 器	深鉢	18.2		9	外面：キザミ・ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：明赤褐色・明赤褐色 焼成：良 胎土：3mmの砂礫をやや多く含む。片岩等を含む。	口縁部1/5
第68図	25	R188	S B21	縄文式 土 器	深鉢			4.7	外面：ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：黄灰色・黄灰色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含む。片岩等を含む。	口縁部小片
第68図	26	R187	S B21	縄文式 土 器	深鉢			6.3	外面：ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：褐灰色・褐色 焼成：良 胎土：3mmの砂礫を含む。片岩等を含む。	口縁部小片
第68図	27	R440	S B21	縄文式 土 器	深鉢			6.5	外面：ナデ 内面：ナデ・条痕文後ナデ	色調（外内）：褐色・褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂をやや多く含む。片岩、石英等を含む。	口縁部小片
第69図	28	R189	S B22	縄文式 土 器	浅鉢	18		9	外面：ヘラミガキ・キザミ・ナデ 内面：不明?・ヘラミガキ?	色調（外内）：褐色・褐灰色 焼成：良 胎土：3mmの砂礫を多く含む。雲母、石英、長石等を含む。	胴部1/7
第69図	29	R441	S B22	縄文式 土 器	浅鉢	27.5		6.4	外面：ナデ?・枕縁内キザミ 内面：不明	色調（外内）：にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：3mmの砂礫を多く含む。片岩、角閃石等を含む。	胴部1/7
第69図	30	R443	S B22	縄文式 土 器	鉢	14		4	外面：ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：灰黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：0.5mmの砂を含む。片岩、角閃石等を含む。	口縁部1/7
第69図	31	R445	S B22	縄文式 土 器	深鉢	17		5	外面：ヘラミガキ・キザミ 内面：ヘラミガキ	色調（外内）：明赤褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：1.5mmの砂礫を含む。片岩、長石等を含む。	胴部1/4
第69図	32	R190	S B22	縄文式 土 器	深鉢			4.5	外面：ヘラミガキ 内面：ナデ	色調（外内）：にぶい褐色・褐灰色 焼成：良 胎土：2mmの砂を含む。片岩等、石英等を含む。	口縁部小片肩
第69図	33	R444	S B22	縄文式 土 器	把手	長さ 5.8	幅 2.7	高さ 2.2	全面ナデ 割継ぎ多い	色調：にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含む。片岩等を含む。	把手1/1
第69図	34	R193	S B23	縄文式 土 器	深鉢	28		13.1	外面：不明 内面：条痕文・ユビオサエ	色調（外内）：褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：3mmの砂礫をやや多く含む。片岩等を含む。	胴部1/6
第69図	35	R198	S B23	縄文式 土 器	浅鉢	19		7.9	外面：ヘラミガキ・キザミ 内面：ヘラミガキ	色調（外内）：明褐色・褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含む。片岩、角閃石等を含む。	胴部1/8
第69図	36	R191	S B23	縄文式 土 器	深鉢			8	外面：ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：にぶい褐色・赤褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂をやや多く含む。片岩、長石等を含む。	口縁部小片
第69図	37	R446	S B23	縄文式 土 器	鉢			3.55	外面：ヘラミガキ 内面：ヘラミガキ	色調（外内）：赤黒色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂を多く含む。角閃石目立つを含む。	口縁部小片
第69図	38	R449	S B23	縄文式 土 器	鉢			3.8	外面：ヘラミガキ 内面：ナデ・不明	色調（外内）：灰黄褐色・明黄褐色 焼成：良 胎土：3mmの砂礫を含む。雲母、石英、長石等を含む。	口縁部小片
第69図	39	R194	S B23	縄文式 土 器	深鉢			5.4	外面：ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：灰黄褐色・灰黄褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂礫を含む。礫、片岩、長石等を含む。	口縁部小片
第69図	40	R447	S B23	縄文式 土 器	深鉢			4.85	外面：ナデ 内面：条痕文	色調（外内）：褐色・黄灰色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含む。片岩等を含む。	口縁部小片
第69図	41	R196	S B23	縄文式 土 器	深鉢			3.4	外面：枕縁 内面：ナデ	色調（外内）：褐色・褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂を含む。片岩等を含む。	口縁部小片
第69図	42	R448	S B23	縄文式 土 器	深鉢			6.95	外面：ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・灰黄褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含む。片岩、角閃石等を含む。	口縁部小片
第69図	43	R192	S B23	縄文式 土 器	鉢		5.3	1.4	外面：ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：明赤褐色・褐灰色 焼成：良 胎土：1.5mmの砂を含む。片岩等を含む。	底部1/1
第69図	44	R199	S B23	縄文式 土 器	深鉢		8.8	2.4	外面：条痕文?・ナデ 内面：不明	色調（外内）：褐色・褐色 焼成：良 胎土：3mmの砂礫を多く含む。片岩等、石英等を含む。	底部1/1
第69図	45	R195	S B23	縄文式 土 器	浅鉢		4.5	2.4	外面：ヘラミガキ 内面：ナデ	色調（外内）：褐色・黄灰色 焼成：良 胎土：2mmの砂礫を含む。片岩、角閃石等を含む。	底部1/1
第69図	46	R197	S B23	縄文式 土 器	浅鉢			4.7	外面：ヘラミガキ 内面：ヘラミガキ	色調（外内）：にぶい赤褐色・にぶい赤褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を少量含む。片岩等を含む。	口縁部小片
第70図	47	R1365	S B24	縄文式 土 器	浅鉢	20		3.45	外面：不明・ヘラミガキ? 内面：ナデ	色調（外内）：灰黄褐色・灰黄褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂をやや多く含む。片岩等を含む。	口縁部1/9

挿図	造物 番号	実測 番号	出土遺情	器種	種別	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	調 整	色調・胎土・焼成	備 考
第70図	48	R1364	S B24	縄文式 土 器	浅鉢			3.6	外面：ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・灰黄褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂種をやや多く含む。片岩、角閃石等を含む。	口縁部小片
第70図	49	R60	S B24	縄文式 土 器	深鉢			5.45	外面：条紋文後ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：にぶい褐色・淡褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂を多く含む。片岩等を含む。	口縁部小片
第70図	50	R1366	S B24	縄文式 土 器	鉢			4	外面：ヘラミガキ・ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：黄灰色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、角閃石、片岩等を含む。	口縁部小片
第70図	51	R58	S B24	縄文式 土 器	深鉢		6.8	4.3	外面：不明 内面：不明	色調（外内）：褐色・黄灰色 焼成：良 胎土：1mmの砂をやや多く含む。片岩、角閃石等を含む。	底部1/1
第70図	52	R59	S B24	縄文式 土 器	深鉢		8.9	3.1	外面：ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：黄灰色・褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂をやや多く含む。角閃石目立つを含む。	底部1/1
第70図	53	R62	S B24	縄文式 土 器	鉢			6.5	外面：条紋文後ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：褐灰色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂種を多く含む。雲母、長石等を含む。	胴部1/10
第70図	54	R61	S B24	土師器	壺	7		3.6	外面：ヨコナデ・ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：褐色・褐色 焼成：良 胎土：微細な砂を少量含む。精良。	口縁部1/4
第70図	55	R451	S B25	弥生式 土 器	甕	26.1		8.6	外面：ヨコナデ・ハケメ 内面：ヨコナデ・ナデ	色調（外内）：灰黄褐色・灰黄褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩、角閃石等を含む。	口縁部1/6
第70図	56	R452	S B25	弥生式 土 器	甕	28		3.4	外面：ヨコナデ・ハケメ 内面：ヨコナデ・ナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・灰黄褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を少量含む。片岩等を含む。	口縁部1/10
第70図	57	R200	S B25	弥生式 土 器	器台		14	10.6	外面：ハケメ・ヨコナデ 内面：ナデ・一部ハケメ	色調（外内）：褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩等を含む。	裾部1/8内面
第70図	58	R201	S B25	弥生式 土 器	鉢	26	9.7	16	外面：ナデ・ハケメ 内面：ナデ	色調（外内）：灰黄褐色・灰黄色 焼成：良 胎土：1.5mmの砂を含み、片岩等を含む。	胴部1/5
第70図	59	R450	S B25	弥生式 土 器	甕		11.6	17	外面：ハケメ・不明 内面：ナデ	色調（外内）：褐色・灰黄褐色 焼成：良 胎土：3mmの砂種を含み、片岩等を含む。	底部1/2
第71図	60	R454	S B26	縄文式 土 器	深鉢	25.9		15.7	外面：ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・灰黄褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩等を含む。	胴部1/4
第71図	61	R540	S B26	縄文式 土 器	深鉢	33.1		13.6	外面：ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂を含み、片岩等を含む。	口縁部1/6
第71図	62	R65	S B26	縄文式 土 器	深鉢	38		6.3	外面：ヘラミガキ 内面：ナデ	色調（外内）：褐灰色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂を含み、片岩、長石、角閃石等を含む。	口縁部1/8 202と同一
第70図	63	R455	S B26	縄文式 土 器	深鉢	28.2		15.7	外面：ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：1.5mmの砂を含み、片岩等を含む。	口縁部下1/6
第70図	64	R63	S B26	縄文式 土 器	深鉢	25		16	外面：ナデ 内面：条紋文・工具によるナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂種を含み、雲母、角閃石等を含む。	口縁部1/6
第70図	65	R456	S B26	縄文式 土 器	鉢	16		4.1	外面：ナデ 内面：条紋文	色調（外内）：にぶい褐色・褐灰色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩等を含む。	口縁部1/8
第72図	66	R453	S B26	縄文式 土 器	深鉢			11.35	外面：条紋文 内面：	色調（外内）：灰黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：6mmの砂種を含み、片岩、角閃石等を含む。	口縁部小片
第72図	67	R1157	S B26	縄文式 土 器	深鉢			3.3	外面：枕線中にギザミ・ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：灰黄褐色・灰黄褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、雲母を含む。	口縁部小片
第72図	68	R1158	S B26	縄文式 土 器	浅鉢			2.8	外面：不明 内面：ナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂を含み、片岩、角閃石等を含む。	口縁部小片
第72図	69	R66	S B26	縄文式 土 器	鉢			5.7	外面：ナデ・ヘラミガキ 内面：ナデ	色調（外内）：灰黄色・灰黄色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩等を含む。	口縁部小片
第72図	70	R458	S B26	縄文式 土 器	浅鉢			6.1	外面：不明・ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：灰黄褐色・黒褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂を含み、片岩、角閃石等を含む。	口縁部小片
第72図	71	R1367	S B26	縄文式 土 器	鉢				外面：不明 内面：	色調（外内）：焼成：良 胎土：砂を含む。	細片
第72図	72	R1159	S B26	縄文式 土 器	鉢				外面：不明 内面：	色調（外内）：焼成：良 胎土：砂を含む。	細片
第72図	73	R204	S B26	縄文式 土 器	浅鉢	28.1		11.8	外面：ヘラミガキ 内面：ナデ	色調（外内）：灰黄褐色・灰黄褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂を含み、角閃石、石英、雲母等を含む。	下層
第72図	74	R64	S B26	縄文式 土 器	鉢		5.9	3.4	外面：不明 内面：不明	色調（外内）：灰黄褐色・褐灰色 焼成：良 胎土：1mmの砂をやや多く含む。片岩、長石、角閃石等を含む。	底部1/1
第72図	75	R203	S B26	縄文式 土 器	鉢		5	2.4	外面：ナデ 内面：ヘラミガキ	色調（外内）：にぶい黄褐色・褐灰色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩、長石等を含む。	底部1/1
第72図	76	R457	S B26	縄文式 土 器	鉢		4.6	2	外面：ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：にぶい褐色・灰黄褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩等を含む。	底部3/5
第72図	77	R460	S B27	縄文式 土 器	深鉢	21		14	外面：ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・灰白色 焼成：良 胎土：2mmの砂種を含み、片岩等を含む。	口縁部1/6
第72図	78	R205	S B27	弥生式 土 器	甕		5.7	5.4	外面：ハケメ・ナデ 内面：ハケメ・ナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・灰白色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩等を含む。	底部1/2
第72図	79	R459	S B28	縄文式 土 器	鉢		4.8	4.4	外面：ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・黄灰色 焼成：良 胎土：1.5mmの砂を含み、片岩等を含む。	底部1/1
第72図	80	R464	S B29	縄文式 土 器	深鉢	31.4		16.6	外面：ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・灰黄色 焼成：良 胎土：2mmの砂種を含み、片岩、長石等を含む。	上半1/8
第73図	81	R67	S B29	土師器	甕	18		6.8	外面：ナデ・ハケメ 内面：ハケメ・ヘラケズリ	色調（外内）：褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：3mmの砂種を含み、礫、長石、片岩等を含む。	口縁部1/2
第73図	82	R465	S B29	土師器	甕	17.2		4.1	外面：ハケメ後ヨコナデ 内面：ヨコナデ・ヘラケズリ	色調（外内）：灰黄色・黄灰色 焼成：良 胎土：3mmの砂種を含み、片岩、角閃石、長石等を含む。	口縁部1/4
第73図	83	R467	S B29	土師器	甕	12		4.2	外面：不明・ヨコナデ 内面：不明・ヘラケズリ	色調（外内）：灰色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：1.5mmの砂を含み、片岩、長石等を含む。	口縁部1/10
第73図	84	R468	S B29	土師器	甕	13.2		3.6	外面：ヨコナデ 内面：ヨコナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：0.5mmの砂を少量含む。	口縁部1/6
第73図	85	R469	S B29	土師器	甕			3	外面：ヨコナデ・ハケメ 内面：ヨコナデ	色調（外内）：黄灰色・灰黄色 焼成：良 胎土：0.5mmの砂を少量含む。やや精良。	口縁部小片
第73図	86	R466	S B29	土師器	鉢			6.2	外面：ヨコナデ・不明 内面：ナデ・不明	色調（外内）：にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：微細な砂を少量含む。やや精良。	口縁部小片
第73図	87	R71	S B29	土師器	高坏	16.8	10	4.7	外面：凹線・ハケメ 内面：ハケメ・ナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：微細な砂を含む。精良。	坏屈部1/4
第73図	88	R462	S B29	土師器	器台	13		5.8	外面：不明 内面：不明	色調（外内）：褐色・褐色 焼成：良 胎土：微細な砂をやや少量含む。やや精良。	坏屈部1/1、摩耗著しい。腹口縁？
第73図	89	R461	S B29	土師器	高坏		13	4.1	外面：ハケメ後ナデ・ナデ 内面：ヘラケズリ	色調（外内）：にぶい褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：3mmの砂種を少量含む。やや精良。	脚屈部1/4
第73図	90	R70	S B29	土師器	高坏		14.8	3.3	外面：ハケメ・ナデ 内面：ヘラケズリ・ナデ	色調（外内）：褐色・褐色 焼成：良 胎土：微細な砂を少量含む。精良。	脚部1/4、ゆがみあり。
第73図	91	R69	S B29	土師器	高坏		18	3.8	外面：ヘラミガキ・ヨコナデ 内面：ヘラケズリ・ナデ	色調（外内）：にぶい褐色・褐色 焼成：良 胎土：0.5mmの砂を少量含む。精良。	裾部1/8、ゆがみあり。
第73図	92	R68	S B29	土師器	高坏		11.3	6	外面：不明 内面：ヘラケズリ	色調（外内）：にぶい褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：0.5mmの砂を少量含む。精良。	裾部1/2、摩耗
第73図	93	R463	S B29	土師器	高坏			2.4	外面：ヨコナデ 内面：不明	色調（外内）：にぶい褐色・褐色 焼成：良 胎土：微細な砂を少量含む。やや精良。	裾部小片
第73図	94	R470	S B30	縄文式 土 器	浅鉢	22		4.5	外面：ナデ・ヘラミガキ 内面：ヘラミガキ・不明	色調（外内）：灰黄褐色・灰黄褐色 焼成：良 胎土：3mmの砂種を含み、片岩、角閃石等を含む。	口縁部1/4
第73図	95	R471	S B30	縄文式 土 器	鉢		4.7	1.3	外面：不明 内面：不明	色調（外内）：にぶい黄色・灰黄褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂種をやや多く含む。角閃石を含む。	底部1/1
第73図	96	R210	S B31	縄文式 土 器	深鉢	33.2		11.4	外面：ヘラミガキ 内面：不明	色調（外内）：にぶい褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：3mmの砂種を含み、片岩等、7mmの礫を含む。	口縁部1/6

挿図	遺物 番号	実測 番号	出土遺構	器種	種別	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	調 整	色調・胎土・焼成	備 考
第73図	97	R 476	S B 31	縄文式 土 器	深鉢	30.8		14.8	外面：ヘラミガキ 内面：ヘラミガキ・ナデ	色調（外内）：にぶい褐色・褐灰色 焼成：良 胎土：2mmの砂礫を含み、片岩等、5～7mmの礫を含む。	口縁部1/8
第74図	98	R 472	S B 31	縄文式 土 器	深鉢	30		10.6	外面：糸痕文 内面：糸痕文	色調（外内）：にぶい黄褐色・灰黄色 焼成：良 胎土：3mmの砂礫を含み、片岩、角閃石、石英等を含む。	口縁部1/8
第74図	99	R 473	S B 31	縄文式 土 器	深鉢	28		6.7	外面：ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：にぶい褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂礫を含み、片岩等を含む。	口縁部1/6
第74図	100	R 76	S B 31	縄文式 土 器	深鉢	29.8		11.2	外面：ヘラミガキ・ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：灰褐色・灰黄色 焼成：良 胎土：2mmの砂を含み、片岩、角閃石等を含む。	口縁部1/8
第74図	101	R 227	S B 31	縄文式 土 器	深鉢	32		6.4	外面：不明・押圧痕有 内面：不明	色調（外内）：黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：3mmの砂礫を含み、片岩、長石等を含む。	口縁部下1/10
第74図	102	R 77	S B 31	縄文式 土 器	鉢	18.2		7.4	外面：ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・褐灰色 焼成：良 胎土：4mmの砂礫を含み、片岩等を含む。	口縁部1/8
第74図	103	R 474	S B 31	縄文式 土 器	浅鉢	22.8		12.15	外面：ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩、角閃石等を含む。	口縁部1/8 整形よくない
第74図	104	R 477	S B 31	縄文式 土 器	浅鉢	20.4		10.3	外面：ヘラミガキ・キザミ・ナデ 内面：ヘラミガキ・未調整	色調（外内）：にぶい黄褐色・灰黄褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂礫を含み、片岩、石英等を含む。	口縁部1/8
第74図	105	R 479	S B 31	縄文式 土 器	浅鉢	30.2		4	外面：ヘラミガキ 内面：不明・ヘラミガキ	色調（外内）：にぶい黄褐色・褐灰色 焼成：良 胎土：1mm砂礫を含み、片岩等を含む。	口縁部1/6
第74図	106	R 478	S B 31	縄文式 土 器	浅鉢	25.2		6.5	外面：ヘラミガキ・キザミ 内面：ヘラミガキ	色調（外内）：にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩等を含む。	口縁部1/8
第75図	107	R 475	S B 31	縄文式 土 器	浅鉢	22		5.6	外面：ナデ・キザミ 内面：ナデ	色調（外内）：にぶい褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩等を含む。	口縁部1/8
第75図	108	R 215	S B 31	縄文式 土 器	浅鉢	16.3		6.5	外面：ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：灰黄色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：1.5mmの砂礫を含み、片岩等を含む。	口縁部下1/6
第75図	109	R 75	S B 31	縄文式 土 器	浅鉢	28.8		3.3	外面：ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：にぶい褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩等を含む。	口縁部下1/10
第74図	110	R 206	S B 31	縄文式 土 器	浅鉢		5.8	7.9	外面：キザミ・ヘラミガキ 内面：ヘラミガキ	色調（外内）：にぶい黄褐色・灰白色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩等を含む。	底部1/1
第74図	111	R 214	S B 31	縄文式 土 器	鉢	8.3		4.45	外面：ヘラミガキ 内面：ナデ	色調（外内）：にぶい褐色・灰黄褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩、角閃石等を含む。	口縁部下1/8、手すくね風
第74図	112	R 78	S B 31	縄文式 土 器	深鉢			5.9	外面：ヘラミガキ 内面：ヘラミガキ	色調（外内）：にぶい黄褐色・灰黄色 焼成：良 胎土：2mmの砂礫を含み、片岩、角閃石、石英等を含む。	口縁部小片
第74図	113	R 74	S B 31	縄文式 土 器	深鉢			4.7	外面：不明 内面：不明	色調（外内）：にぶい黄褐色・浅黄色 焼成：良 胎土：3mmの砂礫を多く含み、片岩等を含む。	口縁部小片
第74図	114	R 1510	S B 31	縄文式 土 器	鉢			3.1	外面：ナデ・凹線状・不明 内面：不明	色調（外内）：にぶい黄褐色・浅黄色 焼成：良 胎土：2mmの砂礫を含み、片岩、石英等を含む。	口縁部小片
第74図	115	R 1514	S B 31	縄文式 土 器	鉢			2.1	外面：キザミ 内面：	色調（外内）：褐色・橙色 焼成：良 胎土：2.5mm砂礫を含み、片岩等を含む。	口縁部小片
第74図	116	R 1512	S B 31	縄文式 土 器	浅鉢			3	外面：ヘラミガキ 内面：	色調（外内）：灰白色・明黄褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂を含み、片岩等を含む。	口縁部小片
第74図	117	R 1511	S B 31	縄文式 土 器	鉢			2.8	外面：ヘラミガキ 内面：ヘラミガキ	色調（外内）：灰黄褐色・褐灰色 焼成：良 胎土：3mm砂礫を含み、片岩等を含む。	口縁部小片
第74図	118	R 1513	S B 31	縄文式 土 器	鉢			2.3	外面： 内面：摩耗の為不明	色調（外内）：褐灰色・褐灰色 焼成：良 胎土：2mmの砂を含み、片岩、角閃石等を含む。	黒色磨研
第74図	119	R 213	S B 31	縄文式 土 器	浅鉢			4.7	外面：ナデ 内面：不明・ナデ	色調（外内）：にぶい褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩、石英等を含む。	頸部小片
第74図	120	R 212	S B 31	縄文式 土 器	鉢		4.8	2.2	外面：ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：3mmの砂礫を含み、片岩、石英等を含む。	底部1/1
第74図	121	R 73	S B 31	縄文式 土 器	浅鉢		5	2.3	外面：糸痕後ナデ・ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：灰黄褐色・褐灰色 焼成：良 胎土：1.5mmの砂を含む。	底部4/5
第74図	122	R 211	S B 31	縄文式 土 器	鉢		4.5	4.2	外面：ヘラミガキ・ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：褐灰色・褐灰色 焼成：良 胎土：3mmの砂礫を含み、片岩等を含む。	底部1/1
第74図	123	R 72	S B 31	縄文式 土 器	鉢		6.1	2.3	外面：ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：灰黄色・灰黄色 焼成：良 胎土：3mmの砂礫を含み、片岩、長石等を含む。	底部1/1
第74図	124	R 208	S B 31	縄文式 土 器	鉢		8.4	4.4	外面：ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・灰黄褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂を含み、片岩等を含む。	底部3/4
第74図	125	R 209	S B 31	縄文式 土 器	鉢		5.8	6.7	外面：ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・灰黄色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、角閃石を含む。	底部1/1
第74図	126	R 207	S B 31	縄文式 土 器	深鉢		7.9	5.9	外面：ナデ・未調整 内面：ナデ	色調（外内）：灰褐色・黄灰色 焼成：良 胎土：3mmの砂礫を含み、片岩等を含む。	底部1/1
第74図	127	R 689	S B 31	縄文式 土 器	注口土器	長さ 7.6	厚さ 2.8	2.3	不明 ヘラミガキ	色調（外内）：にぶい黄褐色・灰黄褐色 焼成：良 胎土：3mmの砂礫を含み、片岩、角閃石等を含む。	注口1/1 黒色磨研
第74図	128	R 220	S B 32	土師器	甕	14.2		5.25	外面：ヨコナデ・不明 内面：ヨコナデ・ナデ・ヘラケズリ	色調（外内）：褐色・黄灰色 焼成：良 胎土：1mmの砂礫を含み、角閃石、石英等を含む。	口縁部1/7、摩耗
第74図	129	R 228	S B 32	土師器	小型丸底甕	7.6		8.4	外面：ヨコナデ・ハケメ 内面：ヨコナデ・ヘラケズリ	色調（外内）：褐色・橙色 焼成：良 微細な砂を少なく含み、赤褐色粒子を含む。精良。	口縁部1/2欠損
第74図	130	R 216	S B 32	土師器	坏	11.4		3.3	外面：ヨコナデ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	色調（外内）：黄灰色・暗オリーブ灰色 焼成：良 胎土：2mmの砂礫を含む。7mmの安山岩、礫を含む。	口縁部下1/5
第74図	131	R 218	S B 32	土師器	坏	10		2.9	外面：不明摩耗・ナデ 内面：不明摩耗・ナデ	色調（外内）：褐色・にぶい褐色 焼成：良 微細な砂を含み、赤褐色粒子を含む。精良。	口縁部1/10
第74図	132	R 219	S B 32	土師器	甕			4.25	外面：不明 内面：不明	色調（外内）：にぶい黄褐色・灰黄褐色 焼成：良 胎土：4mmの砂礫を含み、角閃石、石英等を含む。	口縁部小片
第74図	133	R 217	S B 32	土師器	高坏？	17		3.45	外面：ヨコナデ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	色調（外内）：黄灰色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を少量含む。	口縁部下1/8
第75図	134	R 481	S B 33	縄文式 土 器	深鉢	35.4		17.7	外面：ヘラミガキ 内面：ナデ	色調（外内）：灰黄褐色・灰黄褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂礫を含み、白色砂、角閃石等を含む。	屈曲部1/6
第75図	135	R 480	S B 33	縄文式 土 器	浅鉢	24.6		7.6	外面：ヘラミガキ 内面：ヘラミガキ	色調（外内）：灰黄褐色・灰黄褐色 焼成：良 胎土：1.5mmの砂礫を含み、片岩、角閃石等を含む。	屈曲部1/6
第75図	136	R 676	S B 33	縄文式 土 器	鉢			3.9	外面：ヘラミガキ 内面：ヘラミガキ	色調（外内）：にぶい黄褐色・灰黄褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂を含み、白色砂、角閃石等を含む。	口縁部小片
第75図	137	R 1417	S B 33	縄文式 土 器	鉢			2.5	外面：ナデ・キザミ 内面：ナデ	色調（外内）：灰黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂を含み、雲母、白色砂等を含む。	口縁部小片
第75図	138	R 1418	S B 33	縄文式 土 器	鉢			2.6	外面：ナデ 内面：ヘラミガキ	色調（外内）：灰黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：0.5mmの砂を少量含む。	口縁部小片
第75図	139	R 84	S B 34	縄文式 土 器	深鉢	24.3		9.8	外面：ヘラミガキ 内面：不明	色調（外内）：にぶい黄褐色・灰黄褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂礫を含み、片岩等を含む。	口縁部1/8
第75図	140	R 483	S B 34	縄文式 土 器	深鉢	24		9.45	外面：ヘラミガキ・不明 内面：ヘラミガキ	色調（外内）：にぶい褐色・褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂礫を含み、片岩等を含む。	口縁部1/8
第75図	141	R 83	S B 34	縄文式 土 器	深鉢	29.6		7.3	外面：ヘラミガキ 内面：糸痕文	色調（外内）：にぶい褐色・褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂礫を含み、片岩等を含む。	口縁部1/10
第75図	142	R 79	S B 34	縄文式 土 器	深鉢			7.7	外面：ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：灰黄褐色・黄灰色 焼成：良 胎土：3mmの砂礫を多量に含み、片岩、石英等を含む。	口縁部小片
第75図	143	R 80	S B 34	縄文式 土 器	深鉢			8.1	外面：糸痕文 内面：糸痕文	色調（外内）：褐灰色・黄灰色 焼成：良 胎土：3mmの砂礫を含み、片岩、角閃石、石英等を含む。	口縁部小片
第75図	144	R 482	S B 34	縄文式 土 器	鉢		3.7	1.4	外面：不明 内面：ナデ	色調（外内）：明赤褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂を含み、角閃石等を含む。	底部2/3
第75図	145	R 81	S B 34	縄文式 土 器	鉢		8.3	2.15	外面：ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：明赤褐色・褐灰色 焼成：良 胎土：1mmの砂礫を含み、片岩等を含む。	底部1/5

棟図	遺物番号	実測番号	出土遺情	器種	種別	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	調 整	色調・胎土・焼成	備 考
第75図	146	R 82	S B34	縄文式土器	鉢		5.9	4.4	外面：条痕文・ナデ 内面：条痕文・ナデ	色調（外内）：橙色・にぶい橙色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩等を含む。	底部1/1
第76図	147	R 484	S B34	弥生式土器	甕	29.2		5.7	外面：ヨコナデ・ハケメ 内面：ヨコナデ・ナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・灰白色 焼成：良 胎土：1.5mmの砂を含み、片岩等を含む。	口縁部1/6
第76図	148	R 221	S B34	弥生式土器	器台	11.8	14	15.2	外面：ヨコナデ・ハケメ 内面：ヨコナデ・ハケメ・ナデ	色調（外内）：橙色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：0.5mmの砂を含み、片岩、角閃石等を含む。	1/3
第76図	149	R 223	S B34	弥生式土器	坏	13.9		3.4	外面：ヨコナデ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩、角閃石等を含む。	口縁部1/8
第76図	150	R 222	S B34	弥生式土器	器台		14.8	8.45	外面：ハケメ・ヨコナデ 内面：ナデ・ヨコナデ	色調（外内）：橙色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩等を含む。	裾部1/5
第76図	151	R 225	S B35	土師器	壺			4.5	外面：ヨコナデ・ナデ 内面：ナデ・ヨコナデ	色調（外内）：橙色・橙色 焼成：良 胎土：微細な砂を少量含む。精良。	胴部1/4
第76図	152	R 224	S B35	土師器	甕	15		3.9	外面：ヨコナデ・不明 内面：ヨコナデ・ハケメ・ヘラケズリ	色調（外内）：にぶい橙色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：3mmの砂を含み、片岩、角閃石等を含む。	口縁部1/6
第76図	153	R 226	S B35	土師器	高坏	16		4.15	外面：ヨコナデ・ハケメ 内面：ヨコナデ	色調（外内）：橙色・橙色 焼成：良 胎土：1.5mmの砂を少量含む。	口縁部1/8
第76図	154	R 489	S B36	土師器	壺	9.5		11.5	外面：ヨコナデ・不明・ハケメ 内面：不明	色調（外内）：橙色・橙色 焼成：良 胎土：6mmの砂を含み、長石、白色砂等を含む。	ほぼ完形
第76図	155	R 491	S B36	土師器	甕	17.8		4.75	外面：ハケメ後ヨコナデ・ハケメ 内面：ハケメ後ヨコナデ・ナデ・ヘラケズリ	色調（外内）：橙色・灰黄褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂を含み、片岩、角閃石等を含む。	口縁部1/4
第76図	156	R 231	S B36	土師器	甕	24		12	外面：不明・ナデ 内面：不明	色調（外内）：橙色・橙色 焼成：良 胎土：5mmの砂を含み、片岩、角閃石、石英等を含む。	口縁部1/4、摩耗
第76図	157	R 230	S B36	弥生式土器	甕		6.5	6.95	外面：不明 内面：不明	色調（外内）：橙色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂を含み、片岩、角閃石、石英、赤褐色粒等を含む。	底部1/1、摩耗著しい
第76図	158	R 254	S B36	土師器	甕			22.05	外面：ハケメ・ナデ 内面：ヘラケズリ	色調（外内）：灰黄褐色・褐灰色 焼成：良 胎土：3mmの砂を含み、片岩、石英等を含む。	胴部1/2 胴幅23.2~27mm
第76図	159	R 229	S B36	土師器	高坏	15.8		4.3	外面：ハケメ後ヨコナデ 内面：ハケメ後ヨコナデ	色調（外内）：橙色・橙色 焼成：良 胎土：微細な砂を含み、1~2mmの白色砂を含み。	坏1/1
第76図	160	R 488	S B36	土師器	高坏	19.1		8.4	外面：不明・ヘラケズリ 内面：不明	色調（外内）：にぶい橙色・褐色 焼成：良 胎土：1.5mmの砂を少量含む、片岩、長石、白色砂等を含む。	口縁部1/4、摩耗
第76図	161	R 490	S B36	土師器	高坏	21		5.3	外面：ヨコナデ・不明 内面：不明・ヘラミガキ	色調（外内）：橙色・褐色 焼成：良 胎土：0.5mmの砂を含む。精良。	口縁部1/6、摩耗
第76図	162	R 675	S B36	土師器	ミニチュア土器	3.6		2.2	外面：回転ナデ・ユビオサエ 内面：回転ナデ	色調（外内）：にぶい褐色・明赤褐色 焼成：良 胎土：微細な砂を少量含む。	完形
第77図	163	R 485	S B37	土師器	坏	12.2		4.2	外面：ヨコナデ・ハケメ後ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：にぶい褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：微細な砂を少量含む、赤褐色粒等を含む。やや精良。	底部1/4、摩耗
第77図	164	R 486	S B37	土師器	高坏		14.2	7.5	外面：ナデ・ハケメの残るヨコナデ 内面：シボリ直・ヘラケズリ・ナデ・	色調（外内）：灰黄褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：微細な砂を少量含む。精良。	脚部柱1/1
第77図	165	R 85	S B38	縄文式土器	深鉢	39.2		23.3	外面：条痕文 内面：ナデ・不明	色調（外内）：にぶい黄褐色・にぶい黄色 焼成：良 胎土：2mmの砂を含み、片岩等を含む。	口縁部1/4
第77図	166	R 541	S B38	縄文式土器	鉢	28		16.7	外面：ヘラミガキ 内面：ヘラミガキ	色調（外内）：にぶい褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂をやや多く含む、片岩、角閃石等を含む。	口縁部1/2
第77図	167	R 86	S B38	縄文式土器	鉢	27.8		13.9	外面：ヘラミガキ 内面：ヘラミガキ	色調（外内）：にぶい褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：3mmの砂を含む。	口縁部1/6
第77図	168	R 492	S B38	縄文式土器	深鉢			6.2	外面：キザミ・ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：3mmの砂をやや多量に含む、片岩、角閃石等を含む。	口縁部小片
第77図	169	R 1368	S B38	縄文式土器	浅鉢			3.1	外面：ヘラミガキ・不明 内面：ヘラミガキ	色調（外内）：明褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩、角閃石等を含む。	口縁部小片
第77図	170	R 1515	S B38	縄文式土器	鉢			2.65	外面：ヘラミガキ 内面：ヘラミガキ	色調（外内）：明褐色・明褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂を含み、片岩、角閃石等を含む。	口縁部小片
第77図	171	R 495	S B38	縄文式土器	鉢		8	3.8	外面：不明 内面：ナデ	色調（外内）：褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩、角閃石等を含む。	底部1/3
第77図	172	R 493	S B38	縄文式土器	鉢		6.4	2.5	外面：ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：褐色・褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩等を含む。	底部2/5
第77図	173	R 651	S B38	縄文式土器	注口土器	長さ 3.3	幅 1.8	厚さ 1.5	ヘラミガキ	色調（外内）：にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂をやや多く含む、石英、雲母等を含む。	注口、厚さ（最大）1.65mm（最小）1.2mm
第78図	174	R 494	S B39	縄文式土器	浅鉢	21		7.1	外面：条痕文 内面：不明・ナデ	色調（外内）：にぶい褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩等を含む。	口縁部下1/6
第78図	175	R 1369	S B39	縄文式土器	浅鉢			2.7	外面：キザミ・ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：にぶい褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩等を含む。	口縁部小片
第78図	176	R 496	S B40	縄文式土器	深鉢	29		25.1	外面：ヘラミガキ 内面：不明	色調（外内）：黒褐色・黒褐色 焼成：良 胎土：6mmの砂を含み、片岩、角閃石、石英等を含む。	口縁部下1/8
第78図	177	R 88	S B40	縄文式土器	浅鉢	28.1		5.2	外面：ヘラミガキ 内面：ナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・灰白色 焼成：良 胎土：2mmの砂を含み、片岩等を含む。	口縁部1/2
第78図	178	R 499	S B40	縄文式土器	鉢	13.7		5.2	外面：ヘラミガキ 内面：ヘラミガキ	色調（外内）：にぶい褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩、角閃石等を含む。	4/5、焼成前穿孔
第78図	179	R 87	S B40	縄文式土器	鉢		8	3.4	外面：条痕文・ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・褐灰色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、角閃石、石英等を含む。	底部1/4
第78図	180	R 611	S B40	縄文式土器	鉢	4.6		2.45	外面：ヘラミガキ 内面：ナデ	色調（外内）：にぶい褐色・褐灰色 焼成：良 胎土：2mmの砂を含み、片岩等を含む。	底部1/3
第78図	181	R 498	S B40	土師器	坏	13.7		5.2	外面：ヨコナデ・ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：褐色・褐色 焼成：良 胎土：微細な砂を少量含む、赤褐色粒等を含む。精良。	完形
第78図	182	R 609	S B40	土師器	坏	13.6		4	外面：ヨコナデ・不明・ハケメ 内面：ヨコナデ・ハケメ	色調（外内）：にぶい褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：0.5mmの砂を少量含む、赤褐色粒等を含む。やや精良。	口縁部1/10
第78図	183	R 613	S B40	土師器	坏	14.8		5.2	外面：ヨコナデ・不明 内面：ヨコナデ・不明	色調（外内）：褐色・褐色 焼成：良 胎土：微細な砂を少量含む。精良。	口縁部下1/8
第78図	184	R 608	S B40	土師器	甕	16		4	外面：ハケメ 内面：ヨコナデ・ハケメ	色調（外内）：灰白色・灰黄褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂を含み、片岩、角閃石等を含む。	口縁部1/8
第78図	185	R 504	S B40	土師器	甕	15.4		19.4	外面：不明・ハケメ 内面：不明・ヘラケズリ	色調（外内）：にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：5mmの砂を含み、礫、片岩、石英等を含む。	口縁部1/3
第78図	186	R 501	S B40	土師器	甕			14.9	外面：ハケメ後ナデ・ハケメ 内面：ヘラケズリ・粗いナデ	色調（外内）：にぶい褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：微細な砂を少量含む。精良。	胴部1/2
第78図	187	R 614	S B40	土師器	甕			7.9	外面：ヨコナデ・ハケメ 内面：ハケメ・ヘラケズリ	色調（外内）：にぶい黄褐色・灰黄褐色 焼成：良 胎土：3mmの砂を含み、片岩等を含む。	屈曲部1/8
第79図	188	R 497	S B40	土師器	坏	11		6.6	外面：ヨコナデ・ハケメ 内面：ヨコナデ・ヘラケズリ・ナデ	色調（外内）：黒色・褐色 焼成：良 胎土：微細な砂を少量含む、赤褐色粒等を含む。精良。	完形
第79図	189	R 503	S B40	土師器	高坏	17.2	13	13	外面：不明・ヘラケズリ 内面：不明	色調（外内）：褐色・褐色 焼成：良 胎土：微細な砂を少量含む、赤褐色粒等を含む。精良。	3/4
第79図	190	R 610	S B40	土師器	鉢	18	8.8	11.4	外面：ナデ・ハケメ・ヘラミガキ 内面：ハケメ後ナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：微細な砂を少量含む。精良。	1/2
第79図	191	R 502	S B40	土師器	高坏	18.9		6.6	外面：ヨコナデ・ハケメ・ナデ・不明 内面：ヨコナデ・ハケメ	色調（外内）：褐色・褐色 焼成：良 胎土：微細な砂を少量含む。精良。	坏部ほぼ完形
第79図	192	R 500	S B40	土師器	高坏	17		5	外面：ヨコナデ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	色調（外内）：にぶい褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：微細な砂を少量含む。精良。	屈曲部1/4
第79図	193	R 612	S B40	土師器	把手	長さ 4.9	厚さ 2.4	高さ 4.3	ナデ ハケメ	色調（外内）：にぶい褐色・浅黄褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂を含み、片岩、白色砂等を含む。	1/1
第79図	194	R 1167	K04	縄文式土器	深鉢		7.7	14.8	外面：ナデ 内面：ナデ・不明	色調（外内）：褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を多く含む、片岩等を含む。	底部1/1

挿図	遺物 番号	実測 番号	出土遺構	器種	種別	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	調 整	色調・胎土・焼成	備 考
第79図	195	R 711	S K78	弥生式 土 器	甕	26		3.7	外面：ヨコナデ・ハケメ 内面：ハケメ後ヨコナデ?・ハケメ後ナデ?	色調（外内）：褐灰色・灰黄色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩、角閃石等を含む。	口縁部下1/6、口縁槽内形
第79図	196	R 710	S K78	弥生式 土 器	甕		10.8	9.65	外面：ハケメ・未調整 内面：ナデ	色調（外内）：浅黄色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：1.5mmの砂を含み、片岩等を含む。	底部
第79図	197	R 712	S K78	弥生式 土 器	鉢	28.2		4.2	外面：不明 内面：不明	色調（外内）：褐色・にぶい黄色 焼成：良 胎土：3mmの砂を含み、片岩、角閃石等を含む。	口縁部1/10、摩耗著しい
第79図	198	R 966	S K78	弥生式 土 器	鉢	28		5.2	外面：不明 内面：不明	色調（外内）：褐色・褐色 焼成：良 胎土：2mmの砂を含み、黄灰色砂等を含む。	口縁部1/10、摩耗
第80図	199	R 929	S D05	縄文式 土 器	深鉢		11.8	4.9	外面：条痕文・未調整 内面：ナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：3mmの砂を含み、白色砂礫、長石、角閃石等を含む。	底部1/1
第80図	200	R 917	S D05	土師器	坏	19		4	外面：ナデ・ハケメ 内面：ハケメ後ナデ	色調（外内）：褐色・褐色 焼成：良 胎土：微細な砂を少量含み、赤褐色粒等を含む。精良。	口縁部2/3
第80図	201	R 931	S D06	弥生式 土 器	甕	32		10.9	外面：ヨコナデ・ハケメ 内面：ナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩等を含む。	口縁部1/6
第80図	202	R 1355	S D06	弥生式 土 器	壺			4.25	外面：不明 内面：ナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 焼成：良 胎土：0.5mmの砂を含む。	口縁部小片、外面丹塗
第80図	203	R 930	S D06	弥生式 土 器	甕		8.1	5.8	外面：ハケメ・ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：褐色・オリーブ黒色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩等を含む。	底部3/4
第80図	204	R 932	P 01	弥生式 土 器	鉢	26.2		4.4	外面：ヨコナデ・ハケメ 内面：不明・ナデ	色調（外内）：浅黄褐色・浅黄褐色 焼成：良 胎土：1mmの砂を含み、片岩、角閃石等を含む。	口縁部1/10
第80図	205	R 1446	11号レンヂ	須恵器	蓋坏			3	外面：回転ナデ・回転ヘラケズリ 内面：回転ナデ	色調（外内）：灰白・灰黄色 焼成：良 胎土：微細な砂を少量含む。	受け部1/7
第80図	206	R 1445	11号レンヂ	須恵器	器台			5.4	外面：回転ナデ・カキメ・波状文 内面：回転ナデ	色調（外内）：灰色・灰色 焼成：良 胎土：4mmの砂礫を少量含み、白色砂礫等を含む。	裾部小片
第80図	207	R 1185	11号レンヂ	土製品	支脚	1.9	6.05	5.25	外面：不明・ナデ 内面：シボリ痕・ヨコナデ	色調（外内）：褐色・褐色 焼成：良 胎土：微細な砂を少量含み、赤褐色粒等を含む。	瓦形
第80図	208	R 1448	12号レンヂ	土師器	坏	13.3		3.9	外面：ナデ・ヘラミガキ 内面：ヘラミガキ	色調（外内）：褐色・褐色 焼成：良 胎土：微細な砂を少量含む。精良。	口縁部1/6
第80図	209	R 730	12号レンヂ	土師器	坏	14.1		5.1	外面：ヨコナデ・ハケメ 内面：ヨコナデ・ハケメ	色調（外内）：褐色・褐色 焼成：良 胎土：0.5mmの砂を含み、片岩等を含む。	口縁部1/3
第80図	210	R 1447	12号レンヂ	土師器	壺	32		9.1	外面：ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：にぶい褐色・灰褐色 焼成：良 胎土：1.5mmの砂を含み、片岩等を含む。	口縁部下1/8
第80図	211	R 1186	12号レンヂ	土製品	支脚	3.3	8.4	4.8	外面：ナデ 内面：ナデ	色調（外内）：にぶい黄褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：3mmの砂礫を多く含み、片岩等を含む。	瓦形
第80図	212	R 1530	表採	縄文式 土 器	鉢		6.1	2.8	外面：不明 内面：不明	色調（外内）：褐色・にぶい褐色 焼成：良 胎土：～3mmの砂礫を多く含み、片岩等を含む。	底1/1、摩耗

表4 アモメ遺跡3地点 出土土製品観察表

挿図 番号	遺物 番号	実測 番号	出土 遺構	器種	材質	長さ (c m)	幅 (c m)	厚さ (c m)	重さ (g)	色調	備考
第82図	1	R 674	S B 32	紡錘車		4.8	4.4	0.5		色調(外内): 橙色・にぶい 黄橙色 施成: 良	4/5 土器転用
第82図	2	R 646	S K 78	投弾	微細な砂を 少量含む	5.2	2.7	2.75	30.1	暗灰黄	完形
第82図	3	R 657	S K 78	投弾	微細な砂を 少量含む	5	2.7	2.55	27.2	にぶい黄橙	完形
第82図	4	R 659	S K 78	投弾	微細な砂を 少量含む	4.85	2.5	2.5	26	にぶい黄橙	完形
第82図	5	R 648	S K 78	投弾	微細な砂を 少量含む	4.9	2.6	2.7	28	にぶい黄	完形
第82図	6	R 649	S K 78	投弾	微細な砂を 少量含む	4.8	2.55	2.7	24.3	灰黄褐	完形
第82図	7	R 647	S K 78	投弾	微細な砂を 少量含む	4.9	2.4	2.5	25.2	黄褐	完形
第82図	8	R 654	S K 78	投弾	微細な砂を 少量含む	5	2.7	2.6	27.5	暗灰黄	完形
第82図	9	R 652	S K 78	投弾	微細な砂を 含む	5.45	2.6	2.6	26	にぶい橙	完形
第82図	10	R 656	S K 78	投弾	微細な砂を 少量含む	4.6	2.65	2.55	24.1	暗灰黄	4/5
第82図	11	R 650	S K 78	投弾	微細な砂を 少量含む	5	2.5	2.5	25.9	にぶい黄橙	完形
第82図	12	R 653	S K 78	投弾	微細な砂を 少量含む	5	2.5	2.55	24.8	にぶい黄橙	完形
第82図	13	R 660	S K 78	投弾	微細な砂を 少量含む	4.5	2.55	2.3	22.6	にぶい黄橙	4/5
第82図	14	R 662	S K 78	投弾	微細な砂を 少量含む	4.6	2.65	1.7	19.2	にぶい黄橙	3/5
第82図	15	R 663	S K 78	投弾	微細な砂を 少量含む	4.6	2.6	1.75	19.7	暗黄灰	3/5
第82図	16	R 655	S K 78	投弾	微細な砂を 少量含む	5.1	2.65	2.8	29.8	灰黄	完形
第82図	17	R 668	S K 78	投弾	微細な砂を 少量含む	4.2	1.9	2.7	15.2	にぶい黄橙	1/2
第82図	18	R 664	S K 78	投弾	微細な砂を 少量含む	4.15	2.2	2.5	14.4	黄灰	2/3
第82図	19	R 666	S K 78	投弾	微細な砂を 少量含む	4.5	1.7	2.5	17.9	灰黄褐	1/2
第82図	20	R 658	S K 78	投弾	微細な砂を 少量含む	4.95	2.6	1.9	21.5	にぶい黄橙	3/5
第82図	21	R 670	S K 78	投弾	微細な砂を 少量含む	4.1	2.1	1.75	13.9	暗灰黄	1/7
第82図	22	R 667	S K 78	投弾	微細な砂を 少量含む	3.9	2.6	1.4	11.6	褐灰	1/2
第82図	23	R 665	S K 78	投弾	微細な砂を 少量含む	3.4	2.2	2.15	14.4	にぶい黄	3/5
第82図	24	R 661	S K 78	投弾	微細な砂を 少量含む	4.6	2.55	2.1	19.1	暗灰黄	1/2
第82図	25	R 677	S K 78	投弾	微細な砂を 少量含む	2.7	2.3	1.9	8.5	暗灰黄	小片
第82図	26	R 669	S K 78	投弾	微細な砂を 少量含む	2.5	2.5	1.2	7.8	暗灰黄	1/6
第82図	27	R 671	S K 78	投弾	微細な砂を 少量含む	3.3	1.9	2.4	9.4	黄褐	1/4
第82図	28	R 672	S K 78	投弾	微細な砂を 少量含む	2.9	1.6	1.7	4.9	暗灰黄	小片
第82図	29	R 678	S K 78	投弾	微細な砂を 少量含む	2.75	1.6	2.4	8	にぶい黄橙	1/6
第82図	30	R 1002	S K 79	投弾	微細な砂を 少量含む	4.4	2.7	2.7	25.4	黄灰	完形
第82図	31	R 699	S K 79	投弾	微細な砂を 少量含む	4.4	2.7	2.6	23.7	にぶい黄橙	4/5

表5 アモメ遺跡3地点 出土石器・石製品観察表

挿図	遺物 番号	実測 番号	出土 遺構	器種	材質	長さ (c m)	幅 (c m)	厚さ (c m)	重さ (g)	色調	備考
第83図	1	R1117	S B22	剥片	サヌカイト	5.4	1.9	1.3	15.3	灰色	
第83図	2	R1020	S B24	石鏃	サヌカイト	2.8	1.7	0.5	1.7	灰色	
第83図	3	R1141	S B24	石鏃	黒曜石	6.4	1.75	0.8	7.5	黒	
第83図	4	R1150	S B31	石鏃	黒曜石	2	1	0.2	0.3	暗オリーブ灰	
第83図	5	R1128	S B31	石鏃	サヌカイト	2.7	1.7	0.3	1.1	オリーブ灰	
第83図	6	R1012	S B31	石鏃	片岩	2.3	1.7	0.3	1.1	明オリーブ灰	
第83図	7	R1018	S B31	石鏃	片岩	2.6	1.7	0.2	1	明オリーブ灰	
第83図	8	R673	S B31	石核?	黒曜石	2.6	2	1.6	5.6	黄灰	
第83図	9	R1015	S B34	石鏃	片岩	2.4	1.4	0.3	1.3	オリーブ灰	
第83図	10	R1021	S B34	石鏃	黒曜石	1.8	1.35	0.25	0.6	灰白	透明度高い
第83図	11	R1014	S B34	石匙	サヌカイト	3.7	2.3	0.4	3.9	灰白	
第83図	12	R1017	S B40	石鏃	黒曜石	2.2	1.3	3.5	1	黒	光沢がある
第83図	13	R1135	S K78	石鏃	サヌカイト	2.2	1.8	0.45	1	灰	
第83図	14	R1023	表採	石鏃	黒曜石	3.2	2	0.4	1.5	黒	
第84図	15	R1123	S B21	円盤型石器	片岩	8.4	8.4	1.1	117.4	灰色	
第84図	16	R1142	S B23	打製石斧	片岩	12.9	5.6	1.1	106	灰白	
第84図	17	R1055	S B25	砥石	石英・長石・斑岩	4.3	1.4	2.6	21	灰白	
第84図	18	R1056	S B25	砥石	石英・長石・斑岩	5.6	3.3	2.8	85.2	灰白	
第84図	19	R1057	S B25	砥石	石英・長石・斑岩	5.8	3.4	2.1	62	灰黄	
第84図	20	R1122	S B26	円盤型石器	片岩	9.65	9.9	1.6	138.7	灰黄	
第84図	21	R1125	S B26	石鏃	安山岩	3.9	3.4	1.9	29.1	灰白	
第84図	22	R1126	S B26	石鏃	安山岩	3.6	3.2	1.2	20.5	灰	
第84図	23	R1127	S B26	石鏃	安山岩	3.9	3.35	1.2	11.4	灰白	
第84図	24	R1116	S B26	不明	片岩	4.9	2.8	0.4	8.8	青灰	
第85図	25	R1132	S B31	石鏃	安山岩	5.1	4.1	1.6	52.5	灰白	
第85図	26	R1110	S B31	不明	片岩	8.1	4.3	0.7	38.6	オリーブ灰	
第85図	27	R1008	S B34	石鏃	安山岩	5.15	4.8	1.5	47.7	にぶい黄色	
第85図	28	R1073	S B35	不明	石英・長石・斑岩	4.2	5.5	2.2	81.9	灰白	砥石を転用?
第85図	29	R1120	S B36	円盤型石器	片岩	10.8	11.3	2.2	420	黄灰	
第85図	30	R1072	S B37	不明	安山岩	11.3	14.2	5.2	1220	灰黄褐	被熱? 褐灰色
第85図	31	R1103	S D05	石包丁	粘板岩?	4	3.6	0.8	18.1	灰	
第85図	32	R1088	11号トレンチ	砥石	石英・長石・斑岩	13(残存)	6.1	3.1	445	灰白	
第85図	33	R1067	12号トレンチ	砥石	石英・長石・斑岩	8.75	7.55	5.5	410	灰白	
第85図	34	R1093	表採	擦石	片岩	7.5	7.55	3.7	580	青灰	

(3) 総括

アモメ遺跡が所在する八女市柳瀬地区は、八女市の南西部に位置し、東と南は矢部川を挟んで八女市立花町に接する。矢部川氾濫常襲地帯であったため、護岸堤防を構築、堤防上を市道が通じる。西部を主要地方道が南北に走る。

居住地区は、東西に細長く延びた矢部川流域に形成される。平坦地で、米麦を主とする農業地域である。矢部川を利用して、かつては和紙製造が盛んであった。

柳瀬の地名は、矢部川の瀬で築を仕掛けて鮎などの川魚を取ることから起こったと言われている。鎌倉期に上妻氏が居住し、戦国期には中原五郎兵衛が居城したとされる中原城があったと伝えられ、この頃地内に紙漉が始まった。現在もこの地に中原姓が残っている。

これまで市内で縄文時代の遺跡としては、八女市の北側八女丘陵上にある八女市本の「立山遺跡」や八女市岩崎の「下山遺跡」、八女市今福の「今福遺跡」、市内西部の平野上にある八女市国武の「国武遺跡」が見つかっており、主に縄文早期のものがみついている。

今回、集落として竪穴住居がまとまった状態で見つかったのは、アモメ遺跡が初めてである。本遺跡の立地条件を考えると、現在は矢部川右岸の堤防直下に位置するが、当時堤防などはなかったもので、矢部川が氾濫するごとに被害を受けていたものと思われる。

特に1地点は最も矢部川に近く、地山も砂質土であった。縄文時代の遺構は検出されていないが、土器が表採としてみついている。1地点の北側に位置する3地点からは、縄文時代の竪穴式住居が16基検出された。住居は、調査区の北西を取り囲むように作られており、西側の自然流路に壊されているが、西側にも集落は広がっていたものと思われる。また、北画は調査区域外であるため、遺構の確認は出来ていないが、おそらく集落が続いていたと考えられる。

本遺跡で発見された竪穴住居の形状は、ほぼ円形で時期的な差はみられない。炉は、あるものもないもの2種類が見ついている。

これまで圃場整備事業として、周辺の発掘調査は行われてきたが、縄文時代の集落の発見は例がなく、八女市の縄文時代を考えるうえで非常に重要な遺跡のひとつとなった。集落の性格を考えるうえでも、今後の発掘による発見を期待する。

【参考文献】

八女市教育委員会 1993 『八女市文化財調査報告書 第29集』

「角川日本地名大辞典」編纂委員会 1988 『角川日本地名大辞典』40 福岡県

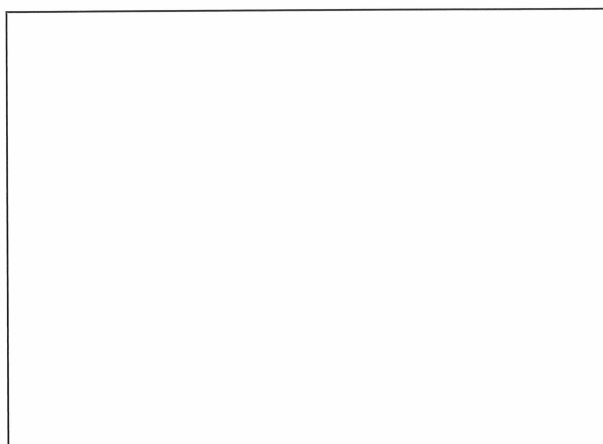
八女市史編さん委員会 1992 『八女市史上巻』

日本第四紀学会 小野 昭 春成 秀爾 小田 静夫 2008 『図説・日本の人類遺跡』

図 版

凡例

遺物写真のキャプションは、以下の通りである。



遺構名

図番号



(1) アモメ遺跡 全景 (北側上空から)



(1) アモメ遺跡 3 地点 全景 (北側上空から)

(1)

アモメ遺跡 1 地点
SB01 (南東から)



(2)

アモメ遺跡 1 地点
SB02 (南西から)



(3)

アモメ遺跡 1 地点
SB02 (手前)、
SB03 (南西から)



図版 4



(1) アモメ遺跡1地点 SB04 (北東から)



(2) アモメ遺跡1地点 K01 (南から)



(3) アモメ遺跡1地点 K02 (東から)



(4) アモメ遺跡1地点 SK01 (北西から)



(5) アモメ遺跡1地点 SK02 (北東から)



(1) アモメ遺跡 1 地点 SK03



(2) アモメ遺跡 1 地点 SK04 (南から)



(3) アモメ遺跡 1 地点 SK06 (西から)



(4) アモメ遺跡 1 地点 SK07 (北西から)



(5) アモメ遺跡 1 地点 SD02 (南西から)

図版 6



(1)

アモメ遺跡3地点

SB17 (西から)



(2)

アモメ遺跡3地点

SB18 (南から)



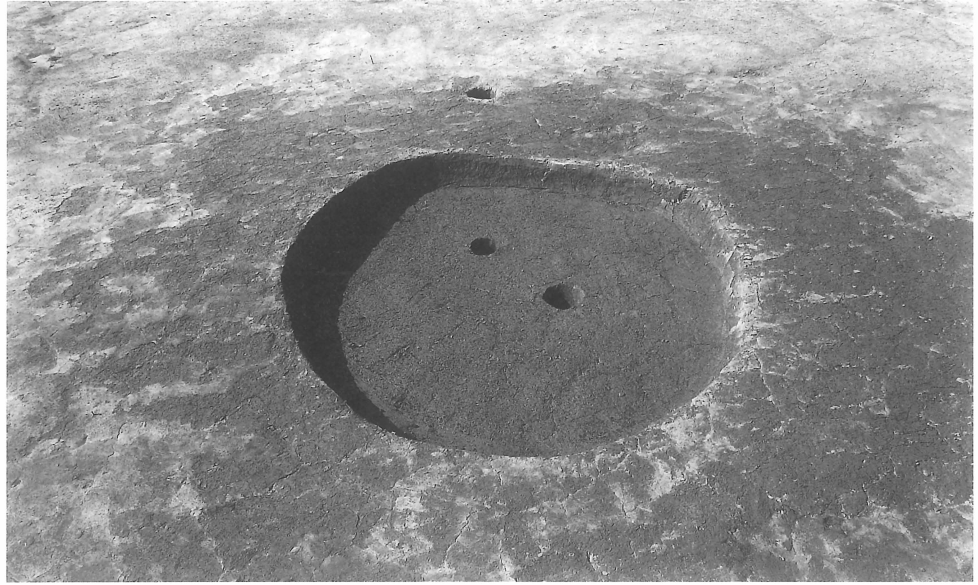
(3)

アモメ遺跡3地点

SB19 (北西から)

(1)

アモメ遺跡 3 地点
SB 20 (東から)



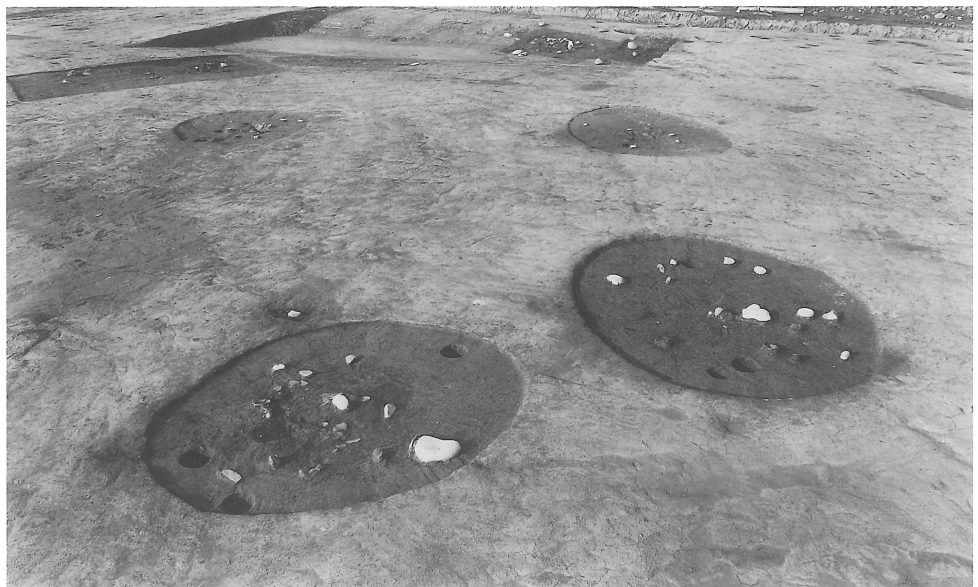
(2)

アモメ遺跡 3 地点
SB 21 (西から)



(3)

アモメ遺跡 3 地点
SB 22 (向かって
右側)、SB 23 (南
東から)



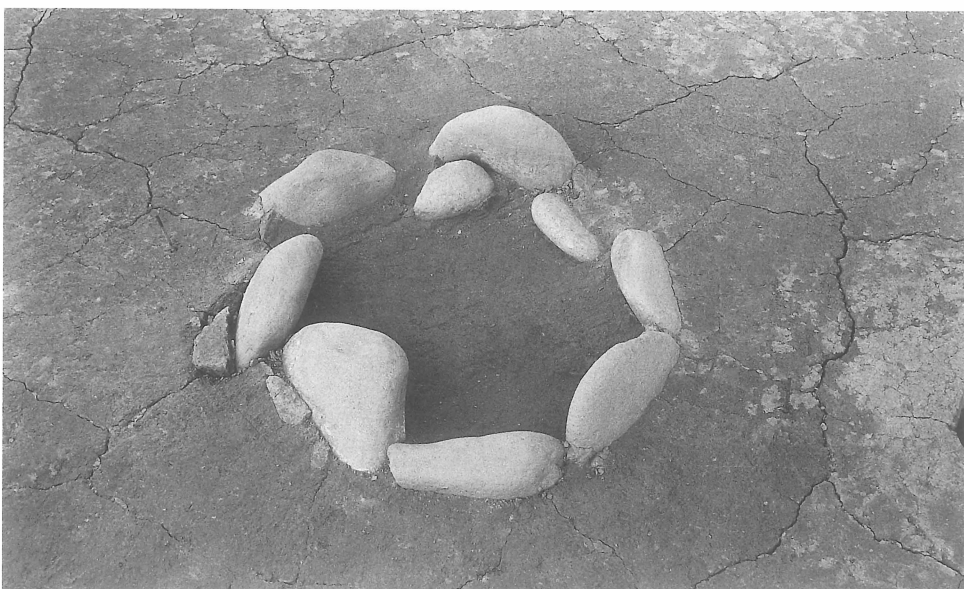
図版 8



(1)

アモメ遺跡3地点

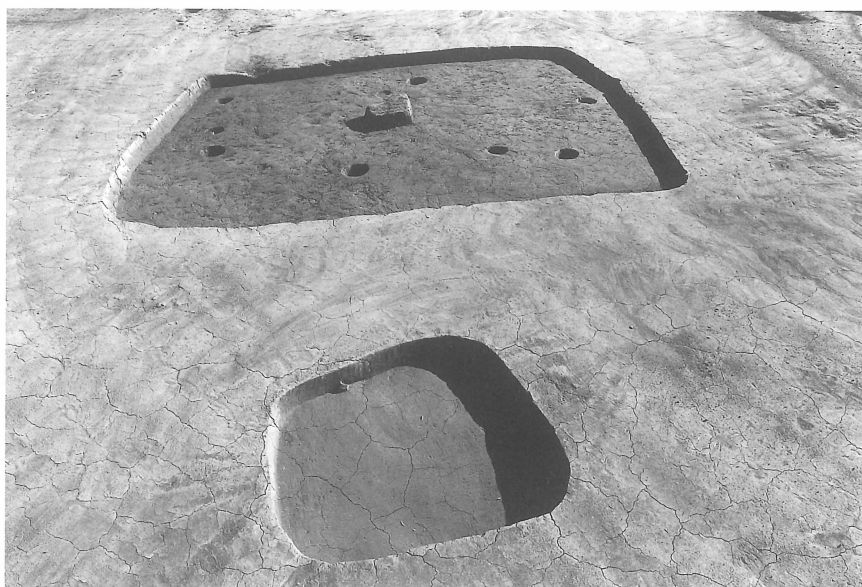
SB 24 (北西から)



(2)

アモメ遺跡3地点

SB 24 (石囲炉)



(3)

アモメ遺跡3地点

SB 25 (奥)、S

K 77 (北西から)

(1)

アモメ遺跡3地点
SB26 (北西から)



(2)

アモメ遺跡3地点
SB27 (向かって
左側)、SB29 (北
から)

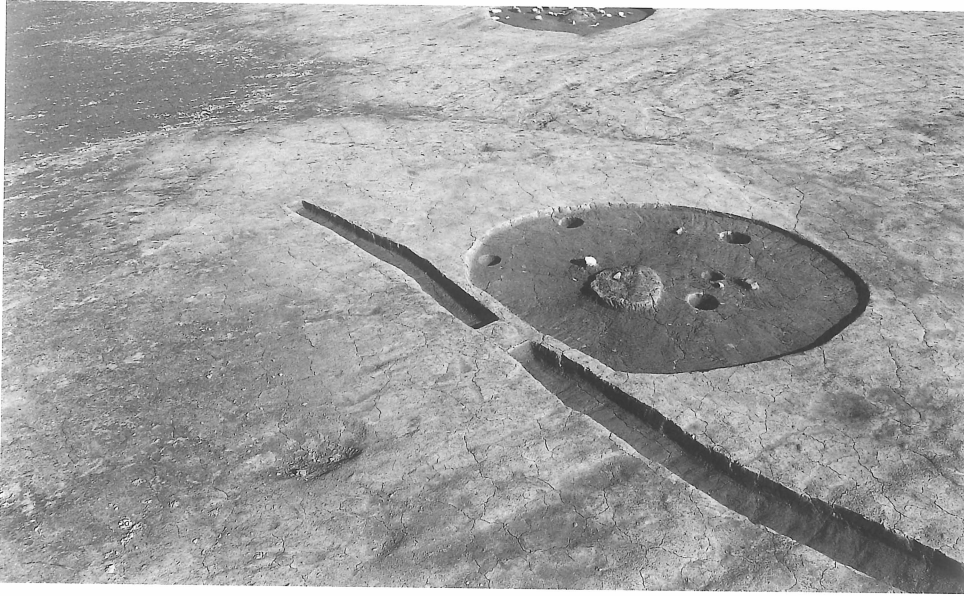


(3)

アモメ遺跡3地点
SB28 (東から)



図版 10



(1)
アモメ遺跡3地点
SB30、SD07
(西から)



(2)
アモメ遺跡3地点
SB31(北西から)



(3)
アモメ遺跡3地点
SB32(南西から)

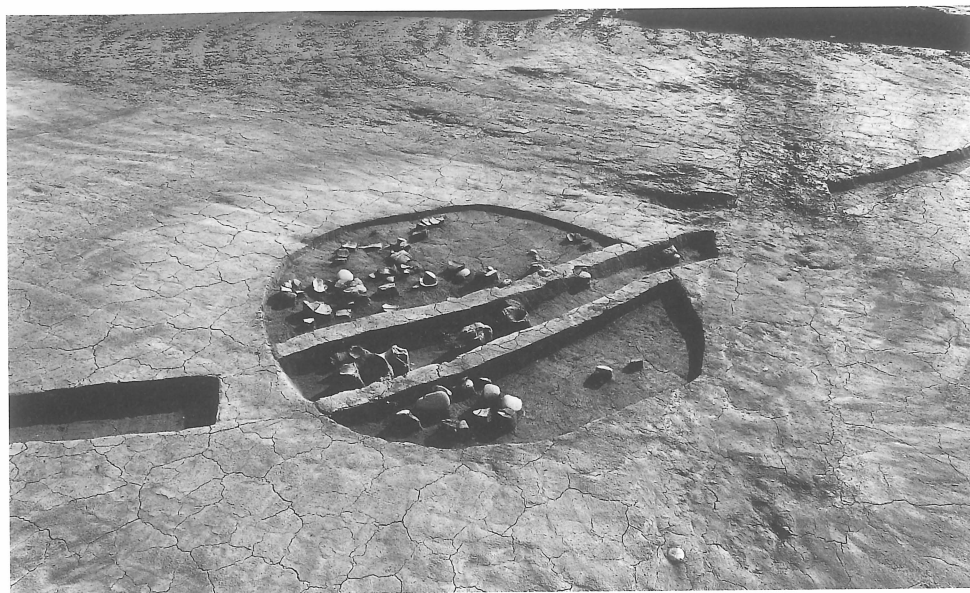
(1)

アモメ遺跡3地点
SB32 (向かって
右側)、SB33 (南
東から)



(2)

アモメ遺跡3地点
SB34 (北から)



(3)

アモメ遺跡3地点
SB35 (東から)



図版 12



(1)

アモメ遺跡3地点

SB36 (東から)



(2)

アモメ遺跡3地点

SB37 (西から)



(3)

アモメ遺跡3地点

SB38、SB39

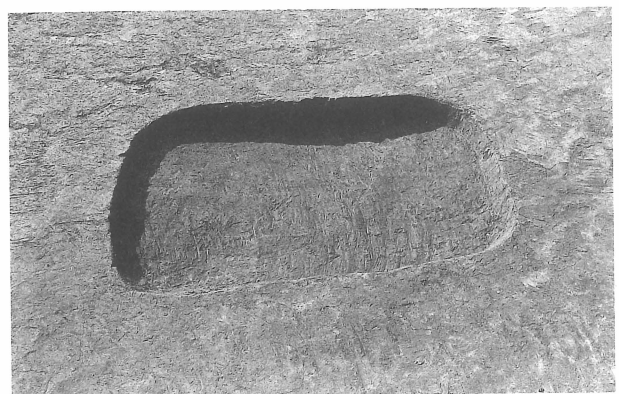
(東から)



(1) アモメ遺跡3地点 SB38 (西から)



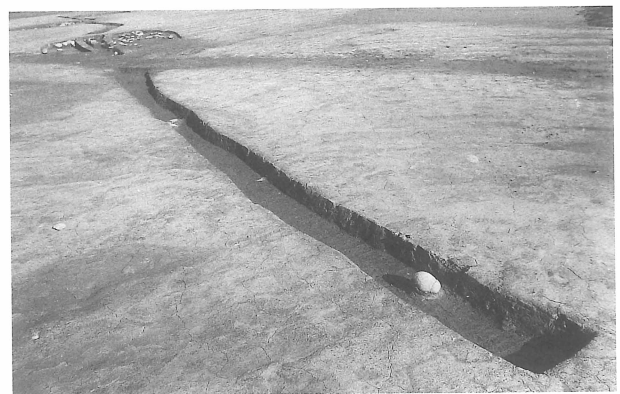
(2) アモメ遺跡3地点 SK78 (南東から)



(3) アモメ遺跡3地点 SK80 (東から)



(4) アモメ遺跡3地点 SD05 (南西から)



(5) アモメ遺跡3地点 SD06 (西から)

図版 14



(1) アモメ 1SB01

第18図-5~7



(2) アモメ 1SB01

第18図-12



(3) アモメ 1SB01

第18図-18



(4) アモメ 1SB02

第19図-20



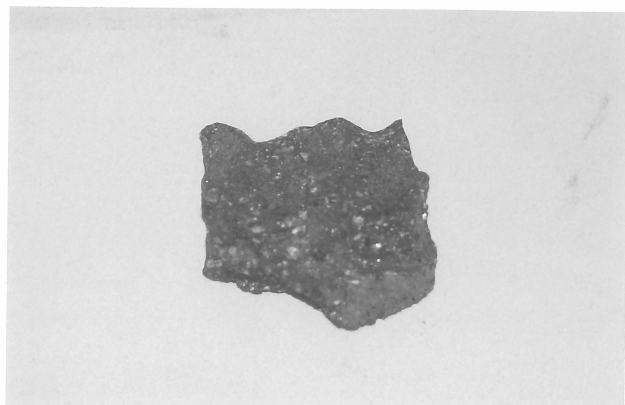
(5) アモメ 1SB03

第21図-55



(6) アモメ 1SK01

第23図-92



(7) アモメ 1SK01

第23図-93



(8) アモメ 1SK06

第24図-114



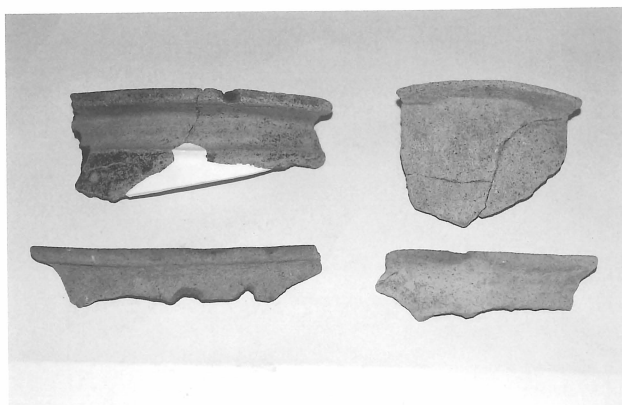
(9) アモメ 1SK01

第25図-128



(10) アモメ 1SD01

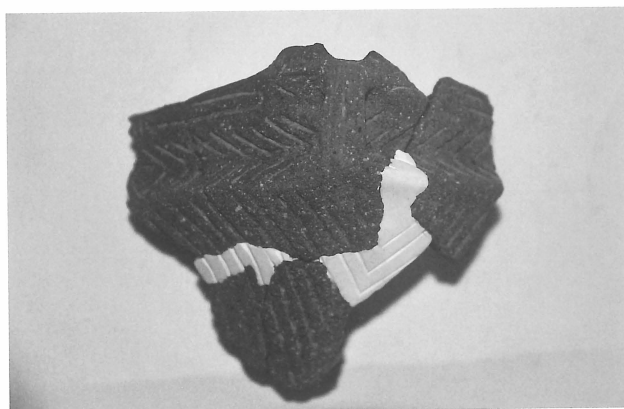
第26図-133



(11) アモメ 1SD01 第26図-130、131、132、136



(12) アモメ 1B13 第28・29図 164~167

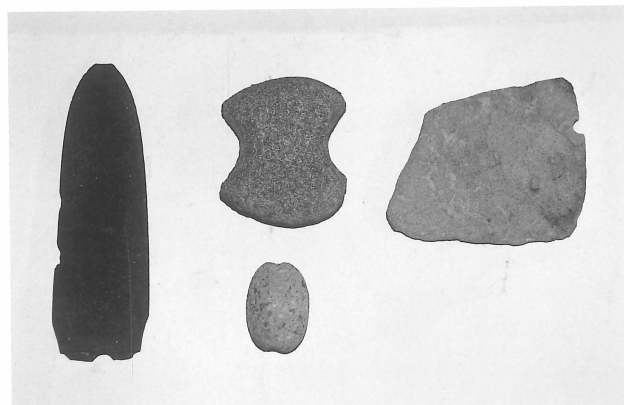


(13) アモメ 1表採

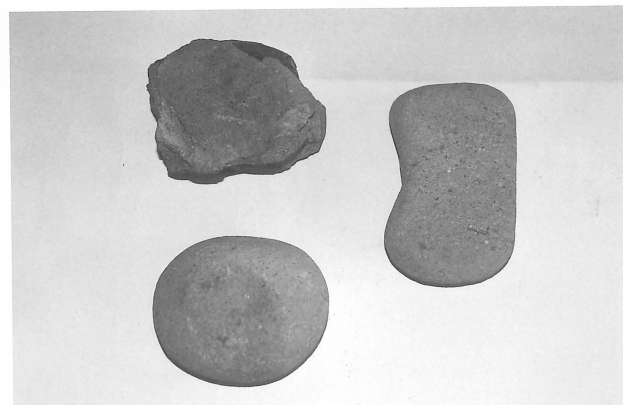
第29図 178



(14) アモメ 1C17表採、SB01、03、04、SD02、C61 第30図-1~6、8~13



(15) アモメ 1SD01、A5 第31図-17~18、24



(16) アモメ 1A3、B70 第31図-21・22・25

図版 16



(17) アモメ 3SB17

第67図-1



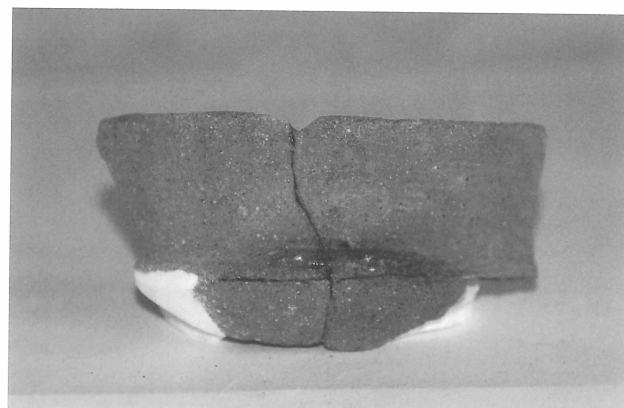
(18) アモメ 3SB17

第67図-2、3



(19) アモメ 3SB17

第67図-4



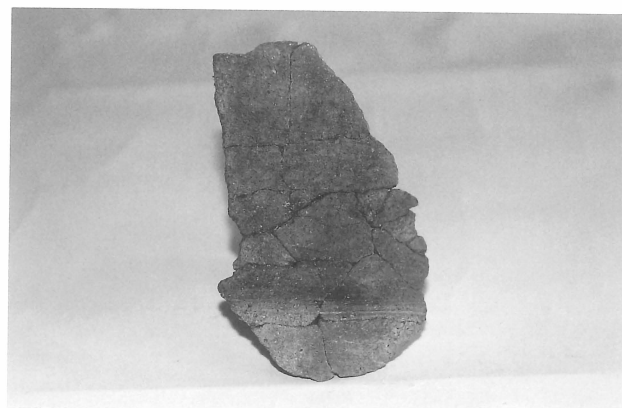
(20) アモメ 3SB18

第67図-5



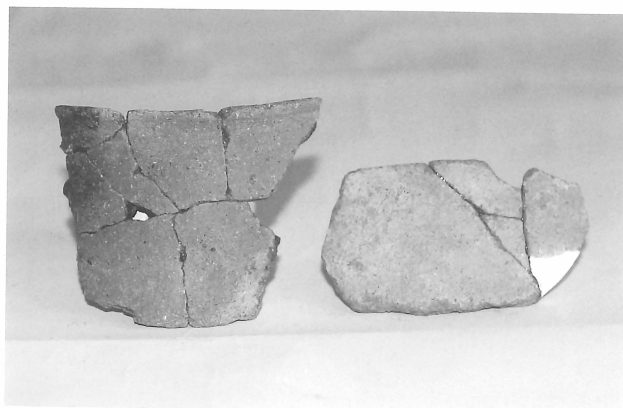
(21) アモメ 3SB18

第67図-6



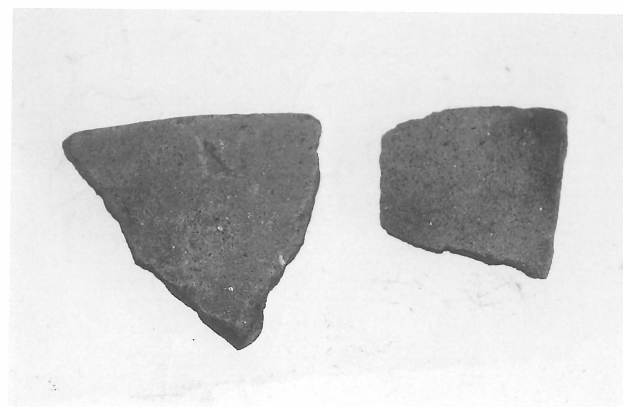
(22) アモメ 3SB21

第68図-23



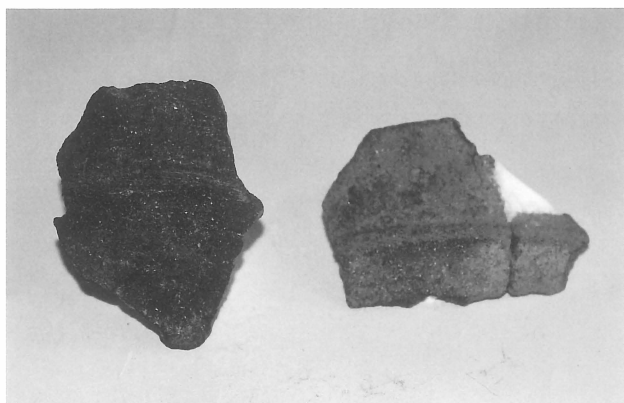
(23) アモメ 3SB21

第68図-24、27



(24) アモメ 3SB21

第68図-25、26



(25) アモメ 3SB22

第69図-28、29



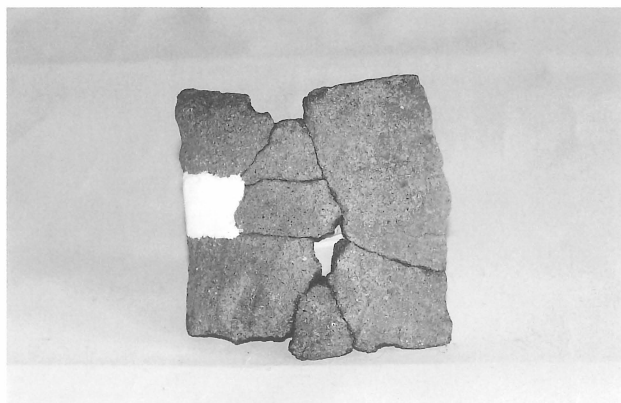
(26) アモメ 3SB22

第69図-31



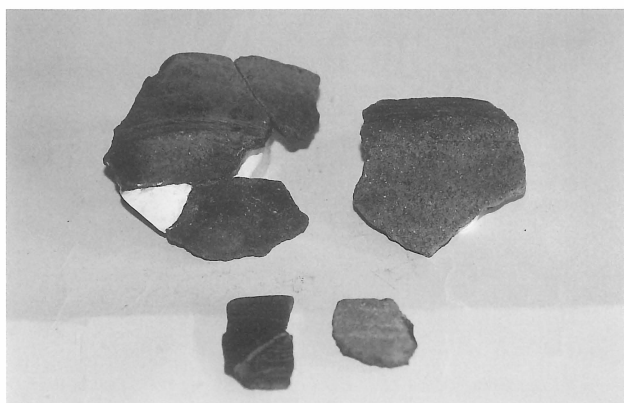
(27) アモメ 3SB22

第69図-33



(28) アモメ 3SB23

第69図-34



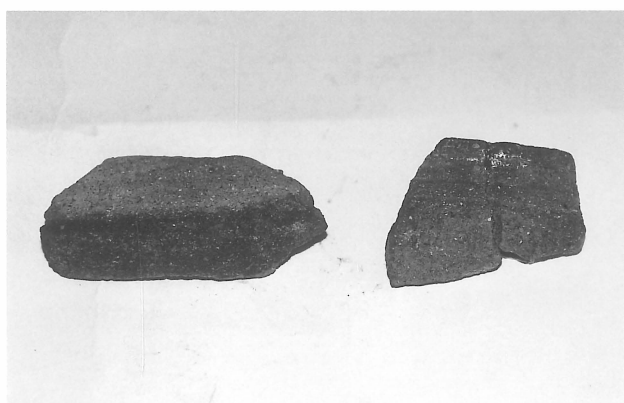
(29) アモメ 3SB23

第69図-35、41、42、46



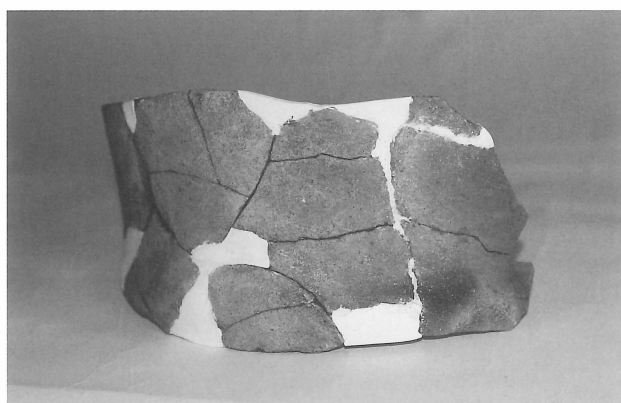
(30) アモメ 3SB24

第69図-44



(31) アモメ 3SB24

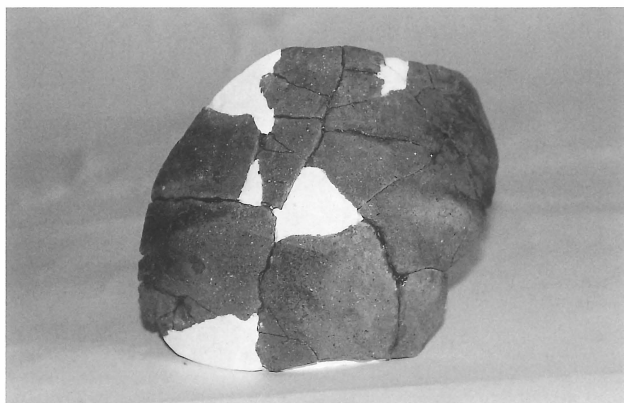
第70図-47、50



(32) アモメ 3SB26

第71図-60

図版 18



(33) アモメ 3SB26

第71図-61



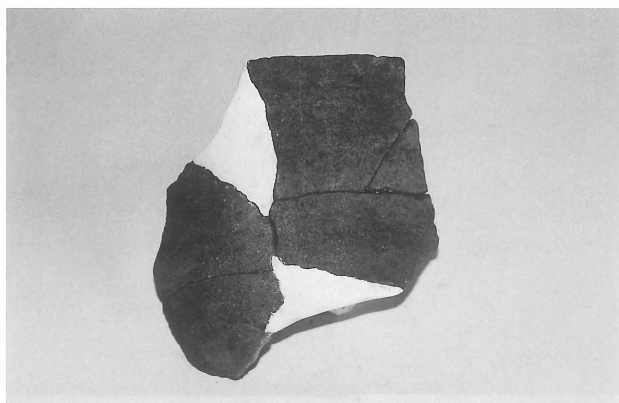
(34) アモメ 3SB26

第72図-69



(35) アモメ 3SB26

第71図-63



(36) アモメ 3SB26

第72図-73



(37) アモメ 3SB26 第72図-62、67、70、74、75



(38) アモメ 3SB27

第72図-77



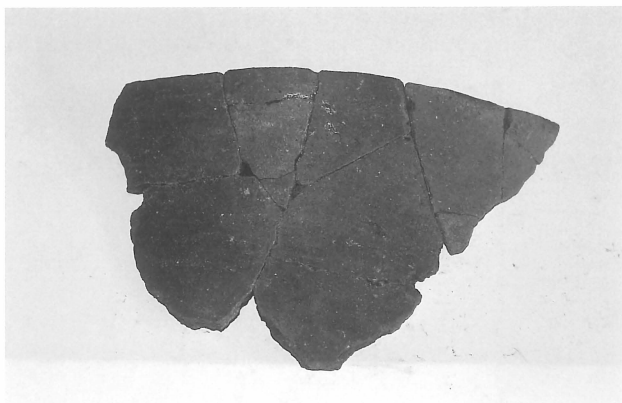
(39) アモメ 3SB29

第72図-80



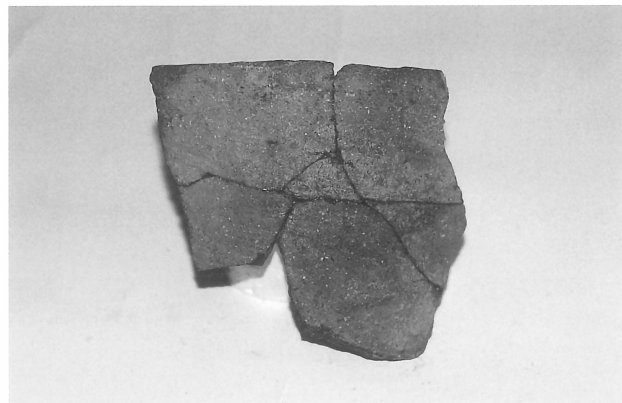
(40) アモメ 3SB30

第73図-94、95



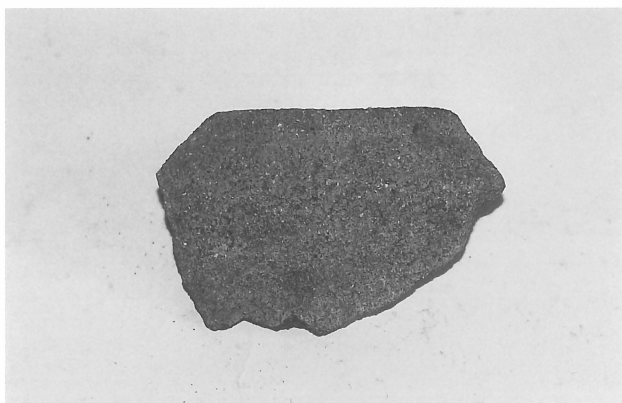
(41) アモメ 3SB31

第73図-96



(42) アモメ 3SB31

第74図-98



(43) アモメ 3SB31

第74図-101



(44) アモメ 3SB31

第74図-104



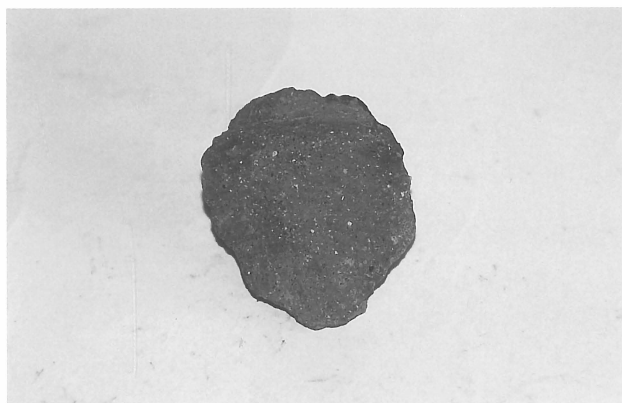
(45) アモメ 3SB31

第75図-107



(46) アモメ 3SB31

第75図-110



(47) アモメ 3SB31

第75図-111



(48) アモメ 3SB31

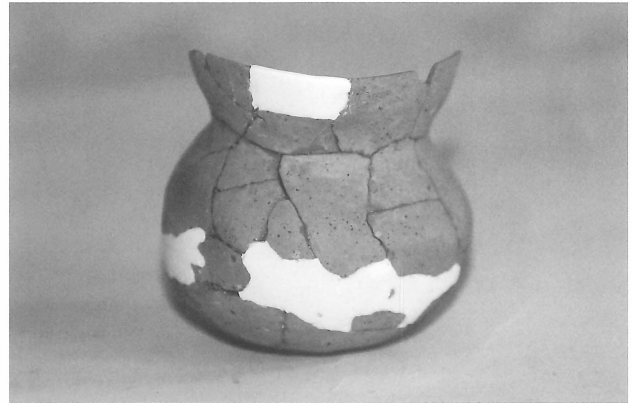
第75図-111

図版 20



(49) アモメ 3SB31

第75図-127



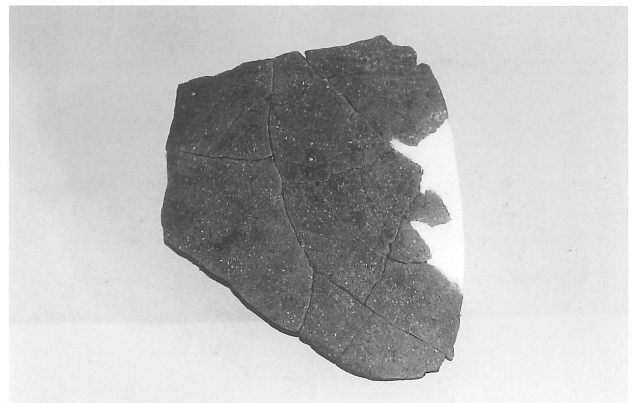
(50) アモメ 3SB32

第75図-129



(51) アモメ 3SB32

第75図-130



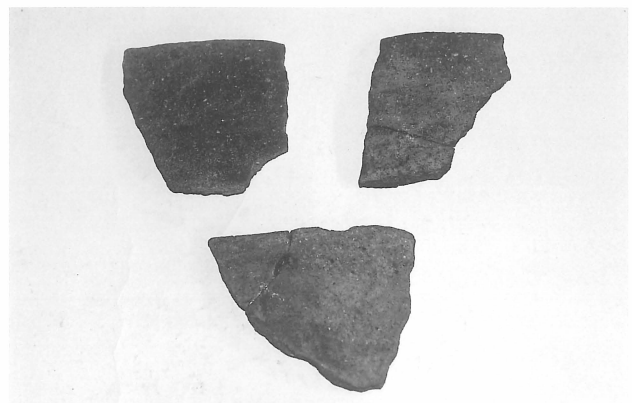
(52) アモメ 3SB33

第76図-134

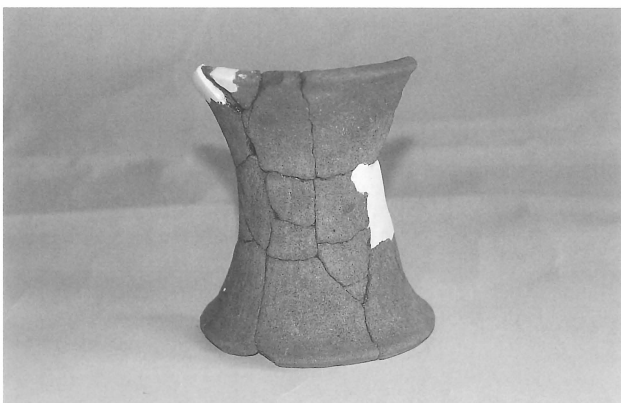


(53) アモメ 3SB34

第76図-139



(54) アモメ 3SB34 第76図-141~143



(55) アモメ 3SB34

第75図-148



(56) アモメ 3SB36

第77図-154



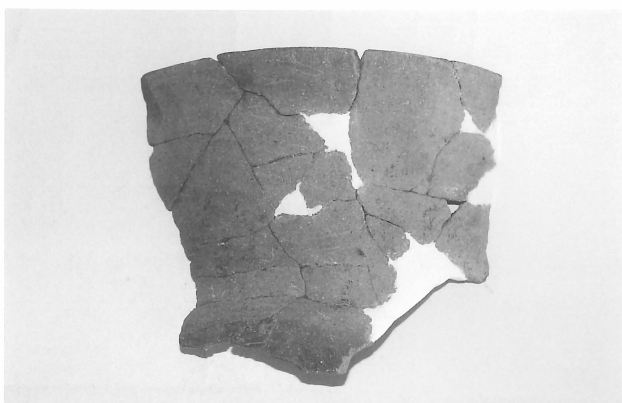
(57) アモメ 3SB36

第77図-156



(58) アモメ 3SB36

第77図-162



(59) アモメ 3SB38

第78図-165



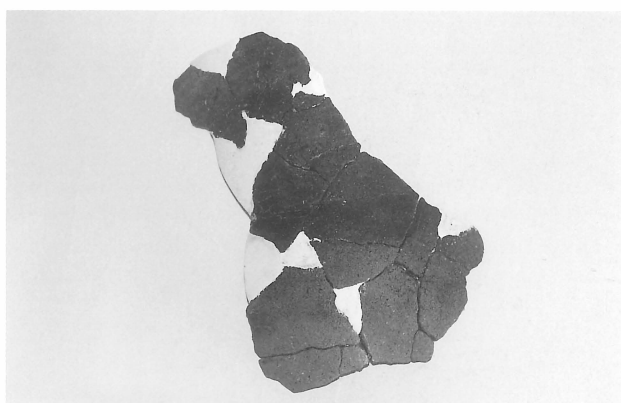
(60) アモメ 3SB38

第78図-167



(61) アモメ 3SB38

第78図-173



(62) アモメ 3SB40

第79図-176



(63) アモメ 3SB40

第79図-181



(64) アモメ 3SB40

第79図-185

図版 22



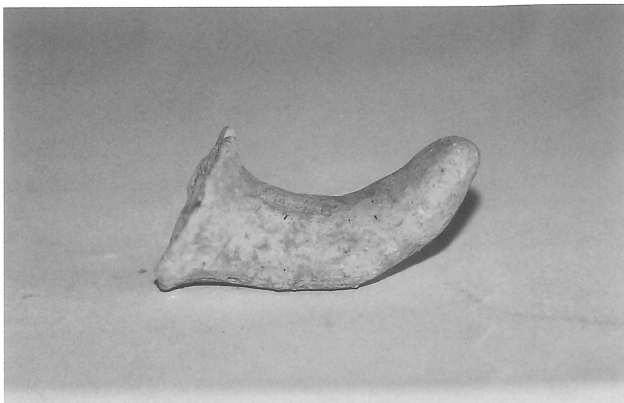
(65) アモメ 3SB40

第80図-188



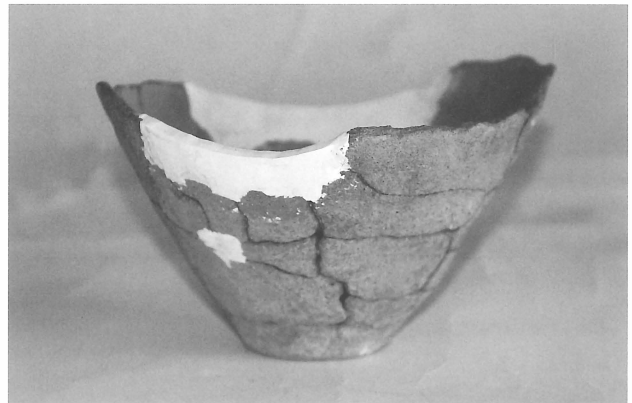
(66) アモメ 3SB40

第80図-189



(67) アモメ 3SB40

第80図-193



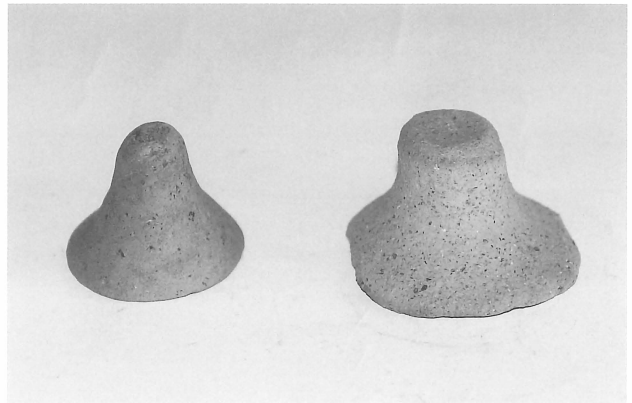
(68) アモメ 3K04

第80図-194



(69) アモメ 3SK78

第80図-196



(70) アモメ 3T11、12 第81図-207、211



(71) アモメ 3SB32

第82図-01



(72) アモメ 3SK78

第82図-02~07



(73) アモメ 3SK79 第82図-30、31



(74) アモメ 3SB31 第83図-04~08



(75) アモメ 3SB34、40、SK78表採 第83図-09~14



(76) アモメ 3SB21、23、25 第84図-15~19



(77) アモメ 3SB26 第84図-20~24



(78) アモメ 3SB31、34、36、SD05
第84図-25~27、29、31

報告書抄録

ふりがな	やめしないいせきぐん
書名	八女市内遺跡群 15
副書名	福岡県八女市柳瀬所在遺跡の調査報告書
巻次	123
シリーズ名	八女市文化財調査報告書
シリーズ番号	第123集
編著者名	中川 寿賀子
編集機関	八女市教育委員会
所在地	834-8585 福岡県八女市本町647 TEL 0943-23-1982
発行年月日	西暦 2018年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 。'。"	東経 。'。"	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
平成4年度調査								
アモメ遺跡 1地点	福岡県 八女市柳瀬	402109		33° 11' 31"	130° 33' 35"	1992. 07. 01 ～1992. 08. 31	1,600㎡	圃場整備
アモメ遺跡 3地点	福岡県 八女市柳瀬			33° 11' 34"	130° 33' 35"	1992. 09. 07 ～1993. 02. 13	4,300㎡	圃場整備

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
アモメ遺跡 1地点	集落	縄文時代 弥生時代 古墳時代	掘立柱建物・竪穴住居 ・甕棺墓・土壇・溝	縄文式土器・弥生式土器 ・須恵器・土師器・石器	弥生時代中期を中心 とする集落跡
アモメ遺跡 3地点	集落	縄文時代 弥生時代 古墳時代	竪穴住居・甕棺墓・土 壇・溝	縄文式土器・弥生式土器 ・土師器・石器	縄文時代後期を中心 とする集落跡

要約	アモメ遺跡は、八女市の南側に位置し矢部川右岸の自然堤防上に立地する遺跡である。1地点は、弥生時代中期を中心とする遺跡であるが、表採として縄文時代中期～後期の土器が見つかった。また、自然流路の左岸から丹塗りの弥生時代中期の甕や高杯が出土しており、河川に関連した祭祀儀礼が行われたと思われる。3地点は1地点の北側にあり、縄文時代から古墳時代にかけての集落が見つかった。特に八女地方としては、初めて縄文時代後期の竪穴住居が群として発見され、竪穴住居の中には石囲炉を持つものも検出された。また、1例ではあるが、小児用甕棺墓も見つかっており、竪穴住居に付随するものと思われる。この地域に縄文人が定住していたかを知る上でも、貴重な発見となった。今後の発掘調査に期待するものである。
----	---

八女市内遺跡群 15

八女市文化財調査報告書
第 123 集

平成30年 3 月31日

発行 八女市教育委員会
八女市本町647

印刷 橋爪印刷
八女市吉田1899-1